

# 那須町国民健康保険 第2期データヘルス計画

平成30年3月  
那須町

<b>第1章 計画策定について</b>		
1. 背景		3
2. 計画期間		3
3. 基本方針		4
4. データヘルス計画の位置づけ		5
5. 実施体制・関係者連携		5
<b>第2章 現状と課題把握</b>		
1. 保険者の特性把握		6
(1) 基本情報		6
(2) 医療費等の状況		8
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況		9
① 特定健康診査		9
② 特定保健指導		11
(4) 介護保険の状況		13
(5) 主たる死因の状況		17
2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)		19
(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況		19
3. 医療情報分析結果		21
(1) 基礎統計		21
(2) 高額レセプトの件数及び医療費		23
① 高額レセプトの件数及び割合		23
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向		25
(3) 疾病別医療費		29
① 大分類による疾病別医療費統計		29
② 中分類による疾病別医療費統計		33
4. 保健事業実施に係る分析結果		43
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析		43
(2) 特定健康診査に係る分析		44
(3) 特定保健指導に係る分析		46
(4) 健診異常値放置者に係る分析		48
(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析		50
(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析		52
(7) 受診行動適正化に係る分析		56
(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析		59
5. 分析結果に基づく健康課題の把握		62
(1) 分析結果		62
(2) 分析結果に基づく課題とその対策		67
<b>第3章 保健事業実施計画</b>		
1. 各事業の目的と概要一覧		68
2. 全体スケジュール		69
3. 各事業の実施内容と評価方法		70

	(1) 特定健康診査受診勧奨事業	70
	(2) 特定保健指導事業	71
	(3) ハッスル年代健康チェック事業	72
	(4) 人間ドック	73
	(5) 生活習慣病重症化予防事業	74
	(6) 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	75
	(7) ジェネリック医薬品差額通知事業	76
<b>第4章 その他</b>		
	1. その他	77
	(1) 評価	77
	(2) 評価時期	77
	2. 計画の公表・周知	77
	3. 個人情報の取り扱い	78
	4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	78
<b>年度別 特定健康診査結果分析</b>		
	1. 有所見者割合	
	2. 質問別回答状況	
<b>巻末資料</b>		
	1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	
	2. 用語解説集	
	3. 疾病分類表	

# 第1章 計画策定について

## 1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

※医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

※傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

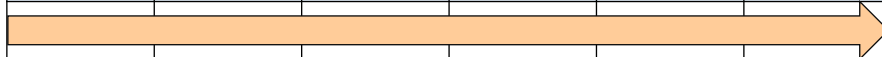
※レセプト分析システムおよび分析方法  
(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

## 2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、2018年度から2023年度の6年間とする。

### ■ 計画期間

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					

### 3. 基本方針

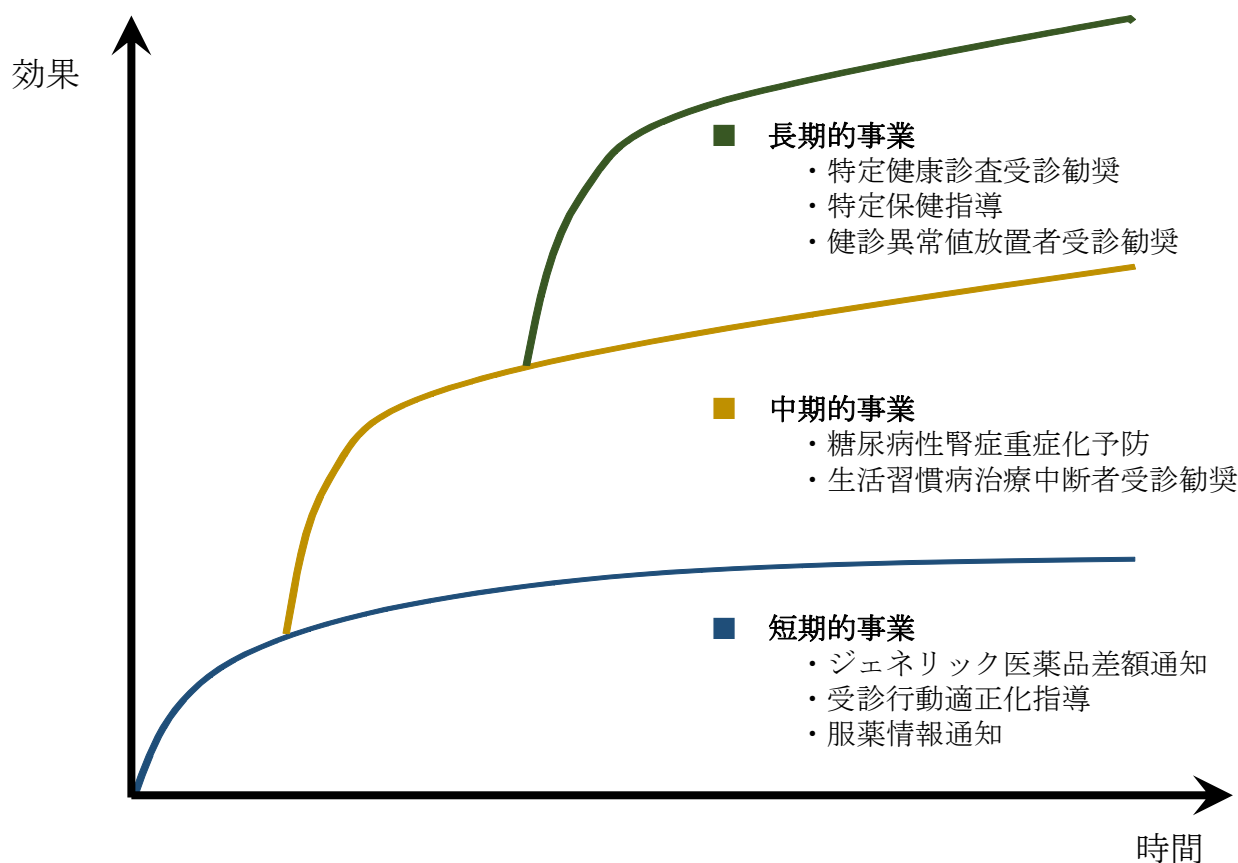
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業を那須町国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



## 4. データヘルス計画の位置づけ

---

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」及び「市町村健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

## 5. 実施体制・関係者連携

---

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。そのために、課題や評価について共有する場としてのプロジェクトチーム等を設置し、一体となって保健事業の実施に当たる。

また、医師会、栄養士会等の外部有識者や被保険者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等の活用、または新たな会議体の設置、被保険者向け説明会等を行い、外部有識者からの支援体制を強化し、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

### ■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ  
平成26年度～平成28年度(3年分)
  
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト  
単年分析  
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)  
年度分析  
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
  
- ・ 健康診査データ  
単年分析  
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)  
年度分析  
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

# 第2章 現状と課題把握

## 1. 保険者の特性把握

### (1) 基本情報

本町の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は28.5%であり、県との比較で1.3倍、同規模との比較で1.2倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は9,653人で、町の人口に占める国民健康保険加入率は36.4%である。国民健康保険被保険者平均年齢は52.9歳である。

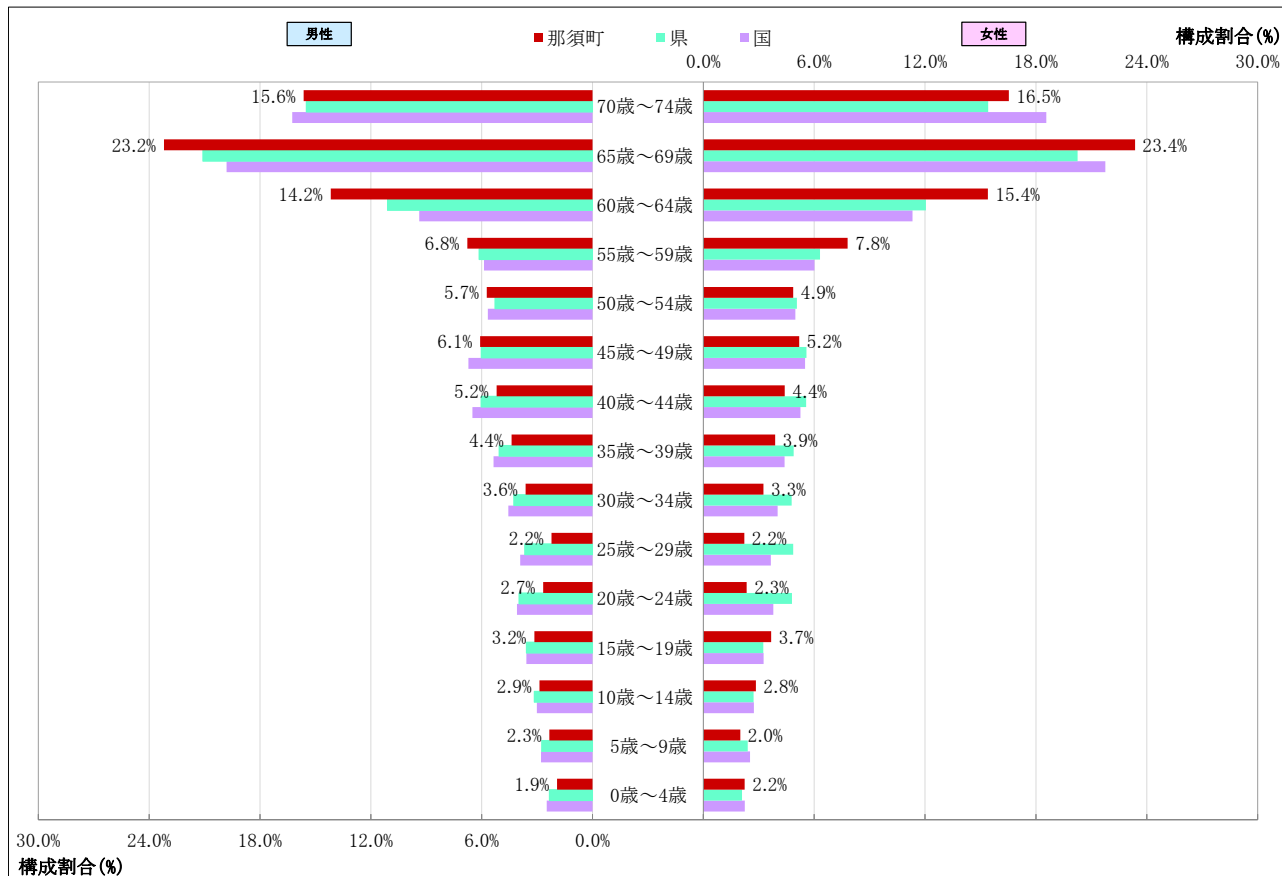
人口構成概要(平成28年度)

	人口総数(人)	高齢化率(65歳以上)	国保被保険者数(人)	国保加入率	国保被保険者平均年齢(歳)	出生率	死亡率
那須町	26,509	28.5%	9,653	36.4%	52.9	5.8%	13.8%
県	1,958,992	22.3%	583,429	29.9%	50.2	8.4%	10.1%
同規模	28,645	22.9%	7,305	25.1%	52.6	8.8%	9.5%
国	124,852,975	23.2%	32,587,223	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

※「県」は栃木県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

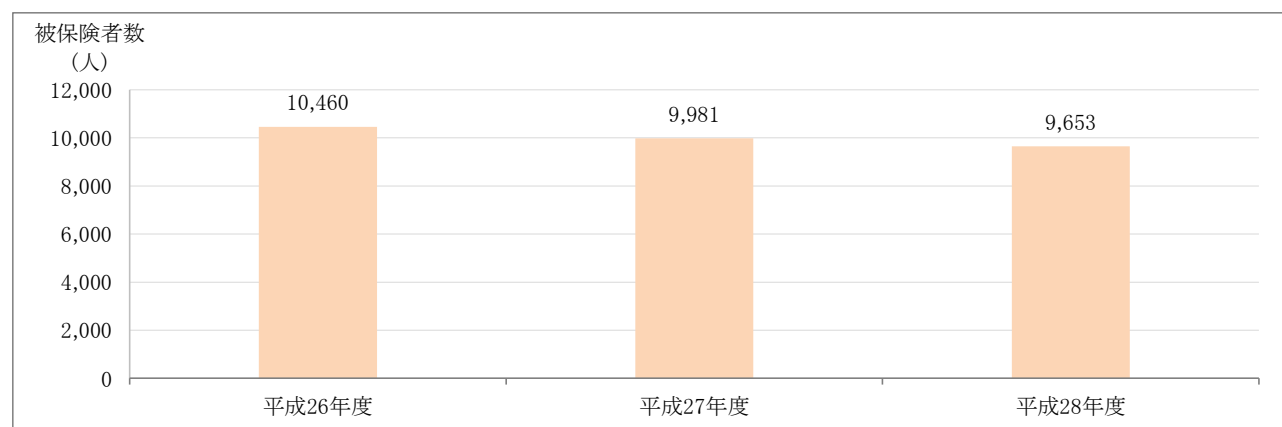
本町の平成26年度から平成28年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、国民健康保険被保険者数9,653人は平成26年度10,460人より807人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢52.9歳は平成26年度51.6歳より1.3歳上昇している。

### 年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
那須町	平成26年度	25,504	31.4%	10,460	39.5%	51.6	5.5%	14.0%
	平成27年度	24,919	34.6%	9,981	37.7%	52.5	5.0%	13.8%
	平成28年度	24,715	36.0%	9,653	36.4%	52.9	5.7%	14.3%
県	平成26年度	1,980,960	24.8%	631,181	32.3%	49.2	7.9%	10.6%
	平成27年度	1,974,255	25.9%	609,952	31.2%	49.7	7.9%	10.5%
	平成28年度	1,968,425	25.7%	583,429	29.9%	50.2	7.5%	11.1%
国	平成26年度	125,431,000	26.0%	32,318,324	28.8%	50.3	8.0%	10.1%
	平成27年度	125,319,000	26.6%	33,767,446	28.2%	50.4	8.0%	10.3%
	平成28年度	125,020,000	26.1%	32,587,223	26.9%	50.7	7.8%	10.5%

出典:国保データベース(KDB)「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」、  
総務省統計局、栃木県人口動態統計、栃木県保健統計、栃木県毎月調、那須町統計

### 年度別 被保険者数



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」



## (2) 医療費等の状況

本町の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

### 医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	那須町	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.1	0.2	0.2	0.3
診療所数	1.6	2.4	2.5	3.0
病床数	35.6	37.0	44.6	46.8
医師数	2.3	7.6	7.5	9.2
外来患者数	573.2	653.7	692.6	668.3
入院患者数	17.9	15.9	19.6	18.2
受診率	591.1	669.6	712.3	686.5
一件当たり医療費(円)	35,660	32,750	35,950	35,330
一般(円)	35,690	32,660	35,900	35,270
退職(円)	34,480	35,660	37,560	37,860
後期(円)	0	0	0	0
外来				
外来費用の割合	58.0%	62.5%	59.2%	60.1%
外来受診率	573.2	653.7	692.6	668.3
一件当たり医療費(円)	21,340	20,970	21,900	21,820
一人当たり医療費(円)	12,230	13,710	15,170	14,580
一日当たり医療費(円)	14,980	13,790	13,980	13,910
一件当たり受診回数	1.4	1.5	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	42.0%	37.5%	40.8%	39.9%
入院率	17.9	15.9	19.6	18.2
一件当たり医療費(円)	493,630	518,630	531,770	531,780
一人当たり医療費(円)	8,850	8,220	10,440	9,670
一日当たり医療費(円)	30,690	32,950	33,620	34,030
一件当たり在院日数	16.1	15.7	15.8	15.6

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### (3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

#### ① 特定健康診査

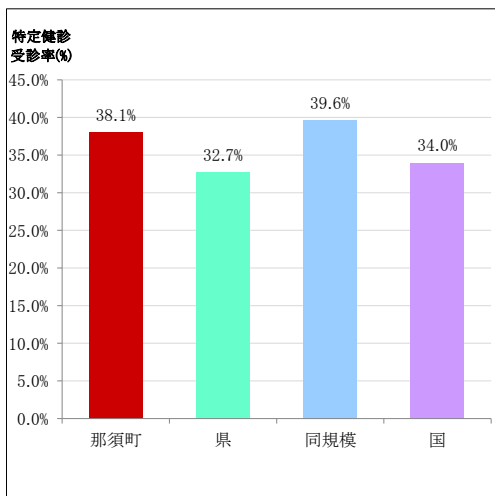
本町の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

#### 特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
那須町	38.1%
県	32.7%
同規模	39.6%
国	34.0%

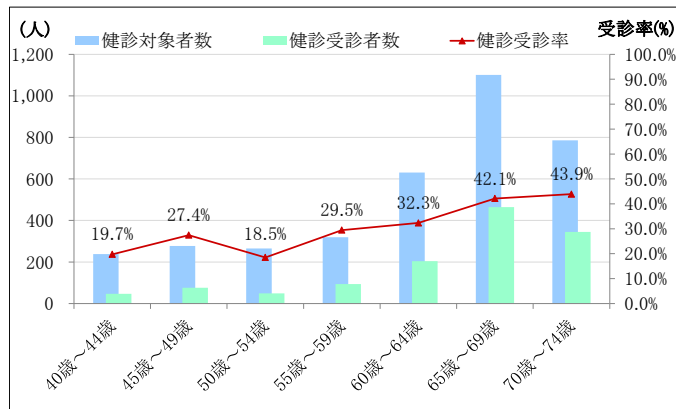
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

#### 特定健康診査受診率(平成28年度)

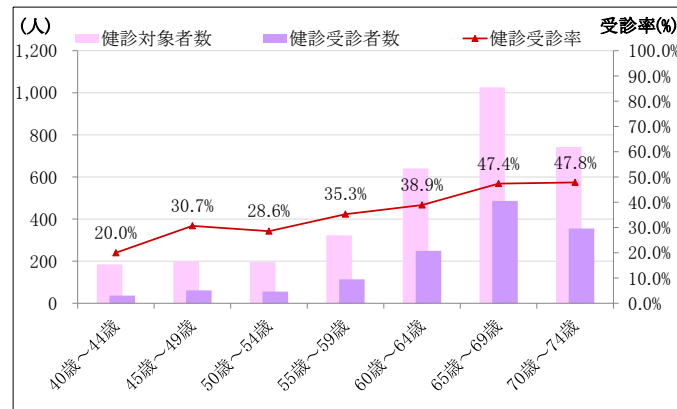


出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

#### (男性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



#### (女性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

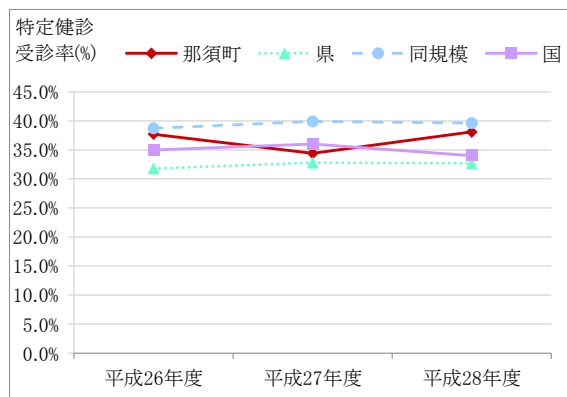
本町の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率38.1%は平成26年度37.7%より0.4ポイント上昇している。

### 年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<b>那須町</b>	<b>37.7%</b>	<b>34.4%</b>	<b>38.1%</b>
県	31.8%	32.8%	32.7%
同規模	38.7%	39.9%	39.6%
国	35.0%	36.0%	34.0%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

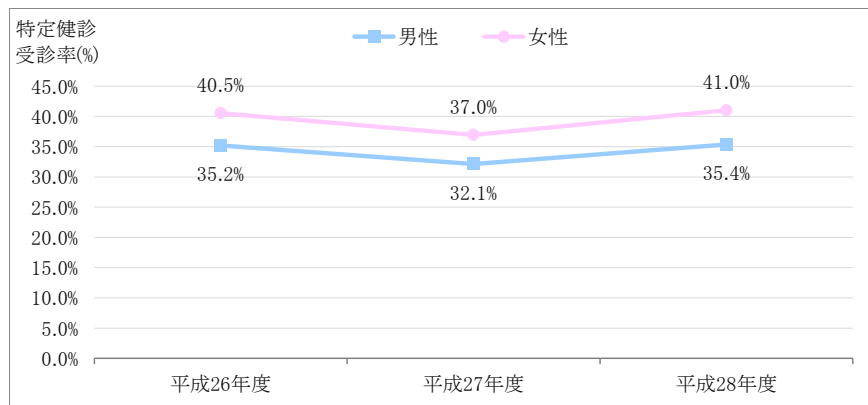
### 年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率35.4%は平成26年度35.2%より0.2ポイント上昇しており、女性の平成28年度受診率41.0%は平成26年度40.5%より0.5ポイント上昇している。

### 年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

## ②特定保健指導

本町の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

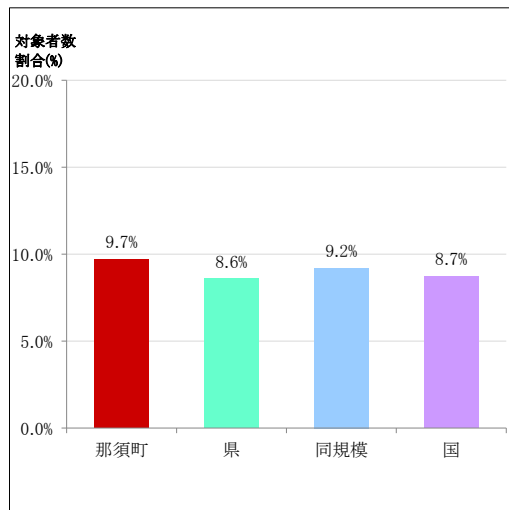
### 特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
那須町	9.7%	2.6%	12.3%	18.8%
県	8.6%	2.9%	11.5%	8.8%
同規模	9.2%	3.1%	12.3%	8.5%
国	8.7%	3.2%	11.9%	4.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

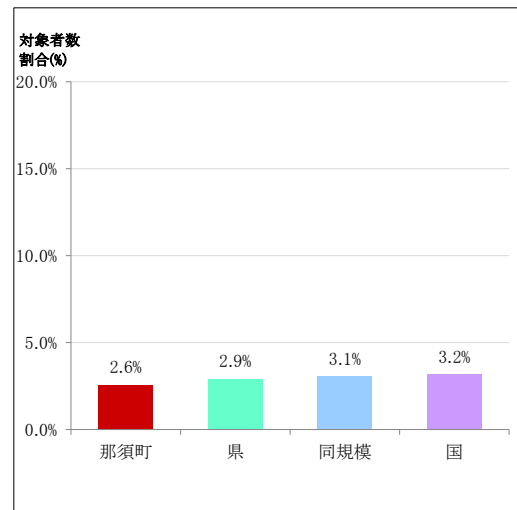
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



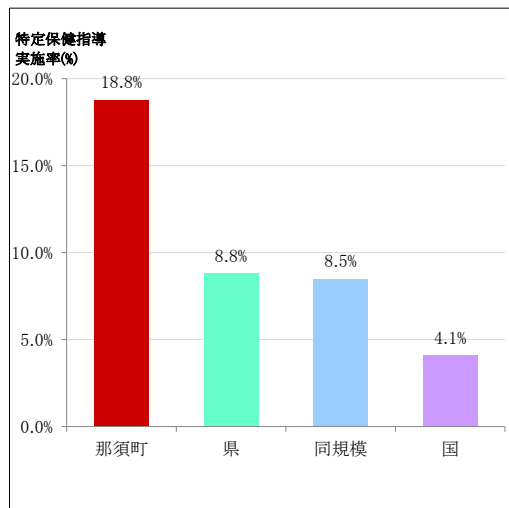
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。  
平成28年度の特定保健指導実施率18.8%は平成26年度27.6%より8.8ポイント低下している。

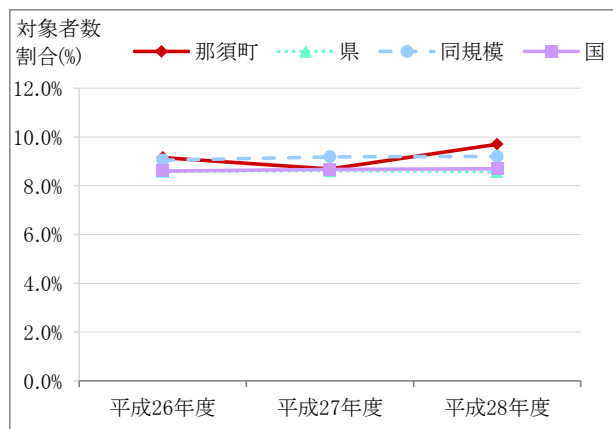
### 年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<b>那須町</b>	<b>9.2%</b>	<b>8.7%</b>	<b>9.7%</b>	<b>3.7%</b>	<b>2.8%</b>	<b>2.6%</b>	<b>12.9%</b>	<b>11.5%</b>	<b>12.3%</b>	<b>27.6%</b>	<b>38.7%</b>	<b>18.8%</b>
県	8.6%	8.6%	8.6%	3.3%	3.1%	2.9%	11.9%	11.8%	11.5%	24.8%	26.2%	8.8%
同規模	9.1%	9.2%	9.2%	3.2%	3.1%	3.1%	12.3%	12.3%	12.3%	32.7%	32.8%	8.5%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	11.9%	19.9%	20.2%	4.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

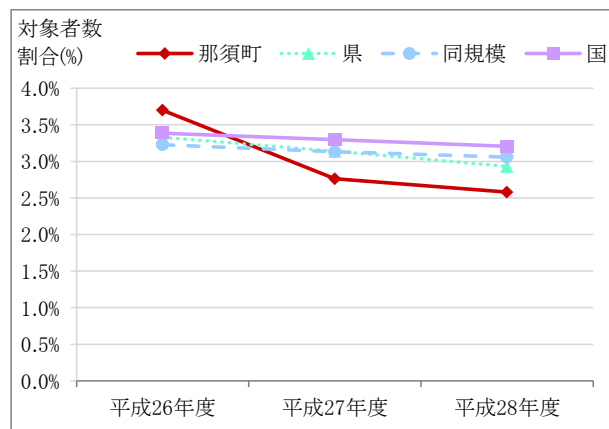
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 動機付け支援対象者数割合



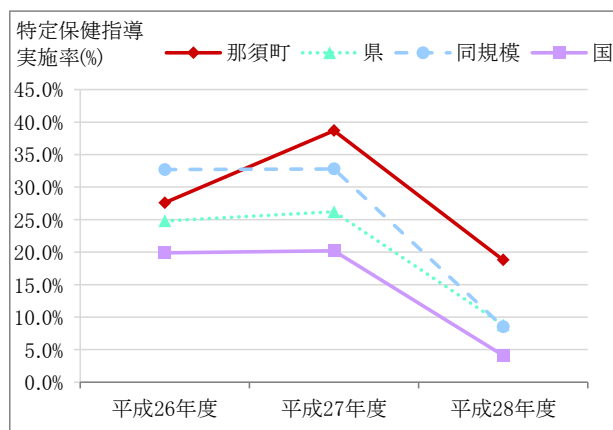
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 積極的支援対象者数割合



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 特定保健指導実施率



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

#### (4) 介護保険の状況

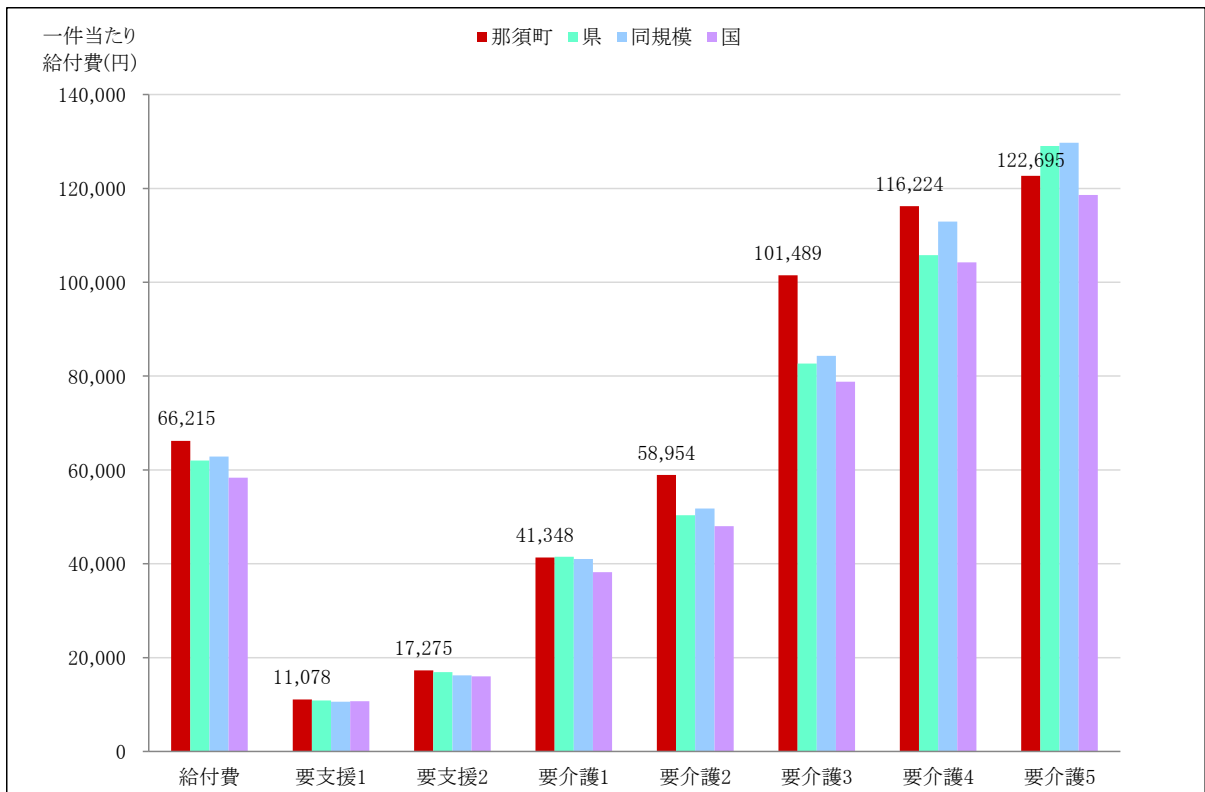
本町の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

##### 認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	那須町	県	同規模	国
認定率	19.1%	19.4%	19.5%	21.2%
認定者数(人)	1,505	86,228	219,963	6,034,085
第1号(65歳以上)	1,463	83,751	214,190	5,882,340
第2号(40～64歳)	42	2,477	5,773	151,745
一件当たり給付費(円)				
給付費	66,215	61,999	62,877	58,349
要支援1	11,078	10,883	10,587	10,730
要支援2	17,275	16,920	16,246	15,996
要介護1	41,348	41,528	41,021	38,200
要介護2	58,954	50,356	51,806	48,047
要介護3	101,489	82,668	84,324	78,791
要介護4	116,224	105,759	112,925	104,264
要介護5	122,695	129,031	129,730	118,599

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

##### 一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

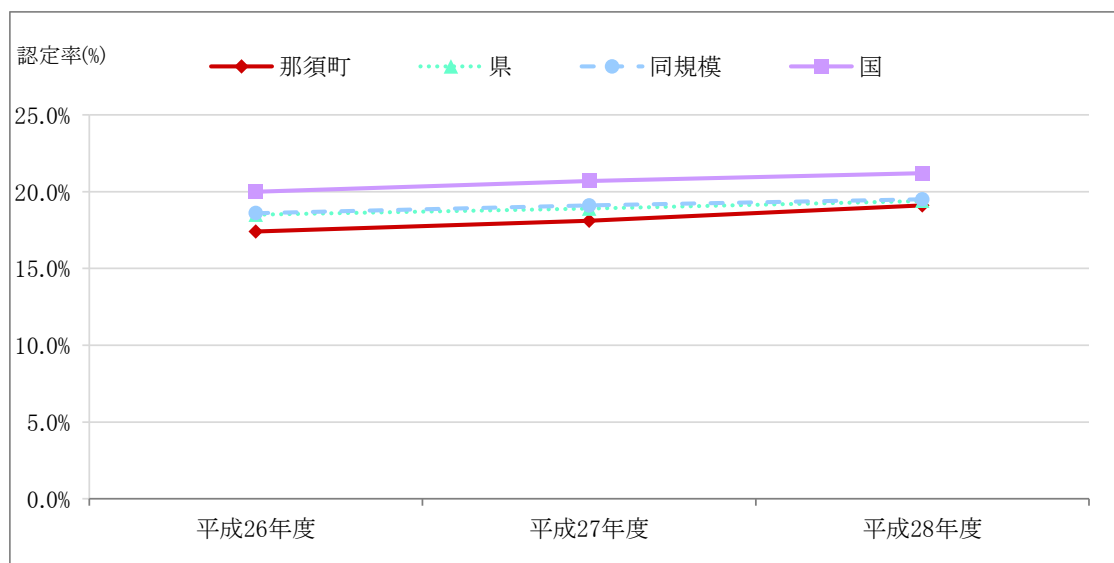
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率19.1%は平成26年度17.4%より1.7ポイント上昇しており、平成28年度の認定者数1,505人は平成26年度1,391人より114人増加している。

### 年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
			第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)	
那須町	平成26年度	17.4%	1,391	1,344	47
	平成27年度	18.1%	1,460	1,407	53
	平成28年度	19.1%	1,505	1,463	42
県	平成26年度	18.5%	83,761	81,049	2,712
	平成27年度	18.9%	84,759	82,197	2,562
	平成28年度	19.4%	86,228	83,751	2,477
同規模	平成26年度	18.6%	217,861	211,550	6,311
	平成27年度	19.1%	215,880	209,996	5,884
	平成28年度	19.5%	219,963	214,190	5,773
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,034,085	5,882,340	151,745

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると4,481人となり、認定者は平均3.0疾病を有していることがわかる。

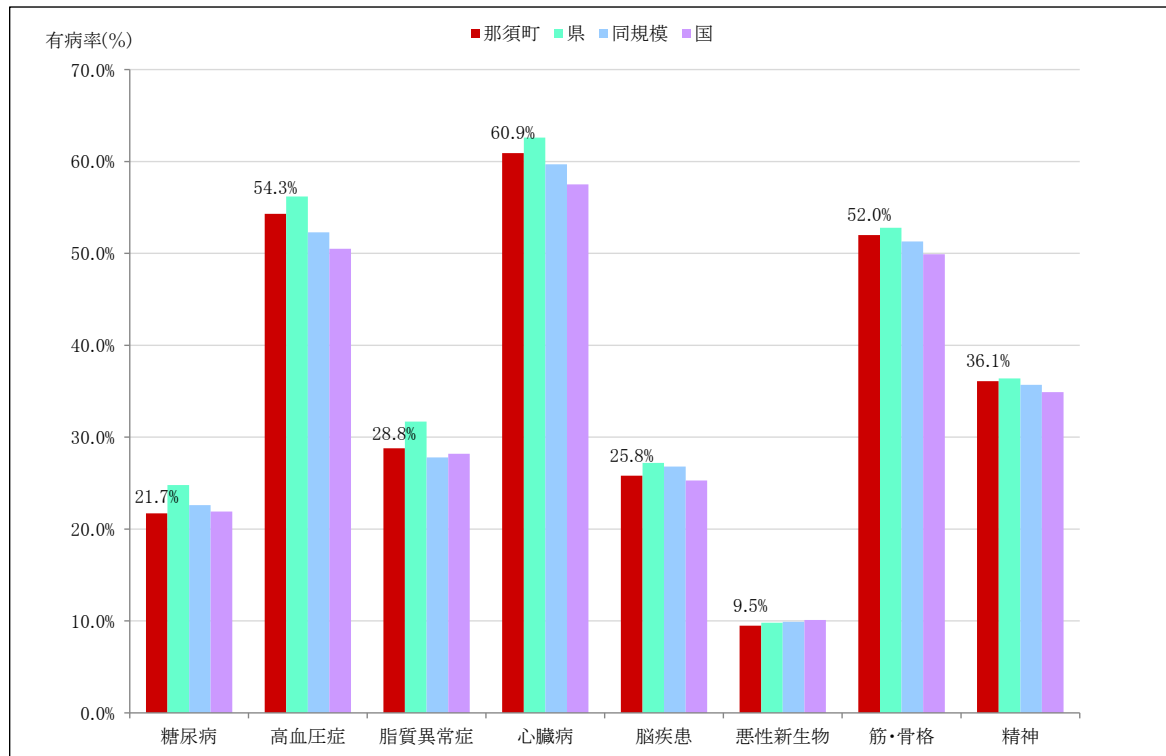
### 認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	那須町	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	1,505		86,228		219,963		6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	339	21,632	7	50,596	7	1,343,240	7
	有病率	21.7%	24.8%		22.6%		21.9%	
高血圧症	実人数(人)	842	49,078	2	116,354	2	3,085,109	2
	有病率	54.3%	56.2%		52.3%		50.5%	
脂質異常症	実人数(人)	456	27,842	5	62,322	5	1,733,323	5
	有病率	28.8%	31.7%		27.8%		28.2%	
心臓病	実人数(人)	950	54,586	1	132,584	1	3,511,354	1
	有病率	60.9%	62.6%		59.7%		57.5%	
脳疾患	実人数(人)	384	23,504	6	59,279	6	1,530,506	6
	有病率	25.8%	27.2%		26.8%		25.3%	
悪性新生物	実人数(人)	150	8,498	8	22,271	8	629,053	8
	有病率	9.5%	9.8%		9.9%		10.1%	
筋・骨格	実人数(人)	795	46,132	3	114,209	3	3,051,816	3
	有病率	52.0%	52.8%		51.3%		49.9%	
精神	実人数(人)	565	32,046	4	79,819	4	2,141,880	4
	有病率	36.1%	36.4%		35.7%		34.9%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」



本町の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数3.0疾病は平成26年度2.8疾病より増加している。

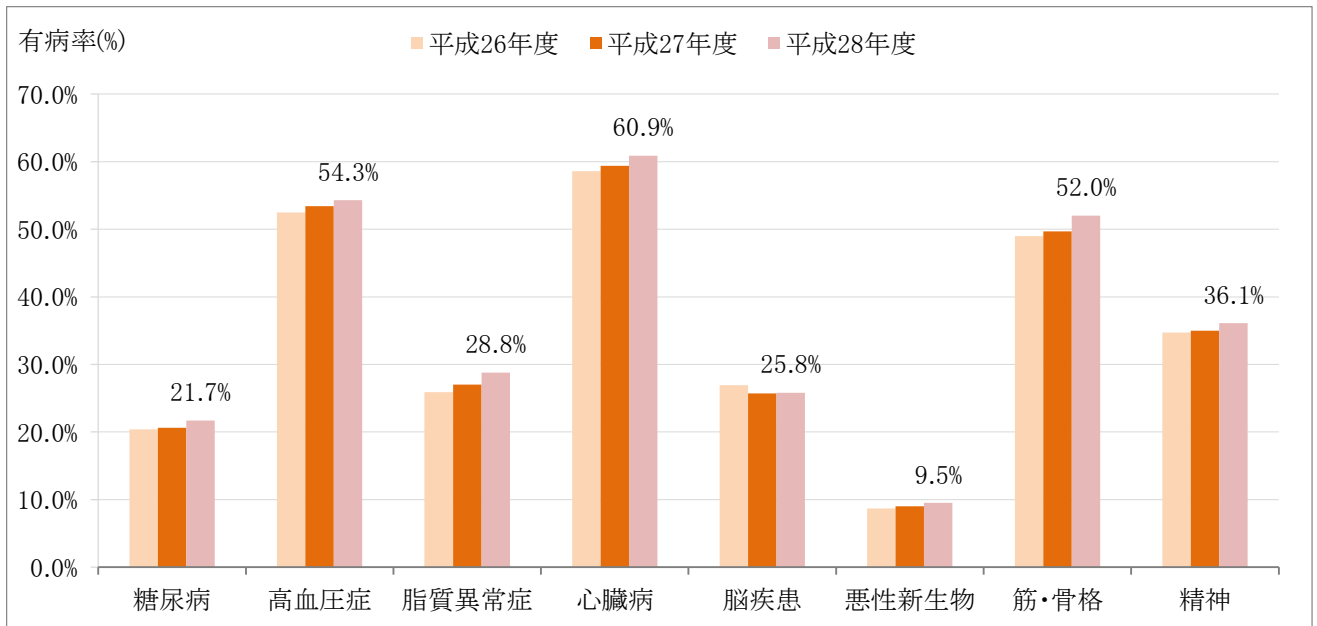
### 年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	那須町						県			同規模			国			
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
認定者数(人)	1,391		1,460		1,505		83,761	84,759	86,228	217,861	215,880	219,963	5,324,880	5,751,982	6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	285	7	300	7	339	7	20,534	21,219	21,632	46,691	48,753	50,596	1,089,285	1,241,024	1,343,240
	有病率(%)	20.4%		20.6%		21.7%		24.1%	24.7%	24.8%	20.8%	22.3%	22.6%	20.3%	21.4%	21.9%
高血圧症	実人数(人)	759	2	799	2	842	2	46,837	47,894	49,078	108,699	113,278	116,354	2,551,660	2,865,466	3,085,109
	有病率(%)	52.5%		53.4%		54.3%		55.0%	55.8%	56.2%	48.6%	51.8%	52.3%	47.9%	49.7%	50.5%
脂質異常症	実人数(人)	366	5	415	5	456	5	25,536	26,897	27,842	56,669	59,801	62,322	1,386,541	1,586,963	1,733,323
	有病率(%)	25.9%		27.0%		28.8%		29.7%	30.9%	31.7%	25.2%	27.2%	27.8%	25.7%	27.3%	28.2%
心臓病	実人数(人)	830	1	889	1	950	1	52,434	53,518	54,586	124,434	129,132	132,584	2,914,608	3,261,576	3,511,354
	有病率(%)	58.6%		59.4%		60.9%		61.8%	62.5%	62.6%	55.7%	59.3%	59.7%	54.8%	56.7%	57.5%
脳疾患	実人数(人)	365	6	363	6	384	6	23,460	23,547	23,504	57,749	58,564	59,279	1,324,669	1,455,985	1,530,506
	有病率(%)	26.9%		25.7%		25.8%		28.1%	27.7%	27.2%	26.0%	27.1%	26.8%	25.2%	25.4%	25.3%
悪性新生物	実人数(人)	132	8	146	8	150	8	8,073	8,434	8,498	20,426	21,325	22,271	493,808	569,967	629,053
	有病率(%)	8.7%		9.0%		9.5%		9.3%	9.6%	9.8%	9.1%	9.8%	9.2%	9.8%	10.1%	
筋・骨格	実人数(人)	684	3	747	3	795	3	43,669	44,955	46,132	105,856	110,477	114,209	2,505,146	2,813,795	3,051,816
	有病率(%)	49.0%		49.7%		52.0%		51.3%	52.2%	52.8%	47.4%	50.6%	51.3%	47.1%	48.9%	49.9%
精神	実人数(人)	501	4	521	4	565	4	30,035	30,995	32,046	73,791	76,887	79,819	1,720,172	1,963,213	2,141,880
	有病率(%)	34.7%		35.0%		36.1%		35.1%	36.1%	36.4%	32.8%	35.1%	35.7%	32.2%	33.8%	34.9%

出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

### 年度別 認定者の疾病別有病率



出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

## (5) 主たる死因の状況

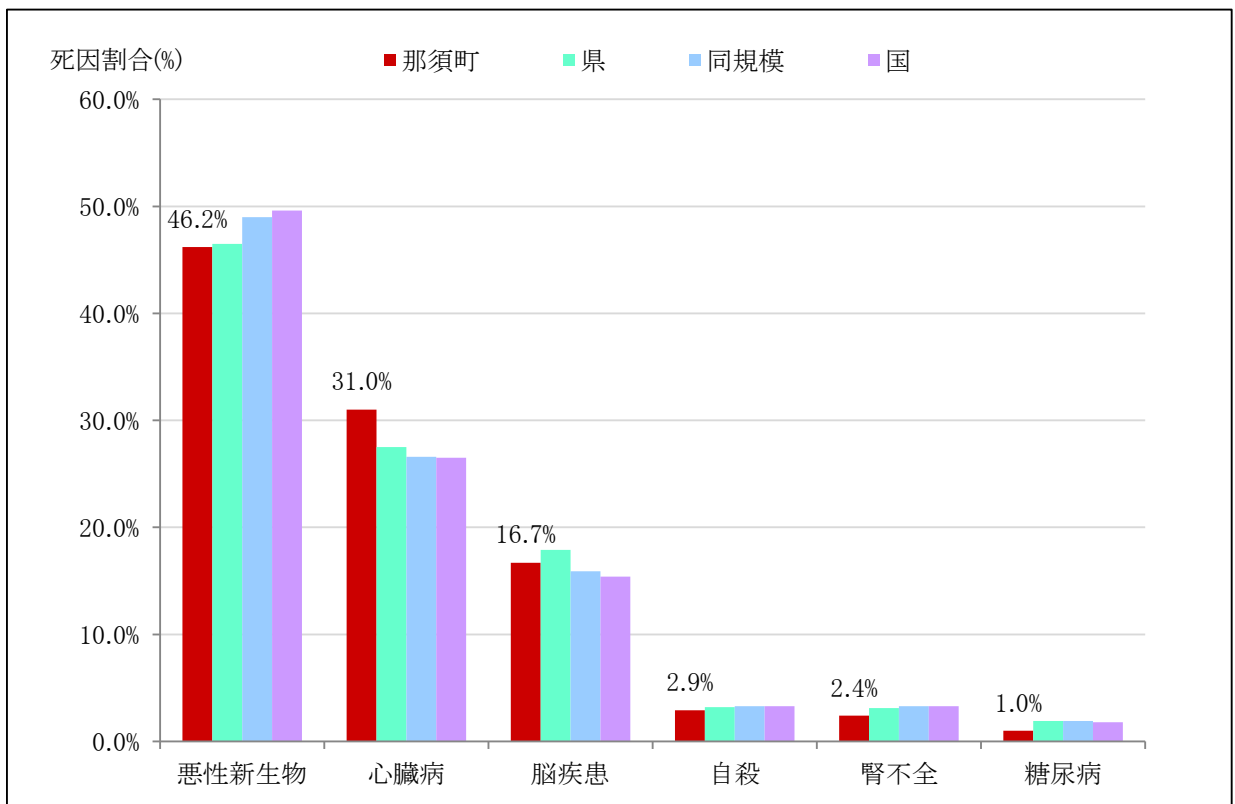
本町の平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。

### 主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	那須町		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	97	46.2%	46.5%	49.0%	49.6%
心臓病	65	31.0%	27.5%	26.6%	26.5%
脳疾患	35	16.7%	17.9%	15.9%	15.4%
自殺	6	2.9%	3.2%	3.3%	3.3%
腎不全	5	2.4%	3.1%	3.3%	3.3%
糖尿病	2	1.0%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	210				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

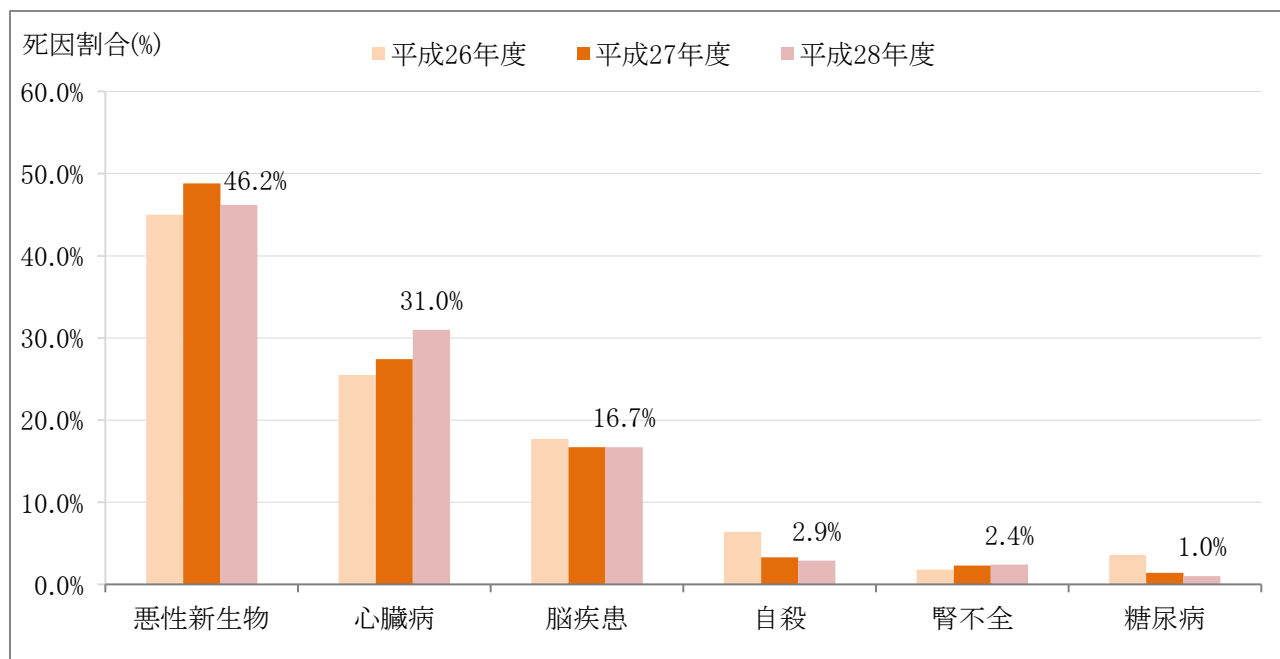
本町の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数97人は平成26年度99人より2人減少しており、心臓病を死因とする人数65人は平成26年度56人より9人増加している。また、脳疾患を死因とする人数35人は平成26年度39人より4人減少している。

### 年度別 主たる死因の状況

疾病項目	那須町						県			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度									
悪性新生物	99	105	97	45.0%	48.8%	46.2%	44.1%	45.7%	46.5%	47.3%	48.7%	49.0%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	56	59	65	25.5%	27.4%	31.0%	27.9%	27.1%	27.5%	27.2%	26.3%	26.6%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	39	36	35	17.7%	16.7%	16.7%	19.4%	18.2%	17.9%	16.7%	16.3%	15.9%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	14	7	6	6.4%	3.3%	2.9%	3.5%	3.6%	3.2%	3.5%	3.5%	3.3%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	4	5	5	1.8%	2.3%	2.4%	3.1%	3.1%	3.1%	3.3%	3.5%	3.3%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	8	3	2	3.6%	1.4%	1.0%	1.9%	2.2%	1.9%	2.0%	1.8%	1.9%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	220	215	210												

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

### (1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。

事業名	実施年度	目的	概要	実施内容
特定健康診査	平成27年度 ～ 平成29年度	特定健診受診率を向上させる	40歳から74歳の人を対象とし特定健康診査を実施する。	毎年5月～2月の間に実施している ・集団健診 5月～2月(がん検診も同日で実施) ・個別健診 5月～2月(町内外で25医療機関)
特定保健指導	平成27年度 ～ 平成29年度	特定保健指導の実施率を上げる	特定保健指導の対象者となった者へ実施する	当日欠席だった対象者へ再度の勧奨通知を個別で送付する。
特定健診未受診対策	平成28年度 ～ 平成29年度	健診未受診者へ受診勧奨資材を送付し、受診率向上を図る	受診予測値に応じて勧奨資材を変え送付する	・10月に特定健診未受診者と不定期受診者へ受診勧奨資材を送付した。 その後平成29年5月に受診勧奨後の受診者数を確認した。
骨粗しょう症検診	平成27年度 ～ 平成29年度	住民の健康向上を目指す	健康増進法第19条2項にもとづく健康増進事業として実施する	30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の女性を対象として行う
歯周疾患健診	平成27年度 ～ 平成29年度	住民の健康向上を目指す	健康増進法第19条2項にもとづく健康増進事業として実施する	40歳、50歳、60歳、70歳に行う
健診結果説明会	平成27年度 ～ 平成29年度	健診結果から保健指導が必要なものに対し実施する	結果説明会の日程を設けて開催している	健診結果から保健指導が必要な国保被保険者に対し実施 また、健診結果について疑問点などがある場合は被保険者でなくとも実施している
後期高齢者健康診査	平成27年度 ～ 平成29年度	広域連合からの受託として健康診査を実施する	75歳以上の後期高齢者を対象として健康診査を実施する	毎年5月～2月の間に実施している(特定健診と同日実施) ・集団健診 5月～2月(がん検診も同日で実施) ・個別健診 5月～2月(町内外で25医療機関)
ハッスル年代健康チェック事業	平成27年度 ～ 平成29年度	壮年期からの健康管理の習慣づけ	25歳～39歳の国保加入者を対象とし健康診査を実施する	年2回(主に1月2月に実施)。 同日で40歳以上を対象とした特定健診やがん検診も実施。 対象者へはハガキで受診案内を送付。
健康フェスティバル	平成27年度 ～ 平成29年度	健康づくりの普及啓発	健康づくりの普及啓発として健康フェスティバルを開催する	毎年6月実施。 来場者が参加する歯科保健コーナーや栄養コーナー、がん検診の普及啓発等を行った。

目標値(平成29年度)	達成状況(平成28年時点)	評価	達成又は未達成の理由
特定健診受診率 40%	特定健診受診率 (法定報告) 平成26年度 37.8% 平成27年度 34.4% 平成28年度 37.9%	C	特定健診受診率が低い
特定保健指導実施率 40%	特定保健指導実施率 (法定報告) 平成26年度 26.8% 平成27年度 39.0% 平成28年度 18.8%	C	特定保健指導実施率が低い
特定健診受診率 40%	平成28年度受診率 37.9%	C	事業実施する時期が遅くなってしまったため受診者数が伸びなかった
受診率 23%	受診率 ・平成26年度 23.3% ・平成27年度 17.4% ・平成28年度 21.5%	C	検査の周知が足りないのではないかと
受診率 10%	受診率 ・平成26年度 5.8% ・平成27年度 4.5% ・平成28年度 5.8%	C	受診できる歯科医の選択肢があまりないことや歯科の意識が高い人たちはすでに受診済みである
実施率の増加	対象者数 相談者数 H26 646人 411人 H27 588人 349人 H28 566人 376人	C	対象者が来場しやすい日程や時間帯を再考する必要がある
健診受診率 18%	受診率 ・平成26年度 16.5% ・平成27年度 16% ・平成28年度 17.6%	B	健診の受診意識が高い年齢層が被保険者となったため
受診率 18%	受診率 ・平成26年度 13.4% ・平成27年度 15% ・平成28年度 15.2%	C	受診者数が伸びない
参加者数 270名	参加者数 ・平成26年度 123名 ・平成27年度 226名 ・平成28年度 256名	B	事業が住民に認知されてきた

### 3. 医療情報分析結果

#### (1) 基礎統計

当医療費統計は、那須町国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均9,676人、レセプト件数は平均8,995件、患者数は平均4,345人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均47,556円となった。

#### 基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	9,907	9,757	9,730	9,726	9,691	9,663	9,655	
B	レセプト件数(件)	入院外	5,711	5,431	5,730	5,676	5,416	5,552	5,554
		入院	192	177	194	168	179	193	179
		調剤	3,276	3,054	3,223	3,124	3,052	3,127	3,194
		合計	9,179	8,662	9,147	8,968	8,647	8,872	8,927
C	医療費(円) ※	212,917,280	203,472,460	217,257,510	207,685,710	206,487,360	203,691,940	204,587,230	
D	患者数(人) ※	4,456	4,232	4,420	4,383	4,202	4,335	4,308	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	21,492	20,854	22,329	21,354	21,307	21,080	21,190	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,196	23,490	23,752	23,159	23,880	22,959	22,918	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	47,782	48,080	49,153	47,384	49,140	46,988	47,490	
B/A	受診率(%)	92.7%	88.8%	94.0%	92.2%	89.2%	91.8%	92.5%	
D/A	有病率(%)	45.0%	43.4%	45.4%	45.1%	43.4%	44.9%	44.6%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	9,583	9,612	9,629	9,566	9,595	9,676		
B	レセプト件数(件)	入院外	5,623	5,867	5,464	5,533	5,851	5,617	67,408
		入院	184	152	150	170	162	175	2,100
		調剤	3,237	3,391	3,185	3,198	3,367	3,202	38,428
		合計	9,044	9,410	8,799	8,901	9,380	8,995	107,936
C	医療費(円) ※	209,587,290	212,115,090	192,910,050	196,708,330	211,872,310	206,607,713	2,479,292,560	
D	患者数(人) ※	4,303	4,511	4,244	4,265	4,475	4,345	52,134	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	21,871	22,068	20,034	20,563	22,082	21,352		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,174	22,541	21,924	22,100	22,588	22,970		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	48,707	47,022	45,455	46,122	47,346	47,556		
B/A	受診率(%)	94.4%	97.9%	91.4%	93.0%	97.8%	93.0%		
D/A	有病率(%)	44.9%	46.9%	44.1%	44.6%	46.6%	44.9%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成28年度を平成26年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数9,676人は、平成26年度10,276人より600人減少しており、医療費24億7,929万円は平成26年度21億3,749万円より3億4,180万円増加している。また、一カ月平均の患者数4,345人は、平成26年度3,739人より606人増加している。

## 年度別 基礎統計

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	10,276	9,960	9,676	
B	レセプト件数(件)	入院外	57,081	69,282	67,408
		入院	1,843	2,219	2,100
		調剤	32,431	39,267	38,428
		合計	91,355	110,768	107,936
C	医療費(円) ※	2,137,488,360	2,587,058,420	2,479,292,560	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	3,739	4,484	4,345	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	208,008	259,738	256,227	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,398	23,356	22,970	
D/A	有病率(%)	36.4%	45.0%	44.9%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

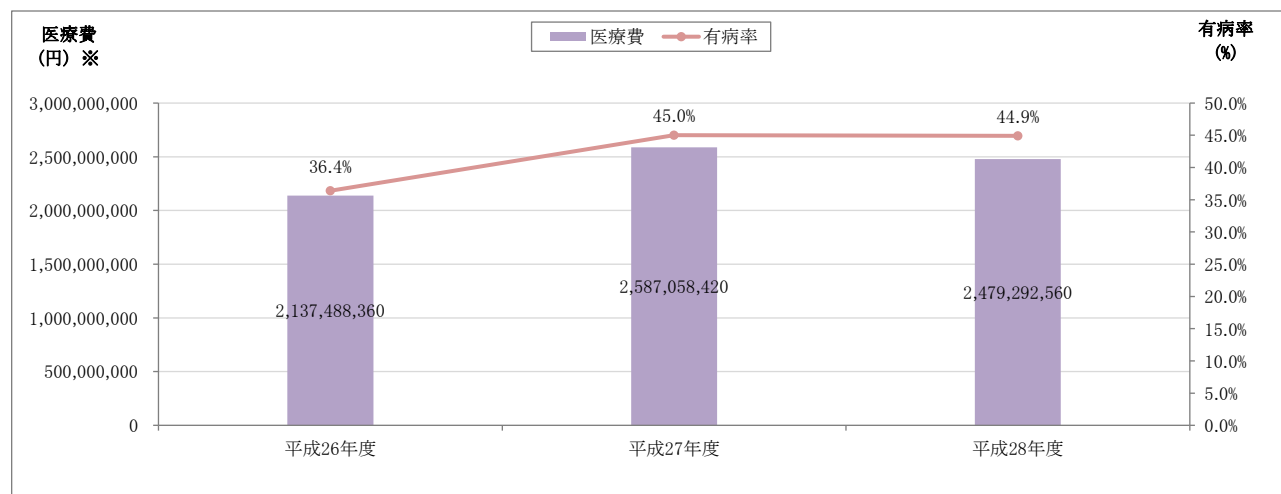
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

## 年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

## (2) 高額レセプトの件数及び医療費

### ① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは738件発生しており、レセプト件数全体の0.7%を占める。高額レセプトの医療費は7億3,211万円となり、医療費全体の29.5%を占める。

### 高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	9,179	8,662	9,147	8,968	8,647	8,872	8,927
B	高額レセプト件数(件)	59	64	64	58	63	55	56
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.7%	0.7%	0.6%	0.7%	0.6%	0.6%
C	医療費(円) ※	212,917,280	203,472,460	217,257,510	207,685,710	206,487,360	203,691,940	204,587,230
D	高額レセプトの医療費(円) ※	59,732,750	61,135,370	66,616,680	62,005,220	62,133,840	54,245,770	56,633,880
E	その他レセプトの医療費(円) ※	153,184,530	142,337,090	150,640,830	145,680,490	144,353,520	149,446,170	147,953,350
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	28.1%	30.0%	30.7%	29.9%	30.1%	26.6%	27.7%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	9,044	9,410	8,799	8,901	9,380	8,995	107,936
B	高額レセプト件数(件)	68	65	63	67	56	62	738
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.7%	0.7%	0.8%	0.6%	0.7%	
C	医療費(円) ※	209,587,290	212,115,090	192,910,050	196,708,330	211,872,310	206,607,713	2,479,292,560
D	高額レセプトの医療費(円) ※	65,708,880	65,075,430	58,321,440	59,961,960	60,540,850	61,009,339	732,112,070
E	その他レセプトの医療費(円) ※	143,878,410	147,039,660	134,588,610	136,746,370	151,331,460	145,598,374	1,747,180,490
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	31.4%	30.7%	30.2%	30.5%	28.6%	29.5%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。



平成26年度から平成28年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成28年度高額レセプト件数738件は平成26年度590件より148件増加しており、平成28年度高額レセプトの医療費7億3,211万円は平成26年度5億9,141万円より1億4,070万円増加している。

### 年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	91,355	110,768	107,936
B	高額レセプト件数(件)	590	717	738
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.6%	0.7%
C	医療費(円) ※	2,137,488,360	2,587,058,420	2,479,292,560
D	高額レセプトの医療費(円) ※	591,413,540	707,299,040	732,112,070
E	その他レセプトの医療費(円) ※	1,546,074,820	1,879,759,380	1,747,180,490
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	27.7%	27.3%	29.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

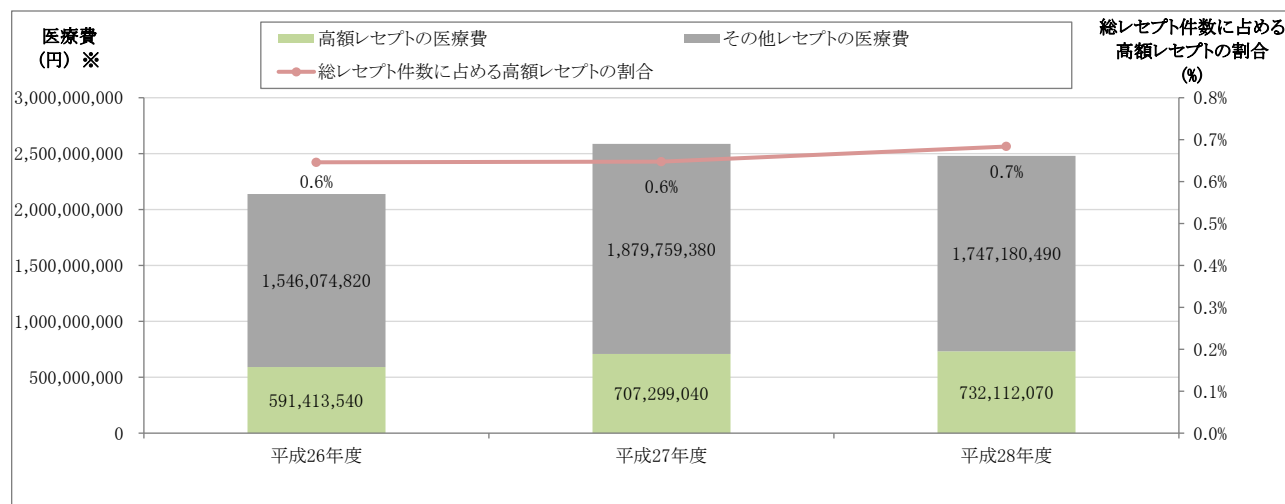
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

### 年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

## ②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」「その他の神経系の疾患」等となった。

### 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
				入院	入院外	合計	
1	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	1	9,054,620	633,350	9,687,970	9,687,970
2	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	1	7,298,770	0	7,298,770	7,298,770
3	0606 その他の神経系の疾患	脊髄小脳変性症, 進行性核上性麻痺, 筋ジストロフィー	4	25,833,470	1,084,390	26,917,860	6,729,465
4	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	9	17,085,200	37,673,840	54,759,040	6,084,338
5	0605 自律神経系の障害	多系萎縮症	1	5,805,020	5,390	5,810,410	5,810,410
6	1401 糸球体疾患及び腎尿管細管間質性疾患	ネフローゼ症候群	1	4,421,070	1,389,200	5,810,270	5,810,270
7	1307 その他の脊柱障害	麻痺性側弯症, 腰椎変性すべり症	2	9,227,060	841,040	10,068,100	5,034,050
8	0904 くも膜下出血	くも膜下出血, 中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	5	24,164,280	667,410	24,831,690	4,966,338
9	0909 動脈硬化(症)	下肢閉塞性動脈硬化症	2	8,928,400	807,860	9,736,260	4,868,130
10	1309 骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	1	4,816,030	10,800	4,826,830	4,826,830
11	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	出血性ショック	1	4,441,310	141,760	4,583,070	4,583,070
12	0905 脳内出血	視床出血, 被殻出血, 小脳出血	5	21,369,490	873,060	22,242,550	4,448,510
13	0105 ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	7	114,230	26,978,160	27,092,390	3,870,341
14	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 肺門部肺癌, 下葉肺癌	16	41,821,260	15,852,900	57,674,160	3,604,635
15	0912 その他の循環器系の疾患	腹部大動脈瘤, 胸部大動脈瘤, 下肢リンパ浮腫	8	25,022,980	2,603,030	27,626,010	3,453,251
16	0301 貧血	自己免疫性溶血性貧血	1	3,307,430	134,190	3,441,620	3,441,620
17	1404 その他の腎尿路系の疾患	放射線出血性膀胱炎, 尿路感染症	2	5,657,720	861,090	6,518,810	3,259,405
18	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 膝頭部癌	43	84,799,200	52,968,610	137,767,810	3,203,903
19	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸S状部結腸癌	4	4,772,860	7,480,600	12,253,460	3,063,365
20	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 肺高血圧症	23	45,639,930	17,196,090	62,836,020	2,732,001

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	超低出生体重児	1	11,071,870
	2	0601 パーキンソン病	パーキンソン病	1	8,857,740
	3	0606 その他の神経系の疾患	筋萎縮性側索硬化症, 歯状核赤核レイ体萎縮症	2	8,114,780
	4	1701 心臓の先天奇形	単心室症	1	7,483,750
	5	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	特発性血小板減少性紫斑病, 出血傾向	2	6,321,320
平成27年度	1	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	1	8,431,570
	2	0601 パーキンソン病	パーキンソン病	1	6,173,880
	3	1402 腎不全	慢性腎不全	7	5,899,961
	4	9999 分類外	不明	1	5,533,790
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	低酸素血症, 化学療法に伴う嘔吐症	2	5,469,170
平成28年度	1	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	1	9,687,970
	2	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	1	7,298,770
	3	0606 その他の神経系の疾患	脊髄小脳変性症, 進行性核上性麻痺, 筋ジストロフィー	4	6,729,465
	4	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	9	6,084,338
	5	0605 自律神経系の障害	多系統萎縮症	1	5,810,410

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「その他の心疾患」「骨折」である。

### 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 膝頭部癌	43	84,799,200	52,968,610	137,767,810	3,203,903
2	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 肺高血圧症	23	45,639,930	17,196,090	62,836,020	2,732,001
3	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 中足骨骨折, 顔面多発開放骨折	22	50,770,070	4,293,110	55,063,180	2,502,872
4	1113	その他の消化器系の疾患	癒着性イレウス, 術後癒着性イレウス, 鼠径ヘルニア	19	17,894,420	4,471,350	22,365,770	1,177,146
5	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 肺門部肺癌, 下葉肺癌	16	41,821,260	15,852,900	57,674,160	3,604,635
6	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳房上外側部乳癌, 乳癌, 乳房境界部乳癌	14	11,104,680	19,301,830	30,406,510	2,171,894
6	0902	虚血性心疾患	狭心症, 不安定狭心症, 急性前壁心筋梗塞	14	27,785,430	3,720,440	31,505,870	2,250,419
6	0906	脳梗塞	脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞, 多発性脳梗塞	14	32,236,530	2,252,610	34,489,140	2,463,510
9	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃癌, 胃前庭部癌	13	21,980,690	9,288,390	31,269,080	2,405,314
10	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 趾切断, 頸髄損傷	12	18,233,620	3,122,250	21,355,870	1,779,656
11	0402	糖尿病	増殖性糖尿病性網膜症, 2型糖尿病・糖尿病性合併症なし, 2型糖尿病性腎不全	10	14,228,350	4,456,050	18,684,400	1,868,440
11	1111	胆石症及び胆のう炎	胆石性胆のう炎, 総胆管結石, 壞疽性胆のう炎	10	11,471,560	2,195,650	13,667,210	1,366,721
11	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	外反母趾, 症候性大腿骨頭壊死, 大腿骨頭壊死	10	12,408,900	3,786,030	16,194,930	1,619,493
14	1302	関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 一側性原発性股関節症	9	20,483,070	2,449,710	22,932,780	2,548,087
14	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	9	17,085,200	37,673,840	54,759,040	6,084,338
16	0912	その他の循環器系の疾患	腹部大動脈瘤, 胸部大動脈瘤, 下肢リンパ浮腫	8	25,022,980	2,603,030	27,626,010	3,453,251
16	1011	その他の呼吸器系の疾患	膿胸, 特発性肺線維症, 気胸	8	8,361,400	3,434,580	11,795,980	1,474,498
16	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 化膿性椎間板炎, 頸椎症性脊髄症	8	11,682,800	3,447,040	15,129,840	1,891,230
19	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	7	114,230	26,978,160	27,092,390	3,870,341
19	0109	その他の感染症及び寄生虫症	黄色ぶどう球菌敗血症, A群連鎖球菌敗血症, グラム陽性菌敗血症	7	7,819,580	1,364,570	9,184,150	1,312,021

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 大腿骨頸部内側骨折, 足関節脱臼骨折	26	1,859,526
	2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 胸部下部食道癌	25	3,085,892
	3	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 幽門前庭部癌, 胃癌	18	2,680,506
	3	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 中葉肺癌, 肺門部肺癌	18	2,886,100
	5	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊椎症, 頸部脊柱管狭窄症	15	2,558,786
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膀胱癌, 多発性骨髄腫	39	3,120,903
	2	1113 その他の消化器系の疾患	虫垂周囲膿瘍, 潰瘍性大腸炎, 鼠径ヘルニア	25	1,516,664
	3	1901 骨折	踵骨骨折, 橈骨遠位端骨折, 膝蓋骨骨折	23	1,652,431
	4	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 完全房室ブロック, 持続性心房頻拍	18	3,193,061
	4	0906 脳梗塞	脳梗塞, 心原性脳塞栓症, アテローム血栓性脳梗塞	18	2,542,419
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 膝頭部癌	43	3,203,903
	2	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 肺高血圧症	23	2,732,001
	3	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 中足骨骨折, 顔面多発開放骨折	22	2,502,872
	4	1113 その他の消化器系の疾患	癒着性イレウス, 術後癒着性イレウス, 鼠径ヘルニア	19	1,177,146
	5	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 肺門部肺癌, 下葉肺癌	16	3,604,635

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

### (3) 疾病別医療費

#### ①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の16.1%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の14.6%と高い割合を占めている。

#### 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	79,923,079	3.2%	12	8,095	13	2,305	10	34,674	14
II. 新生物<腫瘍>	362,003,571	14.6%	2	8,636	12	2,404	7	150,584	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	23,016,565	0.9%	15	3,201	15	989	15	23,273	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	241,020,027	9.7%	4	35,646	2	3,775	3	63,846	8
V. 精神及び行動の障害	263,483,732	10.7%	3	10,457	10	1,097	14	240,186	1
VI. 神経系の疾患	126,396,577	5.1%	9	19,087	6	1,977	12	63,934	7
VII. 眼及び付属器の疾患	89,380,998	3.6%	11	9,500	11	2,363	9	37,825	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	12,138,254	0.5%	16	2,609	16	714	16	17,000	18
IX. 循環器系の疾患	398,781,654	16.1%	1	38,425	1	3,549	4	112,365	4
X. 呼吸器系の疾患	144,508,482	5.8%	7	21,961	5	4,219	1	34,252	15
X I. 消化器系の疾患 ※	186,180,478	7.5%	6	32,277	3	4,214	2	44,181	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	46,852,649	1.9%	13	11,210	8	2,398	8	19,538	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	202,372,042	8.2%	5	24,429	4	3,235	5	62,557	10
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	135,808,056	5.5%	8	10,575	9	2,087	11	65,073	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	5,755,496	0.2%	18	160	20	65	20	88,546	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,436,860	0.1%	20	17	21	10	21	143,686	3
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	5,988,967	0.2%	17	330	19	121	18	49,496	11
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	42,085,544	1.7%	14	11,421	7	2,633	6	15,984	19
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	100,870,473	4.1%	10	4,852	14	1,595	13	63,242	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,293,286	0.2%	19	2,350	17	451	17	11,737	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	560,130	0.0%	21	372	18	93	19	6,023	21
合計	2,473,856,920			107,188		8,186		302,206	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

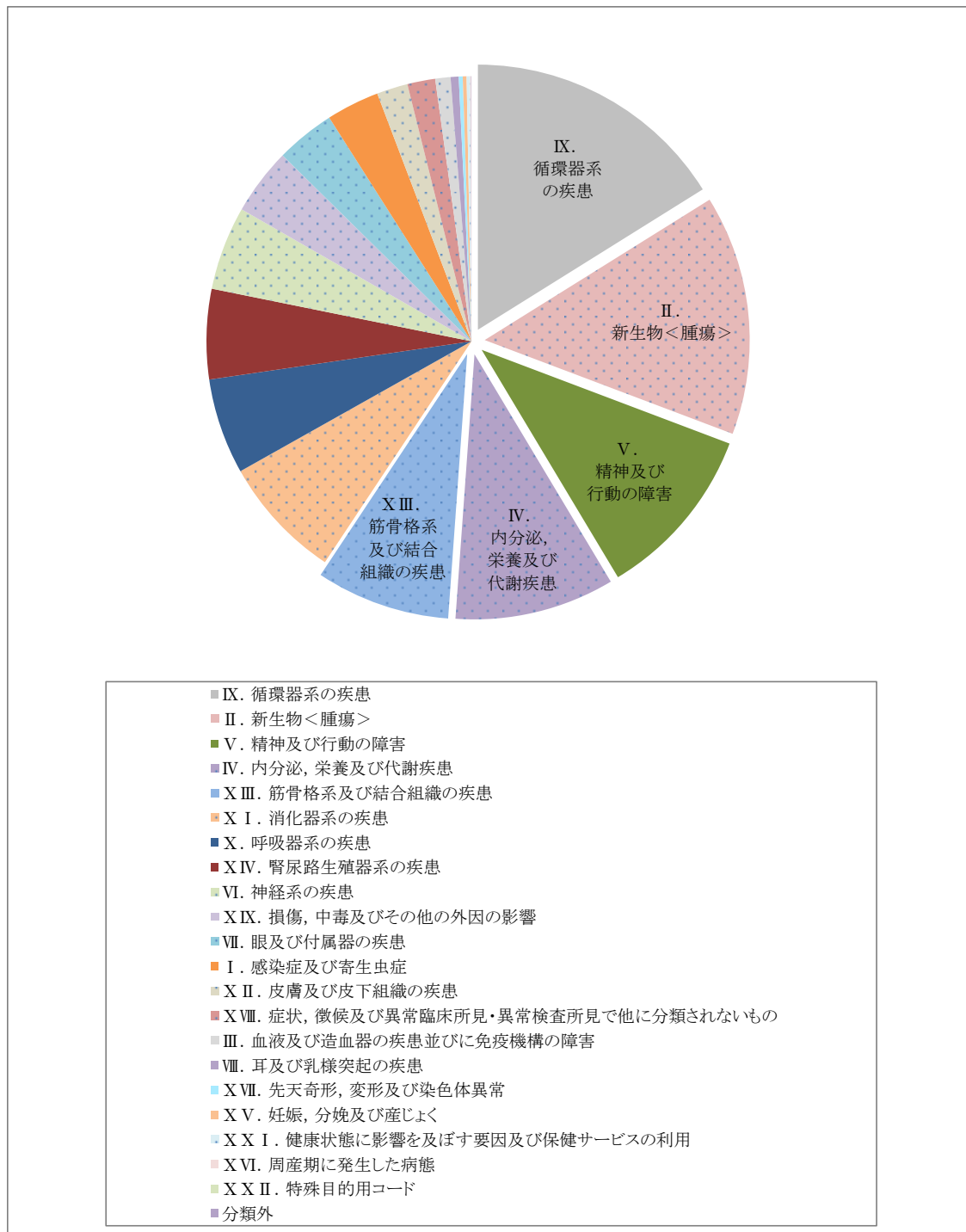
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「精神及び行動の障害」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」の医療費で高い割合を占める。

## 疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	55,859,948	2.6%	12	98,522,340	3.8%	11	79,923,079	3.2%	12
II. 新生物<腫瘍>	301,779,888	14.2%	2	369,882,058	14.3%	2	362,003,571	14.6%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	23,972,180	1.1%	15	14,737,235	0.6%	15	23,016,565	0.9%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	201,751,557	9.5%	4	247,528,211	9.6%	4	241,020,027	9.7%	4
V. 精神及び行動の障害	232,158,492	10.9%	3	268,351,181	10.4%	3	263,483,732	10.7%	3
VI. 神経系の疾患	95,999,140	4.5%	10	135,490,647	5.2%	9	126,396,577	5.1%	9
VII. 眼及び付属器の疾患	82,876,245	3.9%	11	92,071,453	3.6%	12	89,380,998	3.6%	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	10,046,277	0.5%	17	12,602,720	0.5%	16	12,138,254	0.5%	16
IX. 循環器系の疾患	303,450,066	14.2%	1	377,971,112	14.6%	1	398,781,654	16.1%	1
X. 呼吸器系の疾患	130,490,542	6.1%	7	173,251,250	6.7%	7	144,508,482	5.8%	7
X I. 消化器系の疾患 ※	172,868,251	8.1%	6	214,336,716	8.3%	5	186,180,478	7.5%	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	44,704,631	2.1%	13	52,791,341	2.0%	13	46,852,649	1.9%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	185,978,629	8.7%	5	208,419,710	8.1%	6	202,372,042	8.2%	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	108,103,295	5.1%	8	135,722,864	5.3%	8	135,808,056	5.5%	8
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	6,051,163	0.3%	20	8,586,361	0.3%	17	5,755,496	0.2%	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	11,090,172	0.5%	16	4,969,104	0.2%	19	1,436,860	0.1%	20
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	9,778,664	0.5%	18	6,676,163	0.3%	18	5,988,967	0.2%	17
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	39,472,861	1.9%	14	48,995,950	1.9%	14	42,085,544	1.7%	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	101,736,798	4.8%	9	102,267,339	4.0%	10	100,870,473	4.1%	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8,407,497	0.4%	19	4,890,671	0.2%	20	5,293,286	0.2%	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	5,792,654	0.3%	21	3,493,944	0.1%	21	560,130	0.0%	21
合計	2,132,368,950			2,581,558,370			2,473,856,920		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

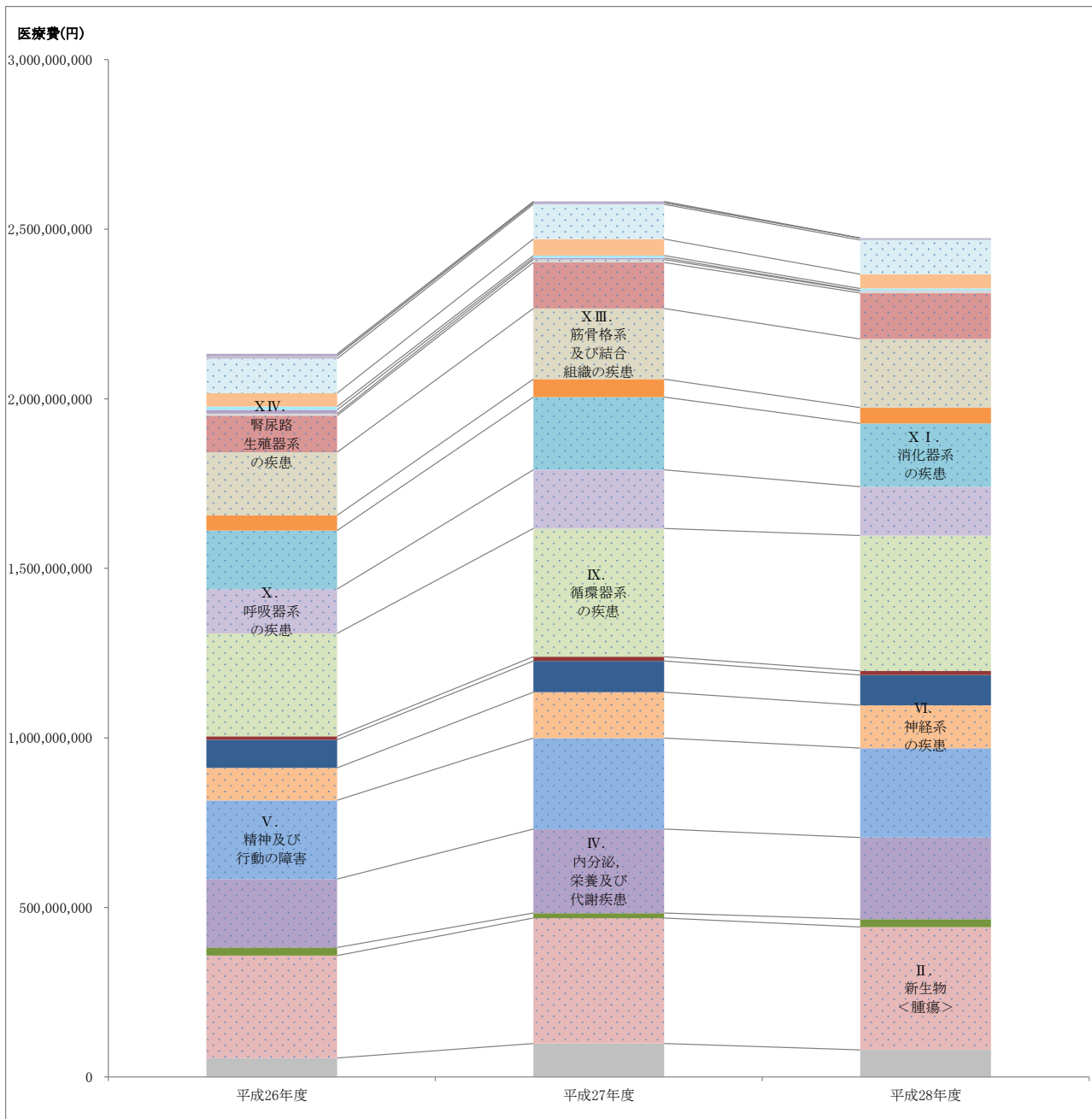
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。



# 年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

## ②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

### 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	163,757,216	6.6%	294
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	149,520,662	6.0%	1,022
3	0901 高血圧性疾患	129,714,685	5.2%	2,699
4	0402 糖尿病	128,680,228	5.2%	2,275
5	1113 その他の消化器系の疾患	93,368,762	3.8%	2,430
6	0903 その他の心疾患	85,866,762	3.5%	1,097
7	0403 脂質異常症	76,805,942	3.1%	2,019
8	1402 腎不全	71,980,955	2.9%	123
9	0606 その他の神経系の疾患	69,188,247	2.8%	1,780
10	1901 骨折	56,633,324	2.3%	427

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	129,714,685	2,699	33.0%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	42,085,544	2,633	32.2%
3	1113 その他の消化器系の疾患	93,368,762	2,430	29.7%
4	0402 糖尿病	128,680,228	2,275	27.8%
5	1105 胃炎及び十二指腸炎	27,145,277	2,224	27.2%
6	0403 脂質異常症	76,805,942	2,019	24.7%
7	1003 その他の急性上気道感染症	14,456,161	1,854	22.6%
8	0703 屈折及び調節の障害	9,409,161	1,839	22.5%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	19,718,926	1,807	22.1%
10	0606 その他の神経系の疾患	69,188,247	1,780	21.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	1402 腎不全	71,980,955	123	585,211
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	163,757,216	294	556,997
3	1502 妊娠高血圧症候群	548,150	1	548,150
4	0904 くも膜下出血	17,840,753	41	435,140
5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	20,003,337	47	425,603
6	0506 知的障害<精神遅滞>	10,467,032	29	360,932
7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	18,064,351	75	240,858
8	0507 その他の精神及び行動の障害	26,908,112	114	236,036
9	0208 悪性リンパ腫	11,792,648	51	231,228
10	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	35,979,652	162	222,097

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	145,740,918	6.8%	294
	2	0901 高血圧性疾患	121,078,057	5.7%	2,676
	3	0402 糖尿病	103,808,085	4.9%	2,044
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	101,827,639	4.8%	842
	5	1113 その他の消化器系の疾患	82,038,740	3.8%	2,327
	6	0403 脂質異常症	67,059,316	3.1%	1,959
	7	1402 腎不全	58,767,070	2.8%	110
	8	0903 その他の心疾患	53,334,865	2.5%	1,009
	9	0606 その他の神経系の疾患	50,735,631	2.4%	1,737
	10	1901 骨折	50,384,910	2.4%	403
平成27年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	172,676,452	6.7%	300
	2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	155,123,735	6.0%	974
	3	0901 高血圧性疾患	143,273,049	5.5%	2,742
	4	0402 糖尿病	127,778,330	4.9%	2,199
	5	1113 その他の消化器系の疾患	116,733,269	4.5%	2,570
	6	0903 その他の心疾患	85,353,611	3.3%	1,128
	7	0403 脂質異常症	83,869,987	3.2%	2,067
	8	1402 腎不全	78,542,830	3.0%	133
	9	0606 その他の神経系の疾患	75,459,128	2.9%	1,810
	10	0105 ウイルス性肝炎	54,393,527	2.1%	281
平成28年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	163,757,216	6.6%	294
	2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	149,520,662	6.0%	1,022
	3	0901 高血圧性疾患	129,714,685	5.2%	2,699
	4	0402 糖尿病	128,680,228	5.2%	2,275
	5	1113 その他の消化器系の疾患	93,368,762	3.8%	2,430
	6	0903 その他の心疾患	85,866,762	3.5%	1,097
	7	0403 脂質異常症	76,805,942	3.1%	2,019
	8	1402 腎不全	71,980,955	2.9%	123
	9	0606 その他の神経系の疾患	69,188,247	2.8%	1,780
	10	1901 骨折	56,633,324	2.3%	427

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	121,078,057	2,676	32.0%
	2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	39,472,861	2,420	29.0%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	82,038,740	2,327	27.8%
	4	1105 胃炎及び十二指腸炎	25,769,443	2,243	26.8%
	5	0402 糖尿病	103,808,085	2,044	24.5%
	6	0403 脂質異常症	67,059,316	1,959	23.4%
	7	1202 皮膚炎及び湿疹	17,582,268	1,765	21.1%
	8	0606 その他の神経系の疾患	50,735,631	1,737	20.8%
	9	1003 その他の急性上気道感染症	11,513,253	1,613	19.3%
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	49,378,610	1,465	17.5%
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	143,273,049	2,742	32.1%
	2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	48,995,950	2,665	31.2%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	116,733,269	2,570	30.1%
	4	1105 胃炎及び十二指腸炎	28,900,561	2,357	27.6%
	5	0402 糖尿病	127,778,330	2,199	25.7%
	6	0403 脂質異常症	83,869,987	2,067	24.2%
	7	1003 その他の急性上気道感染症	15,906,674	1,976	23.1%
	8	1202 皮膚炎及び湿疹	20,897,810	1,902	22.3%
	9	0606 その他の神経系の疾患	75,459,128	1,810	21.2%
	10	0703 屈折及び調節の障害	9,637,969	1,755	20.5%
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	129,714,685	2,699	33.0%
	2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	42,085,544	2,633	32.2%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	93,368,762	2,430	29.7%
	4	0402 糖尿病	128,680,228	2,275	27.8%
	5	1105 胃炎及び十二指腸炎	27,145,277	2,224	27.2%
	6	0403 脂質異常症	76,805,942	2,019	24.7%
	7	1003 その他の急性上気道感染症	14,456,161	1,854	22.6%
	8	0703 屈折及び調節の障害	9,409,161	1,839	22.5%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	19,718,926	1,807	22.1%
	10	0606 その他の神経系の疾患	69,188,247	1,780	21.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	8,644,927	7	1,234,990
	2	1402 腎不全	58,767,070	110	534,246
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	145,740,918	294	495,717
	4	0506 知的障害<精神遅滞>	7,706,426	22	350,292
	5	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	20,057,972	59	339,966
	6	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	11,470,629	43	266,759
	7	1701 心臓の先天奇形	4,354,715	17	256,160
	8	0602 アルツハイマー病	11,119,797	44	252,723
	9	1602 その他の周産期に発生した病態	2,445,245	10	244,525
	10	1903 熱傷及び腐食	7,010,880	34	206,202
平成27年度	1	1402 腎不全	78,542,830	133	590,548
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	172,676,452	300	575,588
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	39,458,613	69	571,864
	4	0506 知的障害<精神遅滞>	10,042,073	24	418,420
	5	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	4,467,139	11	406,104
	6	0209 白血病	5,650,714	16	353,170
	7	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	15,516,097	49	316,655
	8	0602 アルツハイマー病	10,742,382	52	206,584
	9	0105 ウイルス性肝炎	54,393,527	281	193,571
	10	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	26,517,631	140	189,412
平成28年度	1	1402 腎不全	71,980,955	123	585,211
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	163,757,216	294	556,997
	3	1502 妊娠高血圧症候群	548,150	1	548,150
	4	0904 くも膜下出血	17,840,753	41	435,140
	5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	20,003,337	47	425,603
	6	0506 知的障害<精神遅滞>	10,467,032	29	360,932
	7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	18,064,351	75	240,858
	8	0507 その他の精神及び行動の障害	26,908,112	114	236,036
	9	0208 悪性リンパ腫	11,792,648	51	231,228
	10	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	35,979,652	162	222,097

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)		レセプト件数 ※		患者数 ※	
	2,473,856,920		107,188		8,186	

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
<b>I. 感染症及び寄生虫症</b>	79,923,079	3.2%		8,095	7.6%		2,305	28.2%		34,674	
0101 腸管感染症	4,828,433	0.2%	80	1,782	1.7%	52	765	9.3%	33	6,312	110
0102 結核	1,064,190	0.0%	103	202	0.2%	98	84	1.0%	92	12,669	93
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	528,215	0.0%	111	190	0.2%	99	123	1.5%	84	4,294	118
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	5,454,617	0.2%	75	1,210	1.1%	62	417	5.1%	51	13,081	90
0105 ウイルス性肝炎	37,087,986	1.5%	18	1,134	1.1%	65	302	3.7%	63	122,808	18
0106 その他のウイルス性疾患	6,290,519	0.3%	69	130	0.1%	106	83	1.0%	93	75,789	28
0107 真菌症	10,196,194	0.4%	60	1,993	1.9%	48	501	6.1%	44	20,352	71
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	292,233	0.0%	117	153	0.1%	104	23	0.3%	110	12,706	91
0109 その他の感染症及び寄生虫症	14,180,692	0.6%	48	1,955	1.8%	49	737	9.0%	35	19,241	75
<b>II. 新生物&lt;腫瘍&gt;</b>	362,003,571	14.6%		8,636	8.1%		2,404	29.4%		150,584	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	33,870,148	1.4%	24	1,131	1.1%	67	449	5.5%	47	75,435	29
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	20,930,937	0.8%	36	1,027	1.0%	69	448	5.5%	48	46,721	43
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	18,064,351	0.7%	41	349	0.3%	89	75	0.9%	95	240,858	7
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	3,598,219	0.1%	88	579	0.5%	81	236	2.9%	69	15,247	85
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	52,461,772	2.1%	11	873	0.8%	74	300	3.7%	64	174,873	12
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	35,979,652	1.5%	19	901	0.8%	72	162	2.0%	77	222,097	10
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	3,637,777	0.1%	87	284	0.3%	92	132	1.6%	82	27,559	62
0208 悪性リンパ腫	11,792,648	0.5%	52	184	0.2%	102	51	0.6%	100	231,228	9
0209 白血病	2,918,633	0.1%	92	115	0.1%	109	16	0.2%	114	182,415	11
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	149,520,662	6.0%	2	3,365	3.1%	34	1,022	12.5%	25	146,302	15
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	29,228,772	1.2%	28	2,853	2.7%	38	1,254	15.3%	17	23,308	68
<b>III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害</b>	23,016,565	0.9%		3,201	3.0%		989	12.1%		23,273	
0301 貧血	9,388,553	0.4%	65	2,079	1.9%	45	673	8.2%	37	13,950	89
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	13,628,012	0.6%	50	1,334	1.2%	60	483	5.9%	45	28,215	60
<b>IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患</b>	241,020,027	9.7%		35,646	33.3%		3,775	46.1%		63,846	
0401 甲状腺障害	9,968,223	0.4%	62	2,072	1.9%	46	537	6.6%	42	18,563	77
0402 糖尿病	128,680,228	5.2%	4	17,034	15.9%	4	2,275	27.8%	4	56,563	34
0403 脂質異常症	76,805,942	3.1%	7	21,864	20.4%	2	2,019	24.7%	6	38,042	51
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	25,565,634	1.0%	33	8,174	7.6%	9	1,299	15.9%	14	19,681	73
<b>V. 精神及び行動の障害</b>	263,483,732	10.7%		10,457	9.8%		1,097	13.4%		240,186	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	189,271	0.0%	118	77	0.1%	112	37	0.5%	107	5,115	116
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1,253,368	0.1%	102	260	0.2%	95	40	0.5%	106	31,334	55
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	163,757,216	6.6%	1	3,595	3.4%	32	294	3.6%	66	556,997	2

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,473,856,920	107,188	8,186

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	46,822,642	1.9%	13	4,409	4.1%	27	385	4.7%	54	121,617	19
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	14,086,091	0.6%	49	5,947	5.5%	18	670	8.2%	38	21,024	70
0506	知的障害<精神遅滞>	10,467,032	0.4%	58	128	0.1%	107	29	0.4%	108	360,932	6
0507	その他の精神及び行動の障害	26,908,112	1.1%	32	865	0.8%	75	114	1.4%	87	236,036	8
VI. 神経系の疾患		126,396,577	5.1%		19,087	17.8%		1,977	24.2%		63,934	
0601	パーキンソン病	10,130,408	0.4%	61	887	0.8%	73	82	1.0%	94	123,542	17
0602	アルツハイマー病	6,949,747	0.3%	68	372	0.3%	87	46	0.6%	103	151,081	14
0603	てんかん	16,548,527	0.7%	44	2,033	1.9%	47	212	2.6%	73	78,059	26
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	20,003,337	0.8%	37	188	0.2%	100	47	0.6%	102	425,603	5
0605	自律神経系の障害	3,576,311	0.1%	89	438	0.4%	84	49	0.6%	101	72,986	31
0606	その他の神経系の疾患	69,188,247	2.8%	9	16,836	15.7%	5	1,780	21.7%	10	38,870	48
VII. 眼及び付属器の疾患		89,380,998	3.6%		9,500	8.9%		2,363	28.9%		37,825	
0701	結膜炎	5,363,207	0.2%	76	3,002	2.8%	37	947	11.6%	27	5,663	113
0702	白内障	30,664,380	1.2%	26	3,623	3.4%	31	790	9.7%	32	38,816	49
0703	屈折及び調節の障害	9,409,161	0.4%	64	6,988	6.5%	13	1,839	22.5%	8	5,116	115
0704	その他の眼及び付属器の疾患	43,944,250	1.8%	15	6,635	6.2%	14	1,556	19.0%	11	28,242	58
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		12,138,254	0.5%		2,609	2.4%		714	8.7%		17,000	
0801	外耳炎	930,607	0.0%	105	409	0.4%	85	159	1.9%	79	5,853	112
0802	その他の外耳疾患	513,812	0.0%	113	277	0.3%	94	161	2.0%	78	3,191	121
0803	中耳炎	1,736,107	0.1%	100	515	0.5%	82	154	1.9%	80	11,273	99
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	748,748	0.0%	107	308	0.3%	91	118	1.4%	86	6,345	109
0805	メニエール病	1,792,131	0.1%	99	627	0.6%	79	92	1.1%	90	19,480	74
0806	その他の内耳疾患	2,301,345	0.1%	97	118	0.1%	108	46	0.6%	103	50,029	39
0807	その他の耳疾患	4,115,504	0.2%	84	1,168	1.1%	63	336	4.1%	61	12,249	94
IX. 循環器系の疾患		398,781,654	16.1%		38,425	35.8%		3,549	43.4%		112,365	
0901	高血圧性疾患	129,714,685	5.2%	3	32,951	30.7%	1	2,699	33.0%	1	48,060	42
0902	虚血性心疾患	47,592,489	1.9%	12	6,093	5.7%	16	849	10.4%	31	56,057	35
0903	その他の心疾患	85,866,762	3.5%	6	6,424	6.0%	15	1,097	13.4%	23	78,274	25
0904	くも膜下出血	17,840,753	0.7%	42	185	0.2%	101	41	0.5%	105	435,140	4
0905	脳内出血	11,273,060	0.5%	55	345	0.3%	90	134	1.6%	81	84,127	23
0906	脳梗塞	44,176,842	1.8%	14	4,119	3.8%	30	605	7.4%	40	73,020	30
0907	脳動脈硬化(症)	20,689	0.0%	120	2	0.0%	120	2	0.0%	120	10,345	102
0908	その他の脳血管疾患	15,735,434	0.6%	45	1,350	1.3%	59	353	4.3%	57	44,576	45
0909	動脈硬化(症)	11,393,458	0.5%	54	958	0.9%	70	254	3.1%	68	44,856	44
0911	低血圧(症)	434,325	0.0%	115	180	0.2%	103	23	0.3%	110	18,884	76
0912	その他の循環器系の疾患	34,733,157	1.4%	22	1,793	1.7%	51	396	4.8%	53	87,710	22
X. 呼吸器系の疾患		144,508,482	5.8%		21,961	20.5%		4,219	51.5%		34,252	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	3,467,264	0.1%	91	3,200	3.0%	36	1,020	12.5%	26	3,399	119
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	5,263,504	0.2%	78	2,716	2.5%	40	1,061	13.0%	24	4,961	117
1003	その他の急性上気道感染症	14,456,161	0.6%	47	6,077	5.7%	17	1,854	22.6%	7	7,797	104



※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,473,856,920	107,188	8,186

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	11,555,291	0.5%	53	1,224	1.1%	61	526	6.4%	43	21,968	69
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	9,359,056	0.4%	66	3,360	3.1%	35	1,283	15.7%	15	7,295	106
1006	アレルギー性鼻炎	18,518,777	0.7%	40	7,115	6.6%	11	1,526	18.6%	13	12,136	96
1007	慢性副鼻腔炎	3,513,813	0.1%	90	1,129	1.1%	68	222	2.7%	72	15,828	82
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	3,738,953	0.2%	86	1,878	1.8%	50	706	8.6%	36	5,296	114
1009	慢性閉塞性肺疾患	10,651,930	0.4%	57	2,447	2.3%	41	345	4.2%	60	30,875	57
1010	喘息	28,281,536	1.1%	29	4,845	4.5%	24	759	9.3%	34	37,262	52
1011	その他の呼吸器系の疾患	35,702,197	1.4%	20	4,521	4.2%	26	1,528	18.7%	12	23,365	67
X I . 消化器系の疾患		186,180,478	7.5%		32,277	30.1%		4,214	51.5%		44,181	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	26,161	0.0%	119	13	0.0%	116	8	0.1%	116	3,270	120
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	1,328,332	0.1%	101	38	0.0%	114	19	0.2%	112	69,912	32
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	22,869,465	0.9%	34	7,199	6.7%	10	934	11.4%	28	24,486	65
1105	胃炎及び十二指腸炎	27,145,277	1.1%	31	12,726	11.9%	6	2,224	27.2%	5	12,206	95
1106	痔核	2,678,935	0.1%	94	761	0.7%	76	164	2.0%	76	16,335	80
1107	アルコール性肝疾患	2,565,351	0.1%	95	407	0.4%	86	61	0.7%	98	42,055	46
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	2,832,768	0.1%	93	1,489	1.4%	56	193	2.4%	75	14,678	87
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	2,379,425	0.1%	96	487	0.5%	83	92	1.1%	90	25,863	63
1110	その他の肝疾患	9,318,282	0.4%	67	4,283	4.0%	28	1,269	15.5%	16	7,343	105
1111	胆石症及び胆のう炎	17,089,986	0.7%	43	1,564	1.5%	55	349	4.3%	59	48,968	41
1112	膵疾患	4,577,734	0.2%	81	619	0.6%	80	226	2.8%	71	20,255	72
1113	その他の消化器系の疾患	93,368,762	3.8%	5	19,289	18.0%	3	2,430	29.7%	3	38,423	50
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		46,852,649	1.9%		11,210	10.5%		2,398	29.3%		19,538	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	5,883,819	0.2%	72	1,132	1.1%	66	417	5.1%	51	14,110	88
1202	皮膚炎及び湿疹	19,718,926	0.8%	38	8,191	7.6%	8	1,807	22.1%	9	10,913	100
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	21,249,904	0.9%	35	5,066	4.7%	23	1,194	14.6%	21	17,797	78
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		202,372,042	8.2%		24,429	22.8%		3,235	39.5%		62,557	
1301	炎症性多発性関節障害	40,445,907	1.6%	17	4,279	4.0%	29	657	8.0%	39	61,562	33
1302	関節症	33,930,342	1.4%	23	5,550	5.2%	20	862	10.5%	30	39,362	47
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	29,603,529	1.2%	27	5,778	5.4%	19	920	11.2%	29	32,178	53
1304	椎間板障害	5,556,387	0.2%	73	1,704	1.6%	53	371	4.5%	55	14,977	86
1305	頸腕症候群	4,498,219	0.2%	82	2,367	2.2%	42	371	4.5%	55	12,125	97
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	13,030,653	0.5%	51	7,070	6.6%	12	1,218	14.9%	20	10,698	101
1307	その他の脊柱障害	10,315,037	0.4%	59	907	0.8%	71	210	2.6%	74	49,119	40
1308	肩の傷害<損傷>	6,018,810	0.2%	70	2,758	2.6%	39	475	5.8%	46	12,671	92
1309	骨の密度及び構造の障害	31,555,621	1.3%	25	5,368	5.0%	21	596	7.3%	41	52,946	36
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	27,417,537	1.1%	30	5,153	4.8%	22	1,119	13.7%	22	24,502	64

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,473,856,920	107,188	8,186

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	135,808,056	5.5%		10,575	9.9%		2,087	25.5%		65,073	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	10,927,985	0.4%	56	1,392	1.3%	58	353	4.3%	57	30,957	56
1402 腎不全	71,980,955	2.9%	8	1,140	1.1%	64	123	1.5%	84	585,211	1
1403 尿管結石症	4,175,915	0.2%	83	717	0.7%	78	264	3.2%	67	15,818	83
1404 その他の腎尿路系の疾患	18,961,727	0.8%	39	4,619	4.3%	25	1,225	15.0%	19	15,479	84
1405 前立腺肥大(症)	15,276,682	0.6%	46	2,306	2.2%	44	298	3.6%	65	51,264	38
1406 その他の男性生殖器系の疾患	583,746	0.0%	108	215	0.2%	97	64	0.8%	96	9,121	103
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	3,956,254	0.2%	85	1,466	1.4%	57	228	2.8%	70	17,352	79
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	9,944,792	0.4%	63	720	0.7%	77	313	3.8%	62	31,772	54
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	5,755,496	0.2%		160	0.1%		65	0.8%		88,546	
1501 流産	309,360	0.0%	116	24	0.0%	115	13	0.2%	115	23,797	66
1502 妊娠高血圧症候群	548,150	0.0%	110	1	0.0%	122	1	0.0%	122	548,150	3
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	4,897,986	0.2%	79	144	0.1%	105	62	0.8%	97	79,000	24
XVI. 周産期に発生した病態	1,436,860	0.1%		17	0.0%		10	0.1%		143,686	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	518,390	0.0%	112	7	0.0%	118	3	0.0%	118	172,797	13
1602 その他の周産期に発生した病態	918,470	0.0%	106	11	0.0%	117	8	0.1%	116	114,809	20
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	5,988,967	0.2%		330	0.3%		121	1.5%		49,496	
1701 心臓の先天奇形	501,659	0.0%	114	51	0.0%	113	18	0.2%	113	27,870	61
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	5,487,308	0.2%	74	279	0.3%	93	104	1.3%	88	52,763	37
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	42,085,544	1.7%		11,421	10.7%		2,633	32.2%		15,984	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	42,085,544	1.7%	16	11,421	10.7%	7	2,633	32.2%	2	15,984	81
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	100,870,473	4.1%		4,852	4.5%		1,595	19.5%		63,242	
1901 骨折	56,633,324	2.3%	10	1,576	1.5%	54	427	5.2%	50	132,631	16
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	6,006,452	0.2%	71	112	0.1%	110	59	0.7%	99	101,804	21
1903 熱傷及び腐食	2,207,340	0.1%	98	89	0.1%	111	29	0.4%	108	76,115	27
1904 中毒	936,075	0.0%	104	227	0.2%	96	131	1.6%	83	7,146	107
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	35,087,282	1.4%	21	3,371	3.1%	33	1,243	15.2%	18	28,228	59
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,293,286	0.2%		2,350	2.2%		451	5.5%		11,737	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	20,239	0.0%	121	5	0.0%	119	3	0.0%	118	6,746	108
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	2,650	0.0%	122	2	0.0%	120	2	0.0%	120	1,325	122
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,473,856,920	107,188	8,186

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの 利用者	5,270,397	0.2%	77	2,343	2.2%	43	447	5.5%	49	11,791	98
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		560,130	0.0%		372	0.3%		93	1.1%		6,023	
9999	分類外	560,130	0.0%	109	372	0.3%	87	93	1.1%	89	6,023	111

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。  
 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

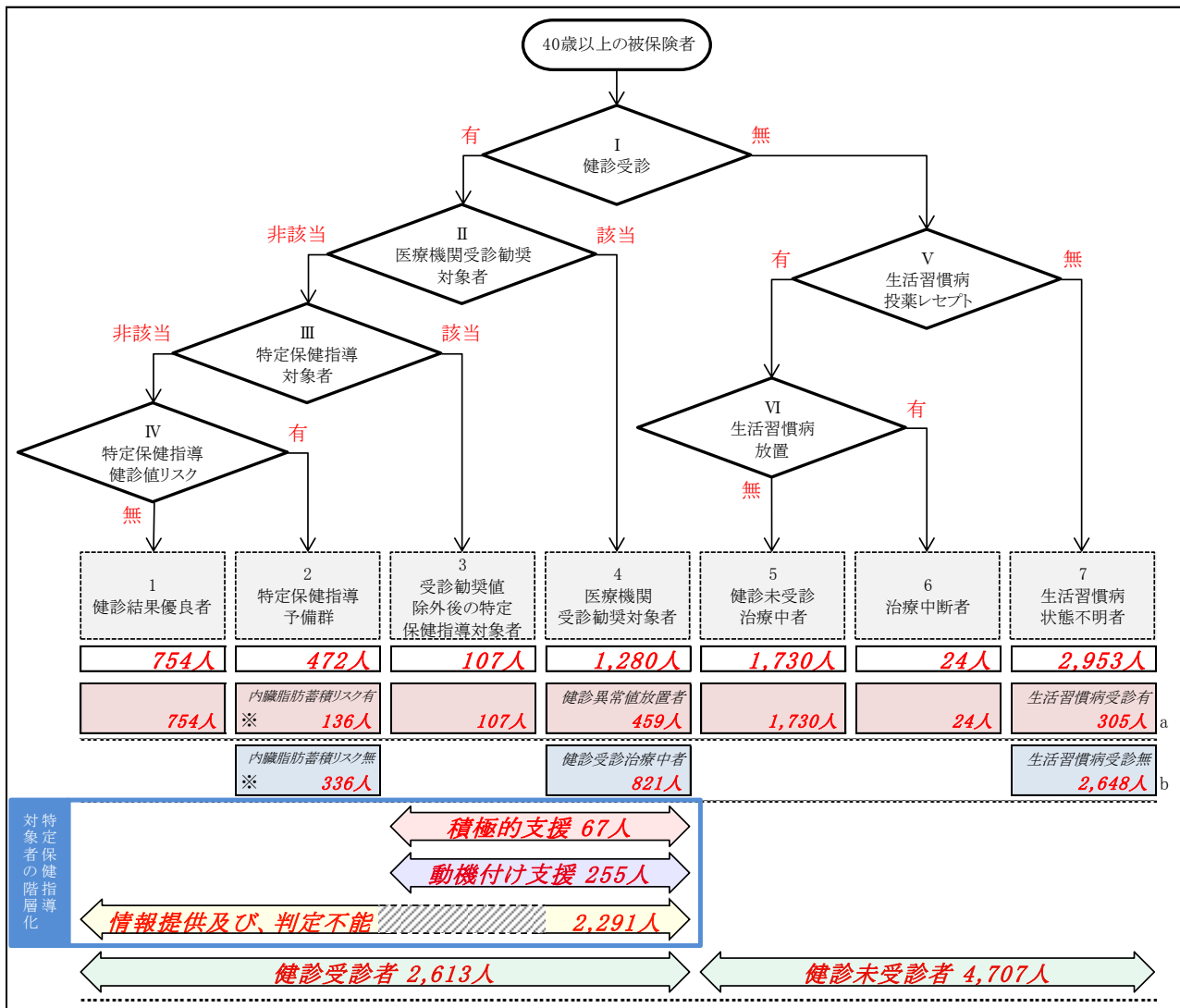
# 4. 保健事業実施に係る分析結果

## (1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
 資格確認日…平成29年3月31日時点。  
 各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。  
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

## (2) 特定健康診査に係る分析

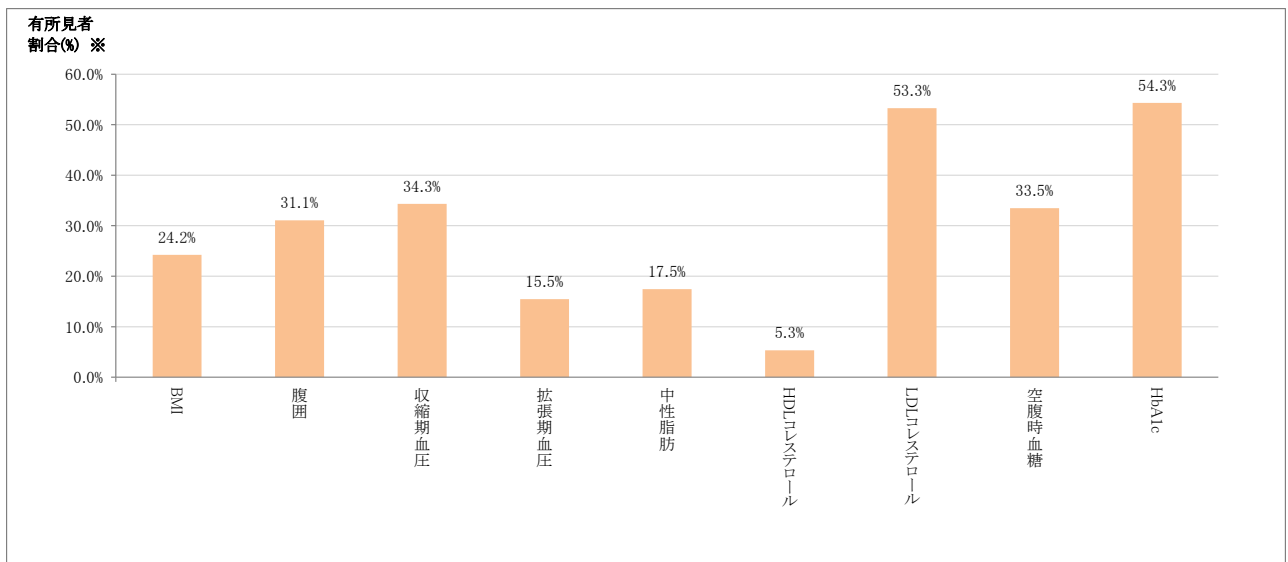
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

### 有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	2,613	2,613	2,613	2,613
有所見者数(人) ※	633	812	897	404
有所見者割合(%) ※	24.2%	31.1%	34.3%	15.5%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	2,613	2,613	2,613	2,499	2,455
有所見者数(人) ※	456	139	1,392	836	1,334
有所見者割合(%) ※	17.5%	5.3%	53.3%	33.5%	54.3%

### 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

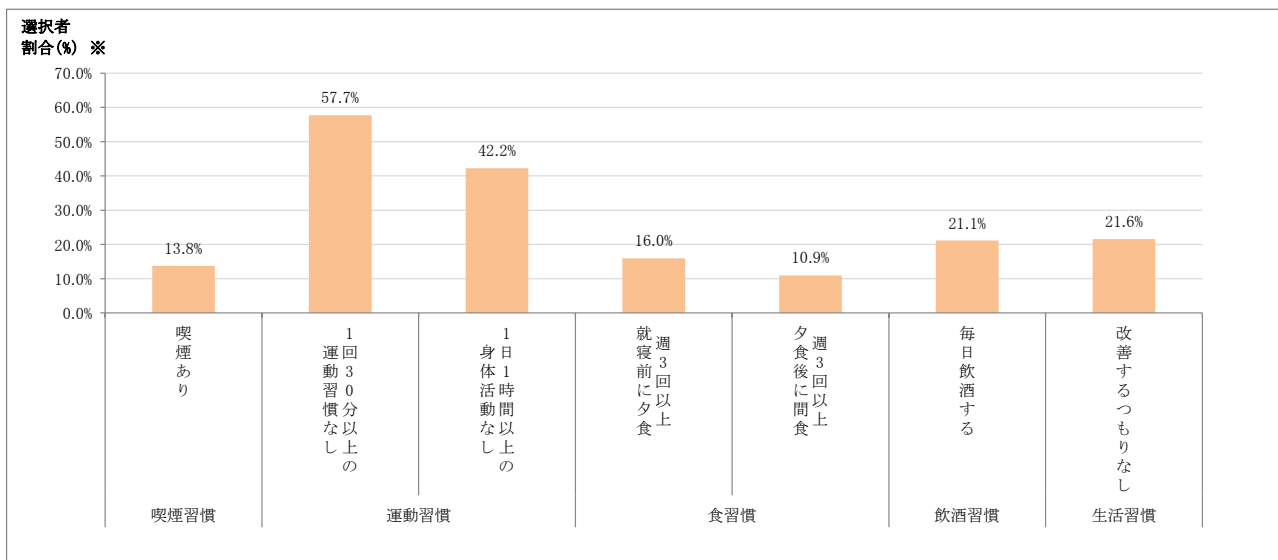
空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

## 質問別回答状況

質問の選択肢	喫煙習慣	運動習慣	
	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	2,613	2,568	2,567
選択者数(人) ※	360	1,482	1,084
選択者割合(%) ※	13.8%	57.7%	42.2%

質問の選択肢	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	2,568	2,568	2,568	2,566
選択者数(人) ※	410	281	543	554
選択者割合(%) ※	16.0%	10.9%	21.1%	21.6%

## 質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

### 質問回答内容

喫煙あり

…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし

…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

1日1時間以上の身体活動なし

…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食

…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

週3回以上夕食後に間食

…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

毎日飲酒する

…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

改善するつもりなし

…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

### (3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は322人である。このうち、積極的支援の対象者は67人、動機付け支援の対象者は255人である。

#### 特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			322人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	0人	67人 21%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	8人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	5人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	6人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	2人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	10人	
	●		●			血糖+脂質	11人	
	●	●	●			血圧+脂質	8人	
		●		●		血糖+喫煙	3人	
			●	●		血圧+喫煙	2人	
	●			●	因子数1	脂質+喫煙	12人	
		●				血糖	0人	
			●		因子数0	血圧	0人	
			●	脂質		0人		
				喫煙		0人		
				因子数0	なし	0人		
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	2人	255人 79%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	13人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	0人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	4人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	1人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	31人	
	●		●			血糖+脂質	17人	
	●	●	●			血圧+脂質	11人	
		●		●		血糖+喫煙	1人	
			●	●		血圧+喫煙	3人	
	●			●	因子数1	脂質+喫煙	8人	
		●				血糖	53人	
			●		因子数0	血圧	67人	
			●	脂質		44人		
				喫煙		0人		
				因子数0	なし	0人		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

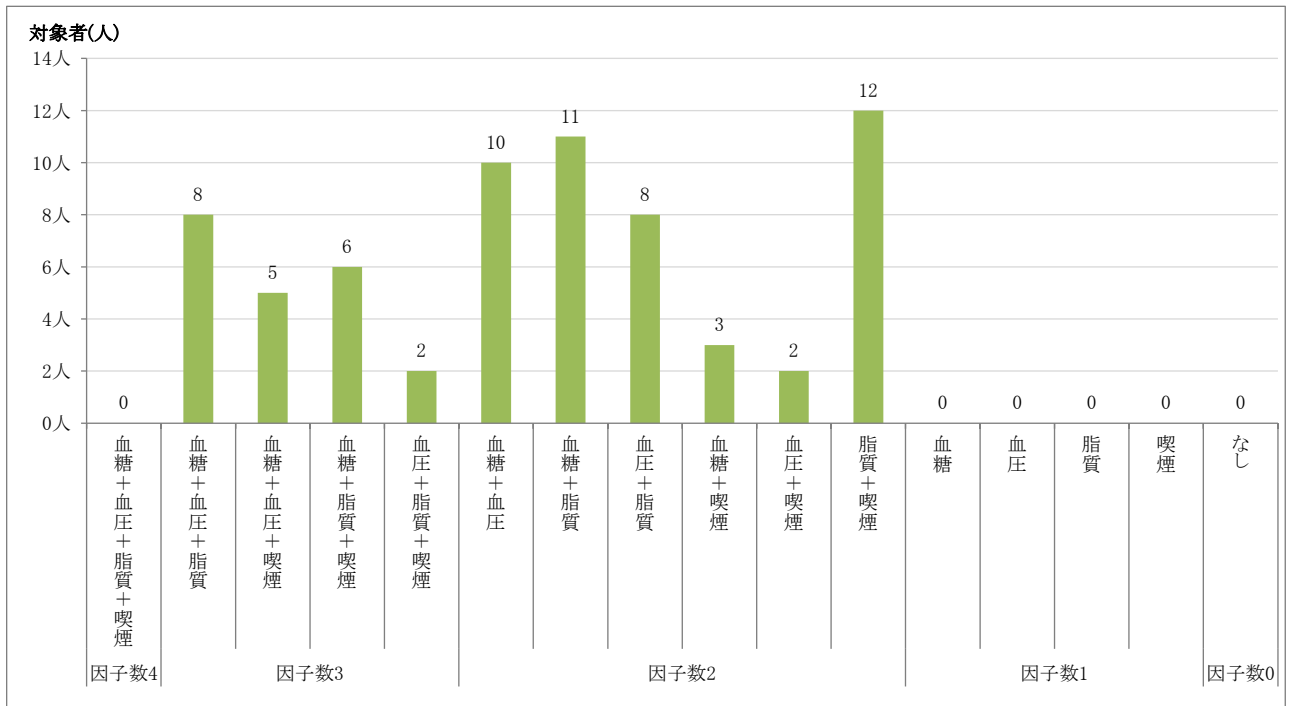
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

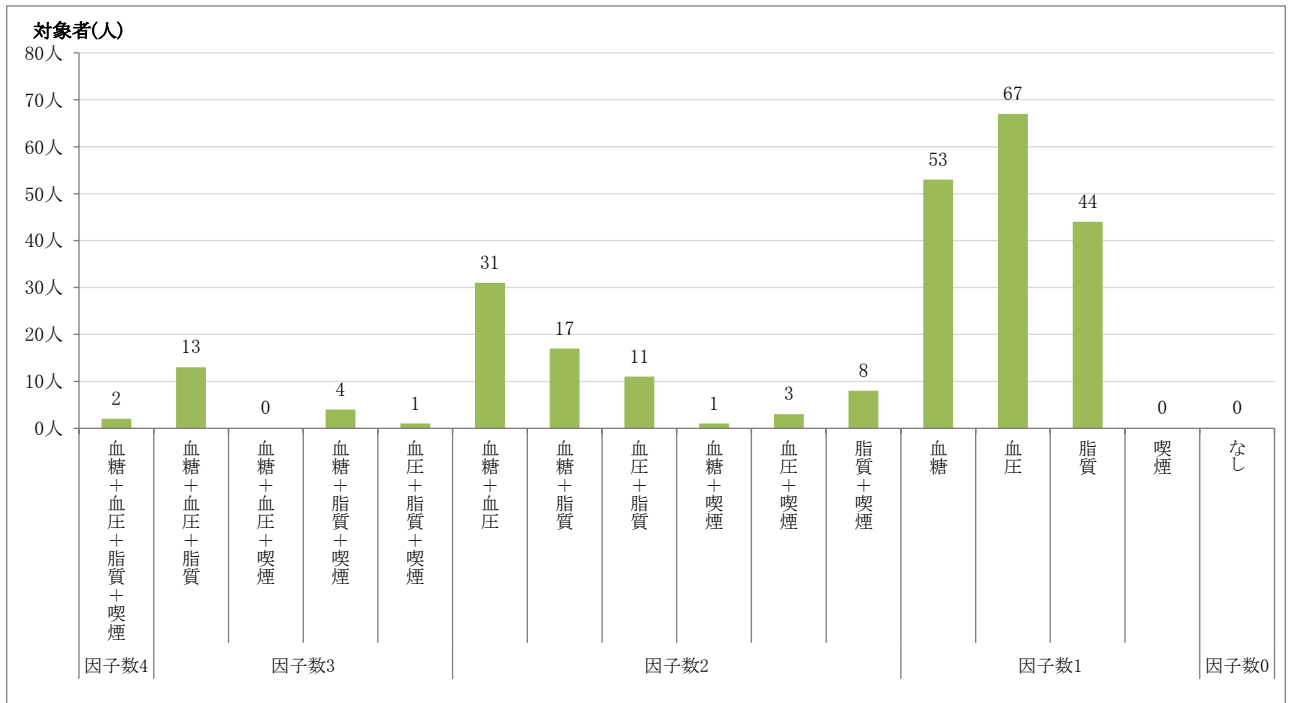
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

## 積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

## 動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。



#### (4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する459人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

#### 条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	459 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

#### 除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定	
	除外理由別人数
除外	がん、難病等
	113 人
↓	
除外患者を除いた候補者数	346 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者346人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

### 優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
↑高 効果 ↓低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A  2人	候補者C  4人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B  7人	候補者D  55人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E  51人	候補者F  227人
	喫煙	非喫煙	
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			346人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

## (5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者42人が対象となる。

### 条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	候補者人数 <b>24 人</b>
	上記以外のグループ	<b>18 人</b>
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		<b>42 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

### 除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
除外	がん、難病等	除外理由別人数 <b>1 人</b>
		除外患者を除き、候補者となった患者数 <b>41 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者41人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

### 優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 <b>0人</b>	候補者A2 <b>1人</b>	候補者A3 <b>0人</b>
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 <b>0人</b>	候補者B2 <b>5人</b>	候補者B3 <b>1人</b>
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 <b>3人</b>	候補者C2 <b>18人</b>	候補者C3 <b>13人</b>
		毎月受診	2~3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1~候補者C3の患者数				<b>41人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月~平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

## (6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、72.2%が生活習慣を起因とするものであり、その72.2%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

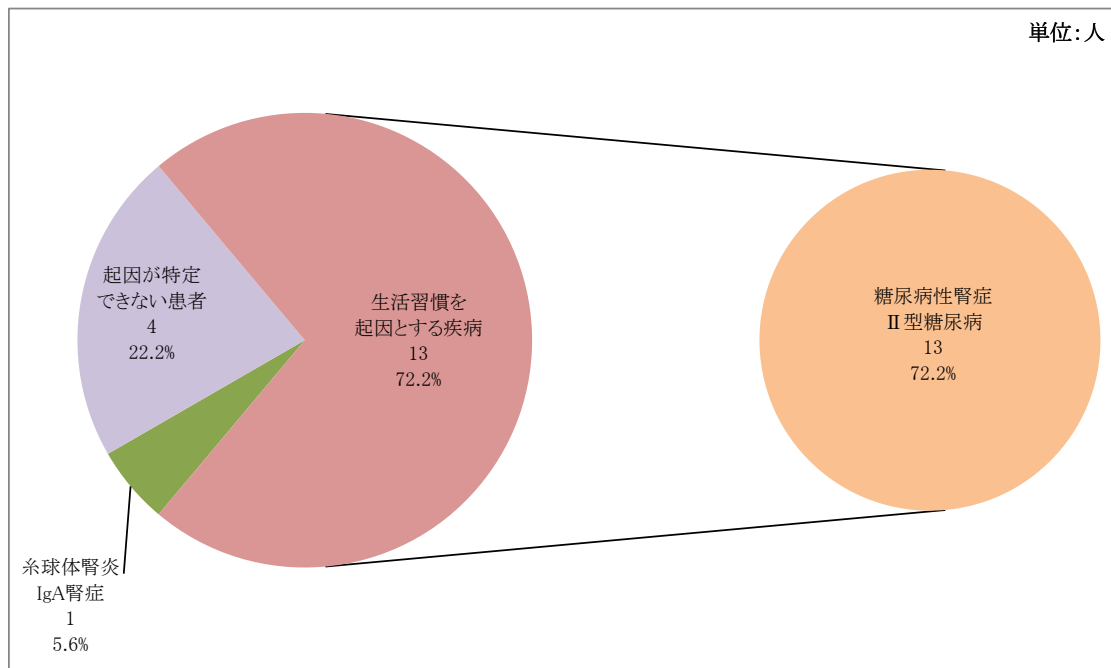
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	18
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	18

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

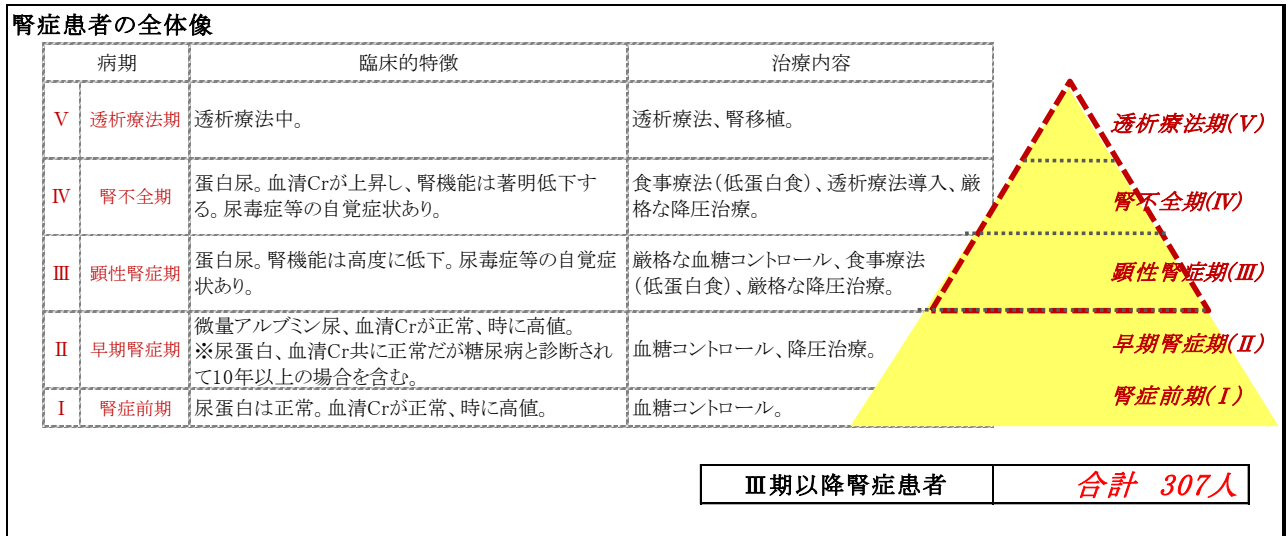
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者307人中73人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

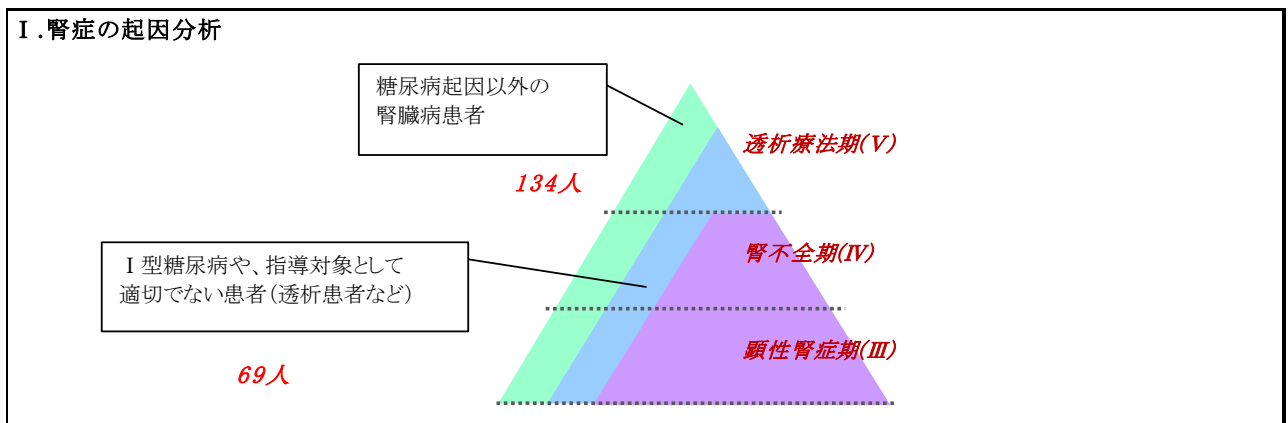
## 腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、134人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、69人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

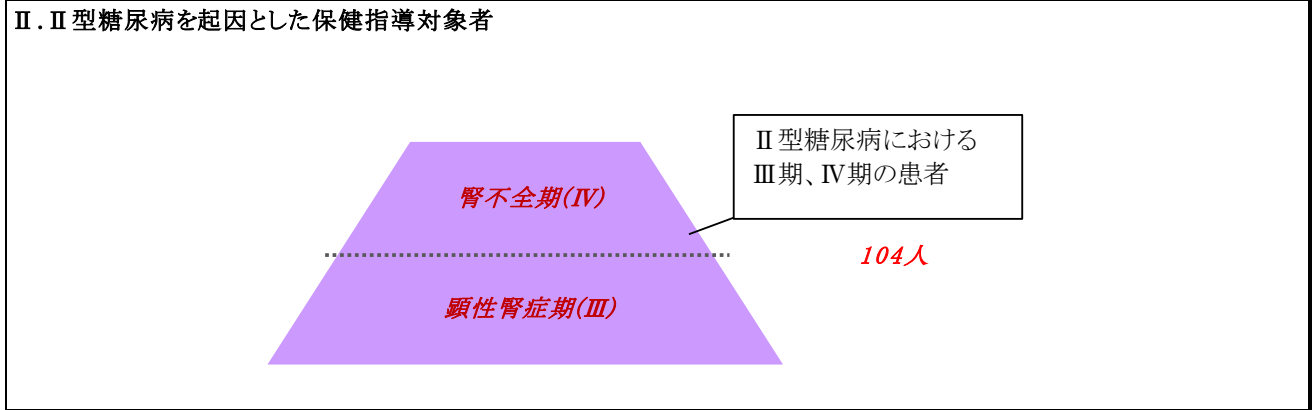
## 腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて104人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行に近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

## Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

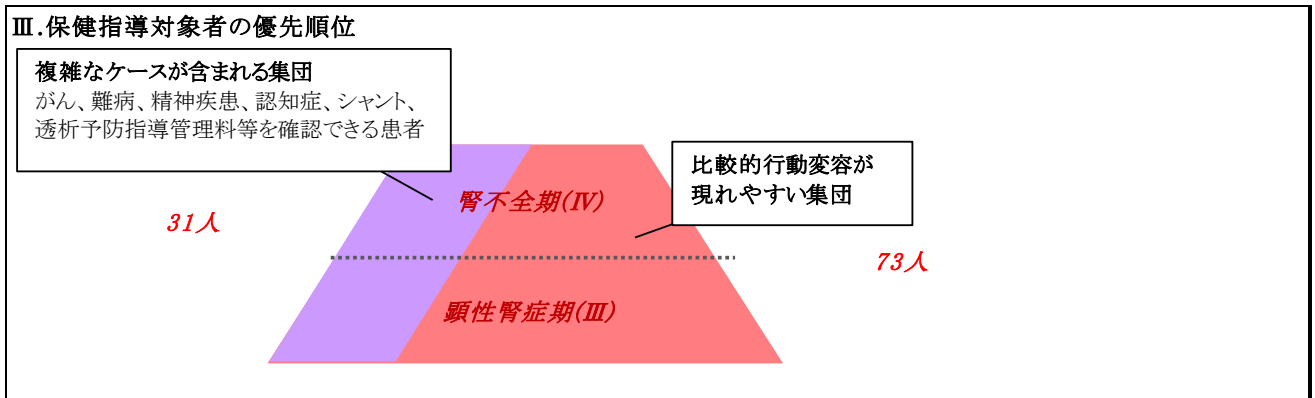


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。104人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、31人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、73人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

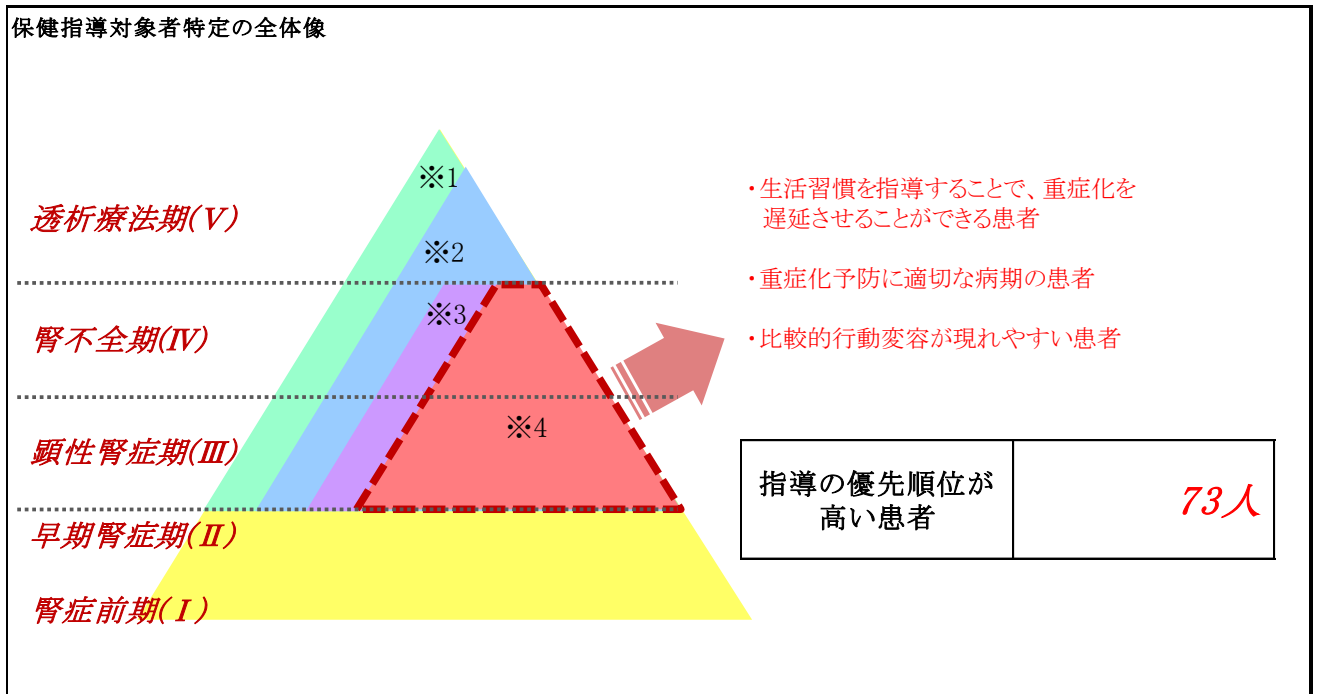
## 保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、73人となった。この分析の全体像を以下に示す。

### 保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者



## (7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

### 重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) *	2	4	4	3	3	4	2	7	3	1	5	5
12カ月間の延べ人数											43	
12カ月間の実人数											30	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

### 頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) *	5	8	8	10	9	8	9	9	8	9	7	9
12カ月間の延べ人数											99	
12カ月間の実人数											49	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

### 重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) *	28	34	33	25	29	22	21	21	34	31	21	32
12カ月間の延べ人数											331	
12カ月間の実人数											164	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は30人、頻回受診者は49人、重複服薬者は164人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

### 条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に<b>3医療機関以上</b>受診している患者</li> <li>・頻回受診患者 …1カ月間で<b>同一医療機関に12回以上</b>受診している患者</li> <li>・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、<b>同系医薬品の日数合計が60日を超える</b>患者</li> </ul>	
条件設定により候補者となった患者数	<b>230 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

### 除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	<b>0 人</b>	<b>175 人</b>
除外②	がん、難病等 ※	<b>175 人</b>	
除外患者を除き、候補者となった患者数		<b>55 人</b>	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。  
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者55人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは0人となった。

### 優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A  0人	候補者C  0人	候補者 としない  55人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B  0人	候補者D  0人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E  0人	候補者F  0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良                      効率                      悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数			0人	

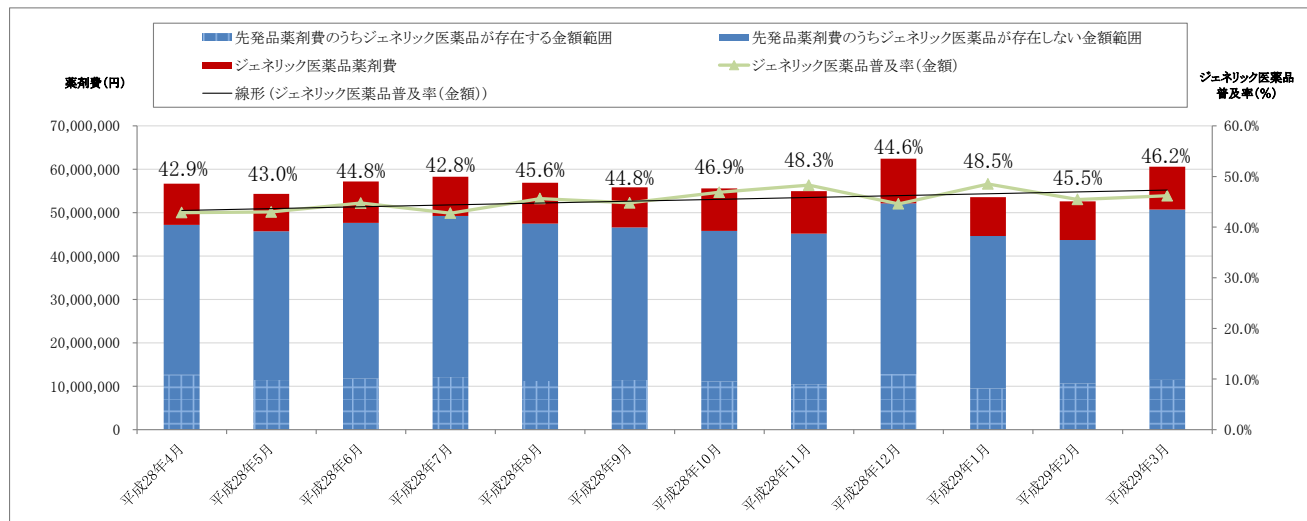
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

## (8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は45.3%(金額ベース)、68.8%(数量ベース)である。

### ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

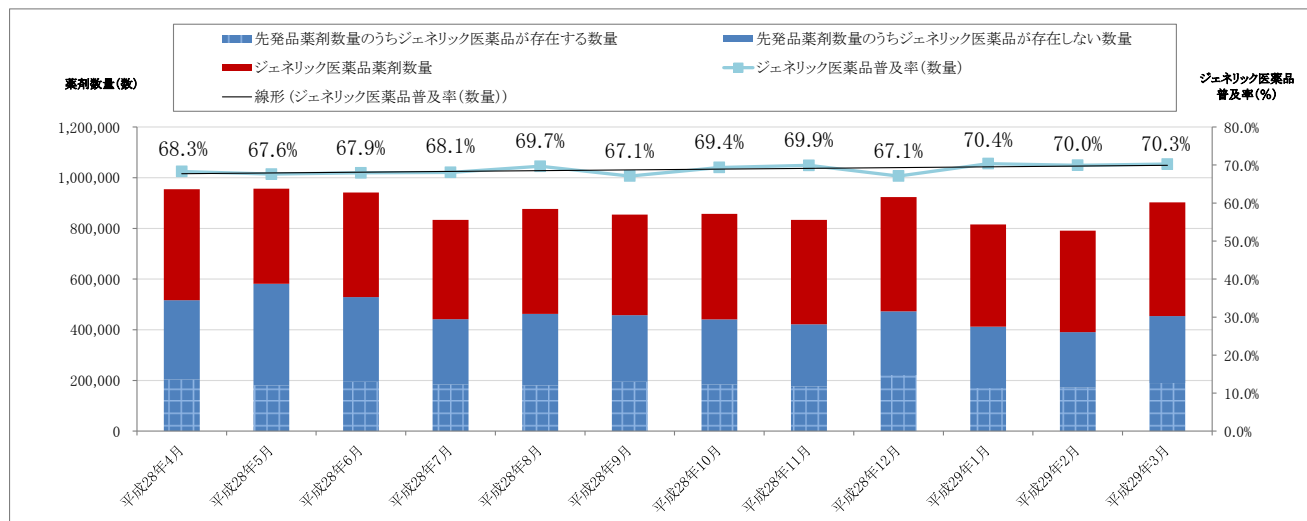


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



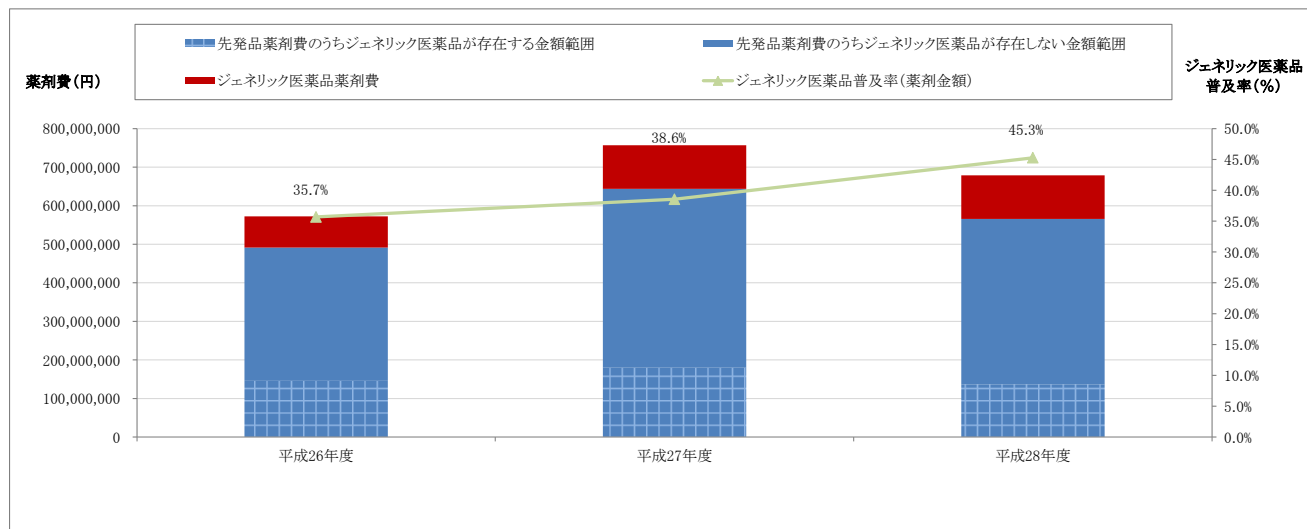
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)45.3%は、平成26年度35.7%より9.6ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)68.8%は、平成26年度58.1%より10.7ポイント上昇している。

### 年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

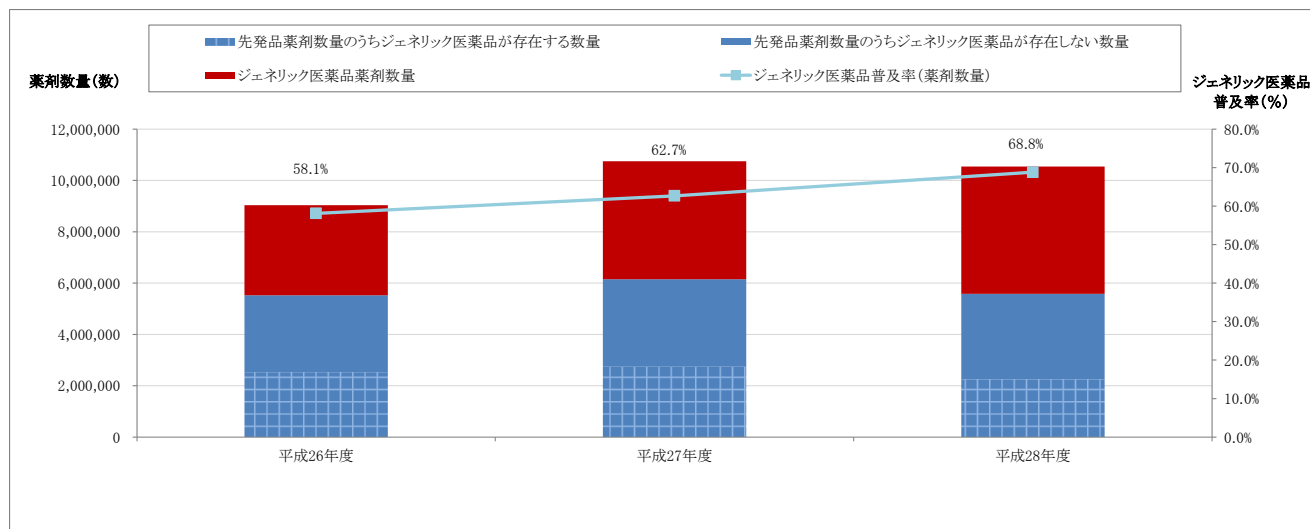


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### 年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



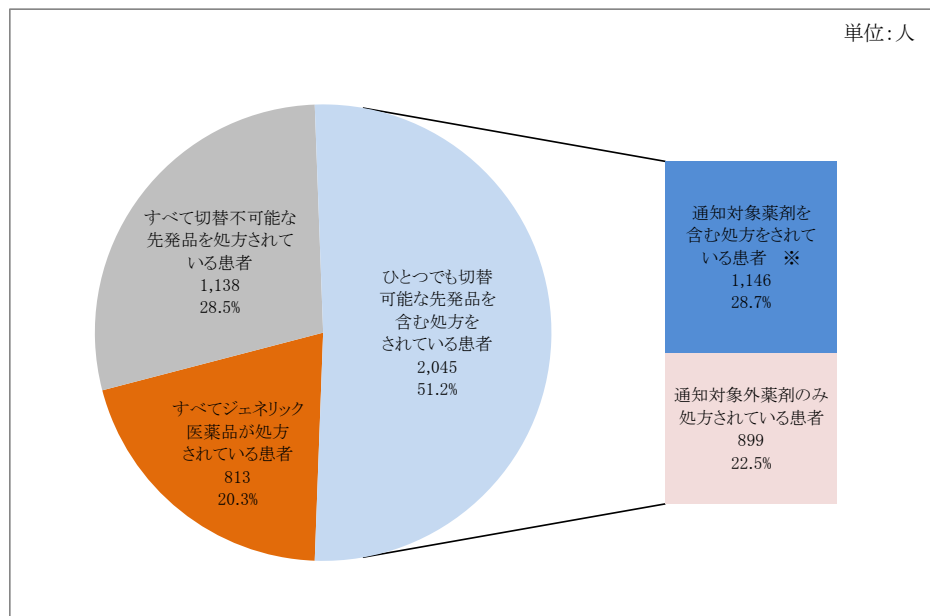
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は3,996人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は2,045人で患者数全体の51.2%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、1,146人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の28.7%となる。

### 薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

## 5. 分析結果に基づく健康課題の把握

### (1) 分析結果

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示す。

#### 【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	循環器系の疾患	398,781,654円
2位	新生物<腫瘍>	362,003,571円
3位	精神及び行動の障害	263,483,732円

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	4,219人
2位	消化器系の疾患	4,214人
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,775人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	精神及び行動の障害	240,186円
2位	新生物<腫瘍>	150,584円
3位	周産期に発生した病態	143,686円

#### 【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	163,757,216円
2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	149,520,662円
3位	高血圧性疾患	129,714,685円

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	2,699人
2位	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,633人
3位	その他の消化器系の疾患	2,430人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	腎不全	585,211円
2位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	556,997円
3位	妊娠高血圧症候群	548,150円

### 【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	738件
高額レセプト件数割合	0.7%
高額レセプト医療費割合	29.5%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	9,687,970円
2位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,298,770円
3位	その他の神経系の疾患	6,729,465円

### 【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	459人
----------	------

### 【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	42人
------------	-----

### 【人工透析患者の状況】

人工透析患者	18人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	13人

### 【医療機関受診状況】

重複受診者	30人
頻回受診者	49人
重複服薬者	164人

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数



【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	68.8%
--------------	-------

平成26年度から平成28年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示す。

### 【疾病大分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成 26 年度	1位	循環器系の疾患	303,450,066円
	2位	新生物<腫瘍>	301,779,888円
	3位	精神及び行動の障害	232,158,492円
平成 27 年度	1位	循環器系の疾患	377,971,112円
	2位	新生物<腫瘍>	369,882,058円
	3位	精神及び行動の障害	268,351,181円
平成 28 年度	1位	循環器系の疾患	398,781,654円
	2位	新生物<腫瘍>	362,003,571円
	3位	精神及び行動の障害	263,483,732円

### 【疾病中分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成 26 年度	1位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	145,740,918円
	2位	高血圧性疾患	121,078,057円
	3位	糖尿病	103,808,085円
平成 27 年度	1位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	172,676,452円
	2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	155,123,735円
	3位	高血圧性疾患	143,273,049円
平成 28 年度	1位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	163,757,216円
	2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	149,520,662円
	3位	高血圧性疾患	129,714,685円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

平成 26 年度	高額レセプト件数	590件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	27.7%
平成 27 年度	高額レセプト件数	717件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	27.3%
平成 28 年度	高額レセプト件数	738件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	29.5%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)			患者一人当たりの医療費
平成 26 年度	1位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	11,071,870円
	2位	パーキンソン病	8,857,740円
	3位	その他の神経系の疾患	8,114,780円
平成 27 年度	1位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	8,431,570円
	2位	パーキンソン病	6,173,880円
	3位	腎不全	5,899,961円
平成 28 年度	1位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	9,687,970円
	2位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,298,770円
	3位	その他の神経系の疾患	6,729,465円

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ジェネリック医薬品 普及率	58.1%	62.7%	68.8%

## (2) 分析結果に基づく課題とその対策

### 分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率            疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額である。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査の受診勧奨</li> <li>・特定保健指導の実施</li> </ul>
<p>◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者            健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診異常値放置者受診勧奨</li> <li>・生活習慣病治療中断者受診勧奨</li> </ul>
<p>◆糖尿病性腎症            人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在する。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病性腎症重症化予防</li> </ul>
<p>◆重複・頻回受診者、重複服薬者            重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診行動適正化指導</li> </ul>
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率            国が定める現在の目標(80%以上)と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック医薬品差額通知</li> </ul>

# 第3章 保健事業実施計画

## 1. 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示します。

	事業名	事業目的	事業概要	備考
1	特定健康診査 受診勧奨事業	特定健康診査の受診率向上	特定健診を受けていない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。	
2	特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備軍の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門家による支援を面接や電話、e-mail等で行う。	
3	ハッスル年代 健康チェック事業	25歳以上39歳までの国民健康保険加入者	特定健診以前の若年層の国保加入者を対象に、自分の健康に関心を持ち、壮年期からの健康管理の習慣づくりを目的として、特定健診と同等の健診を集団健診で実施。	
4	人間ドック	30歳以上の国保被保険者及び 後期高齢者医療被保険者	国民健康保険加入者及び後期高齢者医療被保険者の疾病の早期発見・早期治療、健康習慣づくりを目指して、医療機関に委託し人間ドックを実施。	
5	生活習慣病重症化 予防事業	生活習慣病患者の病気進行阻止 高血症 高血糖	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。	
6	受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診、 重複服薬)	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトデータから医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について専門職による指導を行う。	
7	ジェネリック 医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータからジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。	

## 2. 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

事業名	第1期			第2期					
	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
特定健康診査 未受診者対策事業		実施	評価	P	D	CA	P	D	CA
特定保健指導事業		実施	評価	P	D	CA	P	D	CA
ハッスル年代 健康チェック事業		実施	評価	P	D	CA	P	D	CA
人間ドック		実施	評価	P	D	CA	P	D	CA
生活習慣病 重症化予防事業				P	D	CA	P	D	CA
受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)		実施	評価	P	D	CA	P	D	CA
ジェネリック 医薬品差額通知事業				P	D	CA	P	D	CA

### 3. 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

#### (1) 特定健康診査未受診者対策事業

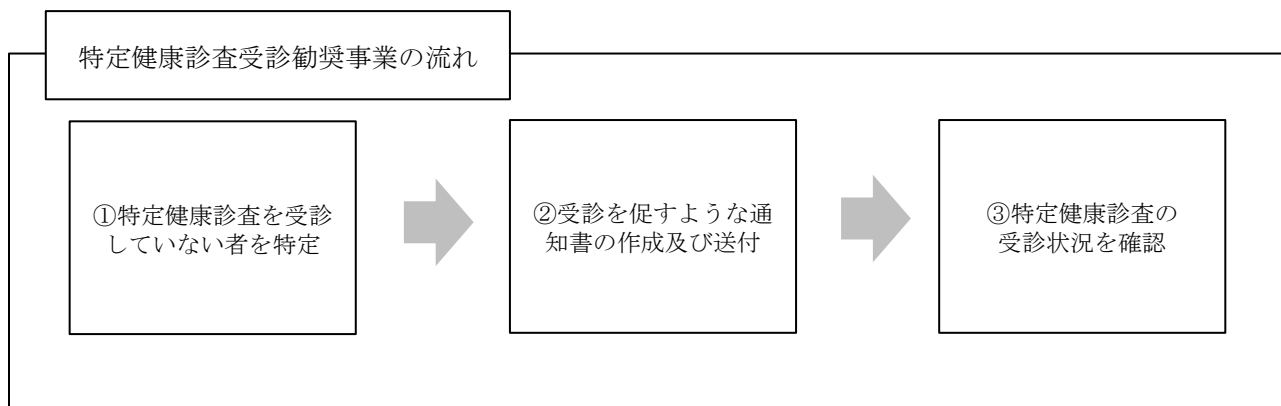
##### 【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

##### 【事業概要】

特定健康診査を受診していない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。

##### 【実施内容】



##### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期 対象者の特定健康診査受診率 30%	事業対象者のうち特定健康診査を受診した人数より確認する。
	中長期 特定健康診査受診率 60%	特定健康診査受診率を確認する。

## (2) 特定保健指導事業

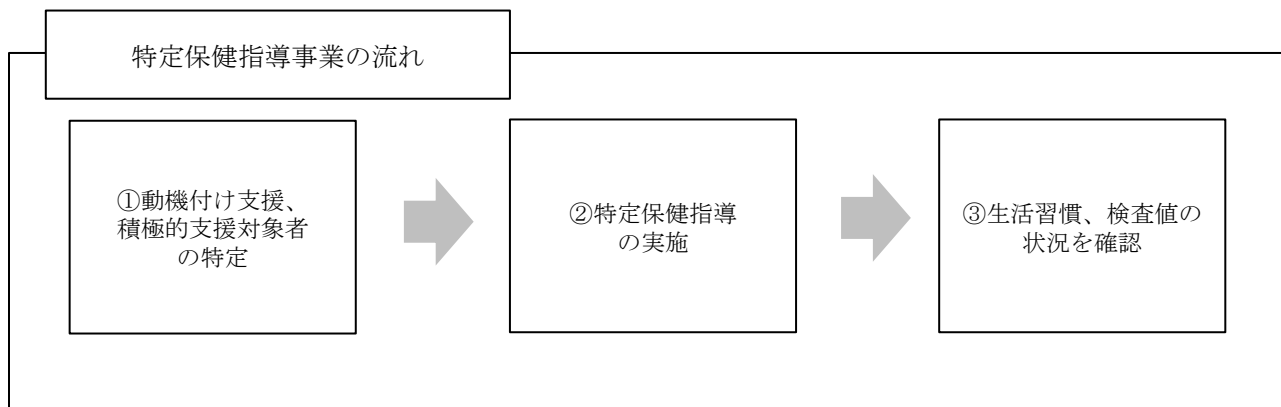
### 【事業目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

### 【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。

### 【事業内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者の指導実施率 60% 以上	短期 指導完了者の生活習慣改善率 25%	指導前後の健康診査データから生活習慣の改善状況を確認する。
	中長期 積極的支援及び動機付け支援対象者 30% 減少	特定保健指導対象者割合の推移を確認する。



### (3)ハッスル年代健康チェック事業

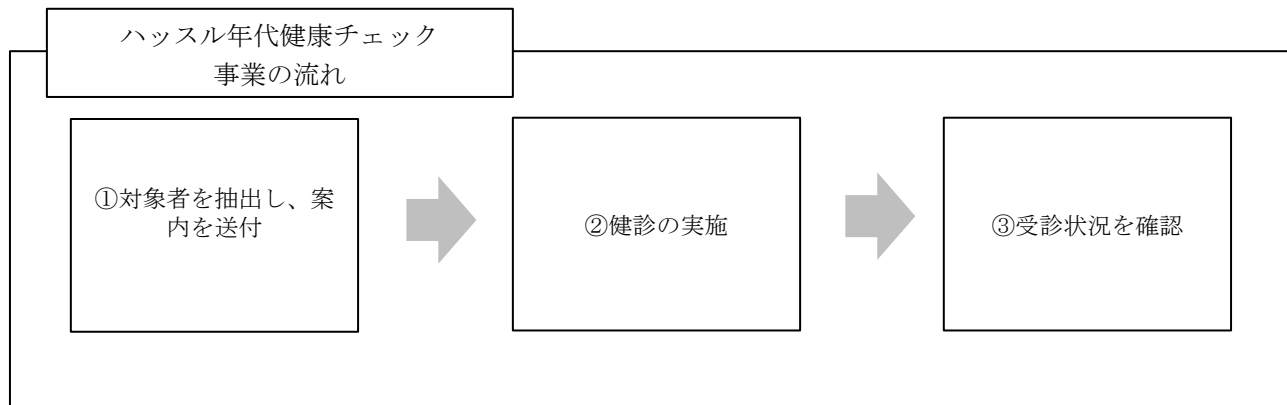
#### 【事業目的】

25歳以上39歳までの国民健康保険加入者の健康増進

#### 【実施概要】

特定健診以前の若年層の国保加入者を対象に、自分の健康に関心を持ち、壮年期からの健康管理の習慣づくりを目的として、特定健診と同等の健診を集団健診で実施。

#### 【実施内容】



#### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者への通知率 100%	短期	対象者の受診率 20%	通知後受診したか確認する。
	中長期	対象者の受診率 25%	受診率を集計し、確認する。

#### (4) 人間ドック

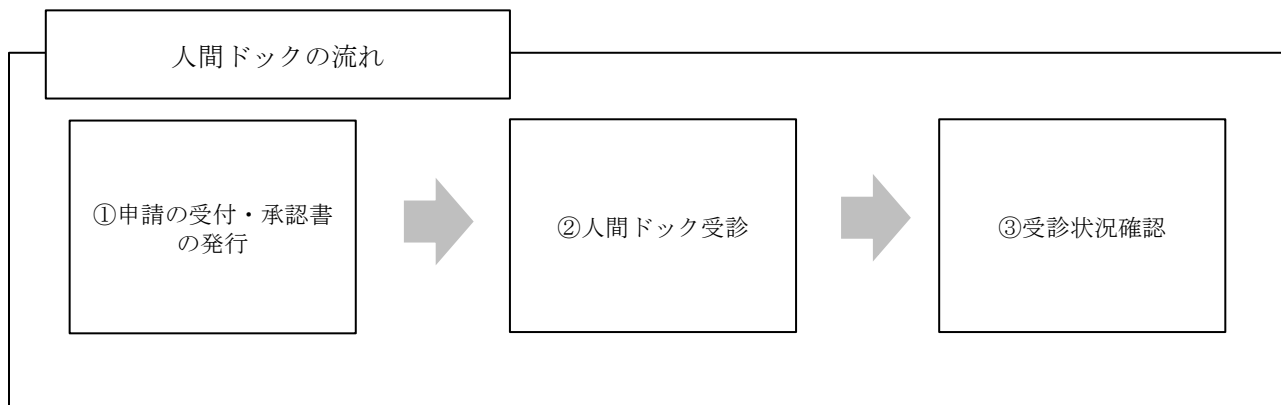
##### 【事業目的】

30歳以上の国保被保険者及び後期高齢者医療被保険者の疾病の早期発見、健康増進

##### 【実施概要】

国民健康保険加入者及び後期高齢者医療被保険者の疾病の早期発見・早期治療、健康習慣づくりを目指して、医療機関に委託し人間ドックを実施。

##### 【実施内容】



##### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
		目標値	評価方法
人間ドック助成制度の周知	短期	対象者の受診率 3%	通知後受診したか確認する。
	中長期	全体での受診率 50%	受診率を集計し、確認する。

## (5) 生活習慣病重症化予防事業

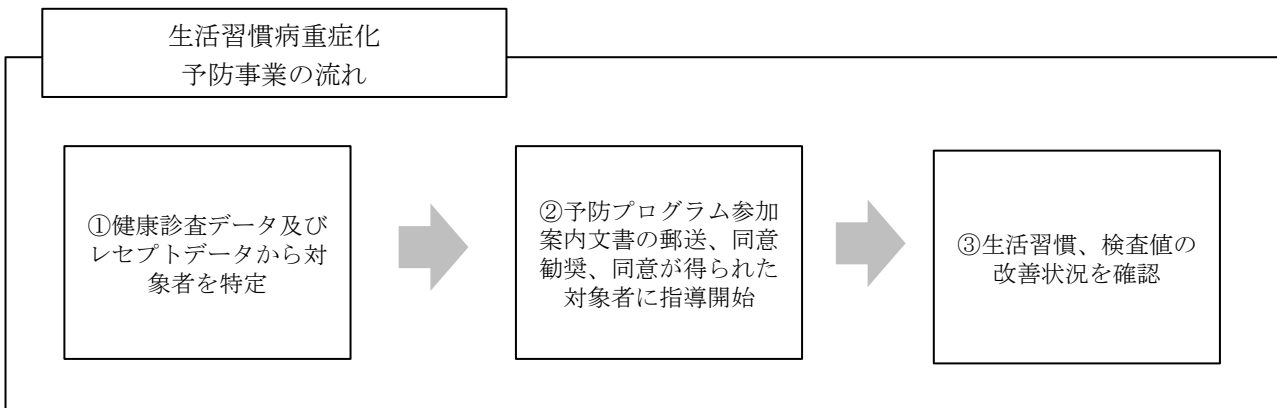
### 【事業目的】

生活習慣病（高血圧症、高脂血症、糖尿病）患者の病気進行阻止

### 【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

### 【実施内容】



### 【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 20% 以上	短期 指導完了者の検査値改善率 50%	生活習慣や検査値の改善状況を確認する。
	中長期 新規人工透析患者割合 25%	レセプトデータより新規人工透析患者数の推移を確認する。

## (6) 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)

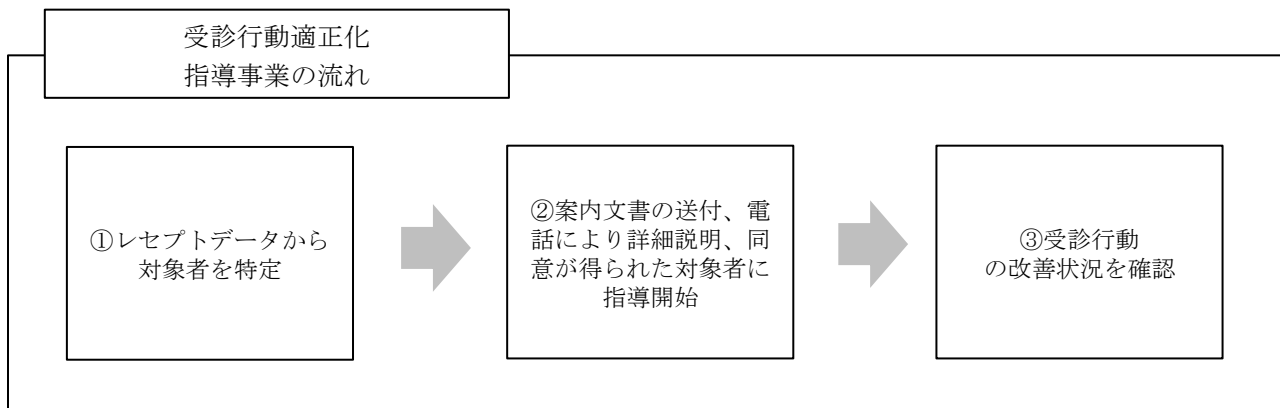
### 【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

### 【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 90% 以上	短期 指導完了者の受診行動適正化 50%	指導後の医療機関受診状況を確認する。
	中長期 重複・頻回受診者、重複服薬者 50% 減少	多受診対象者数の推移により確認する。

## (7) ジェネリック医薬品差額通知事業

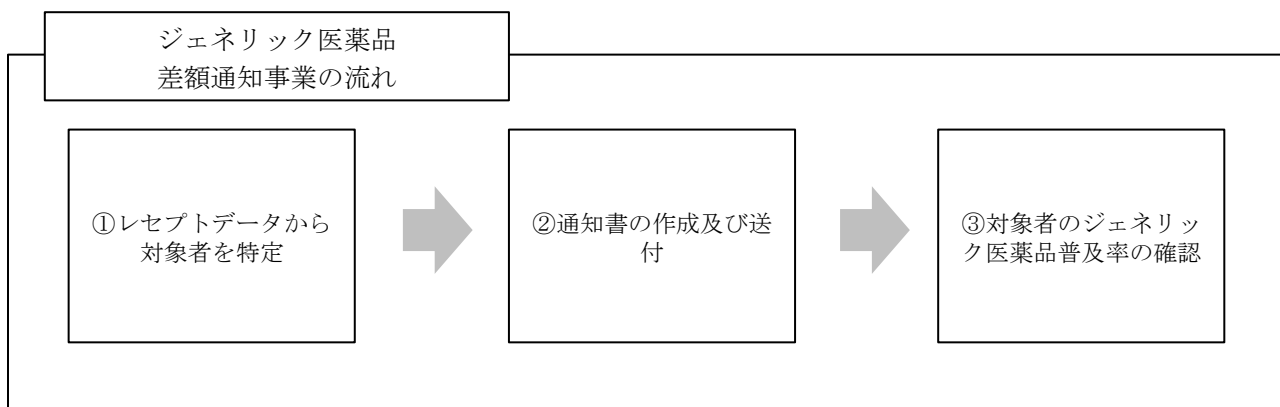
### 【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

### 【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

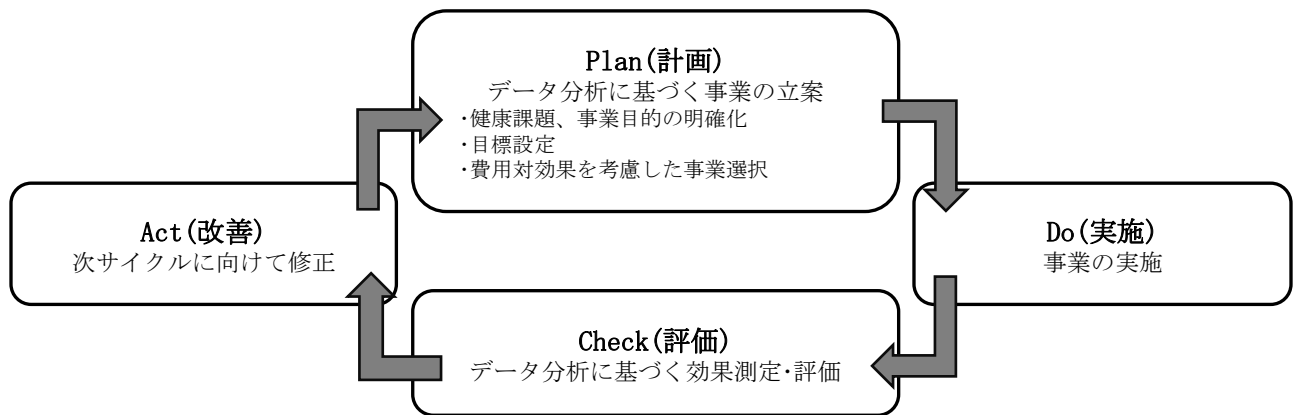
アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期 通知対象者のジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 73%	通知前後のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)を確認する。
	中長期 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)推移により確認する。

## 1. その他

### (1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととする。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととします。

評価・見直しに当たっては、他保険者と連携して行い、国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとします。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

### (2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

## 2. 計画の公表・周知

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施。

本計画は、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図ります。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとします。

### 3. 個人情報の取り扱い

---

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

### 4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

---

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

# 年度別 特定健康診査結果分析

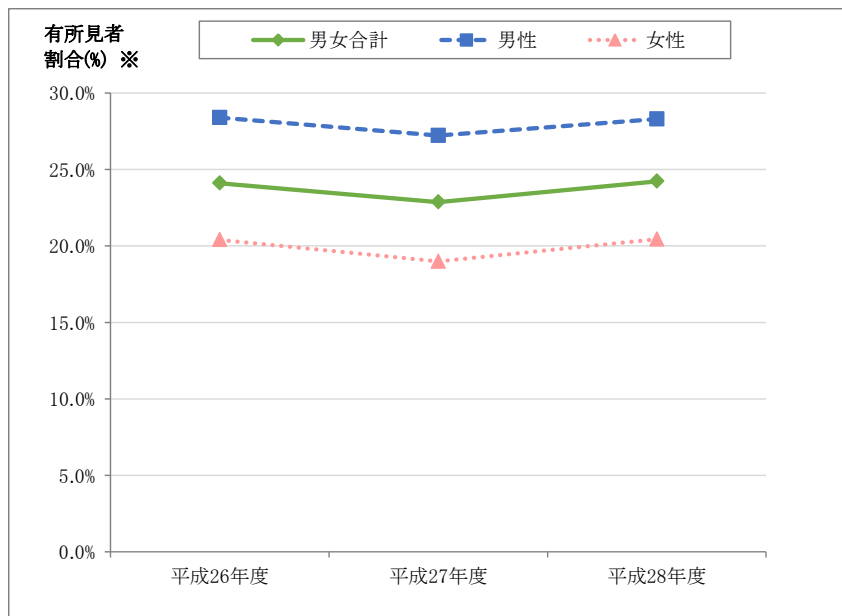
## 1. 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,593	2,383	2,613
	有所見者数(人) ※	625	545	633
	有所見者割合(%) ※	24.1%	22.9%	24.2%
男性	対象者数(人) ※	1,201	1,124	1,258
	有所見者数(人) ※	341	306	356
	有所見者割合(%) ※	28.4%	27.2%	28.3%
女性	対象者数(人) ※	1,392	1,259	1,355
	有所見者数(人) ※	284	239	277
	有所見者割合(%) ※	20.4%	19.0%	20.4%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

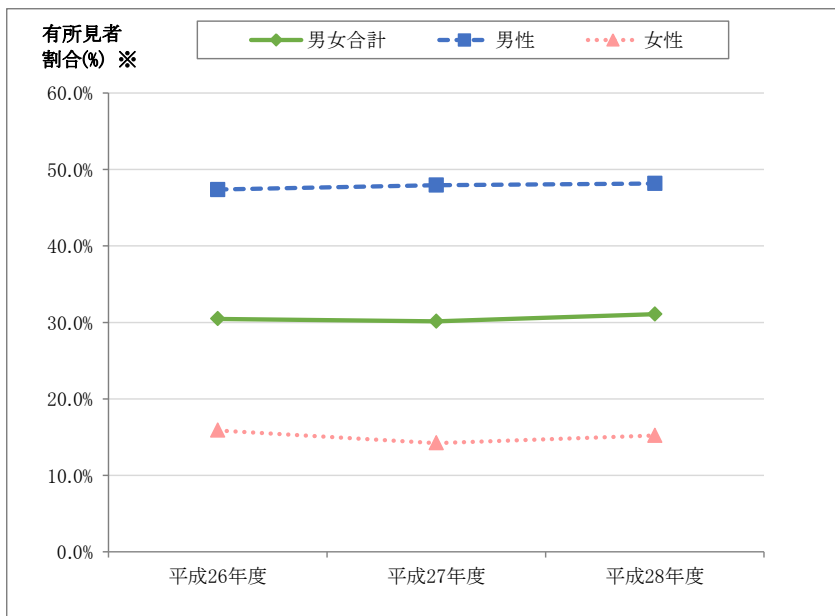
BMI:25以上



## 年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,593	2,383	2,613
	有所見者数(人) ※	790	718	812
	有所見者割合(%) ※	30.5%	30.1%	31.1%
男性	対象者数(人) ※	1,201	1,124	1,258
	有所見者数(人) ※	569	539	606
	有所見者割合(%) ※	47.4%	48.0%	48.2%
女性	対象者数(人) ※	1,392	1,259	1,355
	有所見者数(人) ※	221	179	206
	有所見者割合(%) ※	15.9%	14.2%	15.2%

## 年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

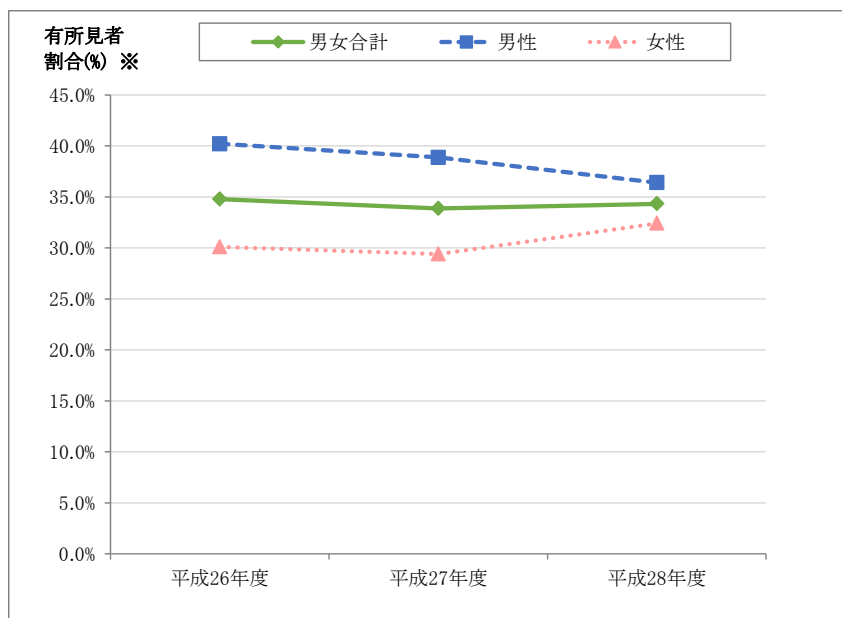
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

## 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,593	2,383	2,613
	有所見者数(人) ※	902	807	897
	有所見者割合(%) ※	34.8%	33.9%	34.3%
男性	対象者数(人) ※	1,201	1,124	1,258
	有所見者数(人) ※	483	437	458
	有所見者割合(%) ※	40.2%	38.9%	36.4%
女性	対象者数(人) ※	1,392	1,259	1,355
	有所見者数(人) ※	419	370	439
	有所見者割合(%) ※	30.1%	29.4%	32.4%

## 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

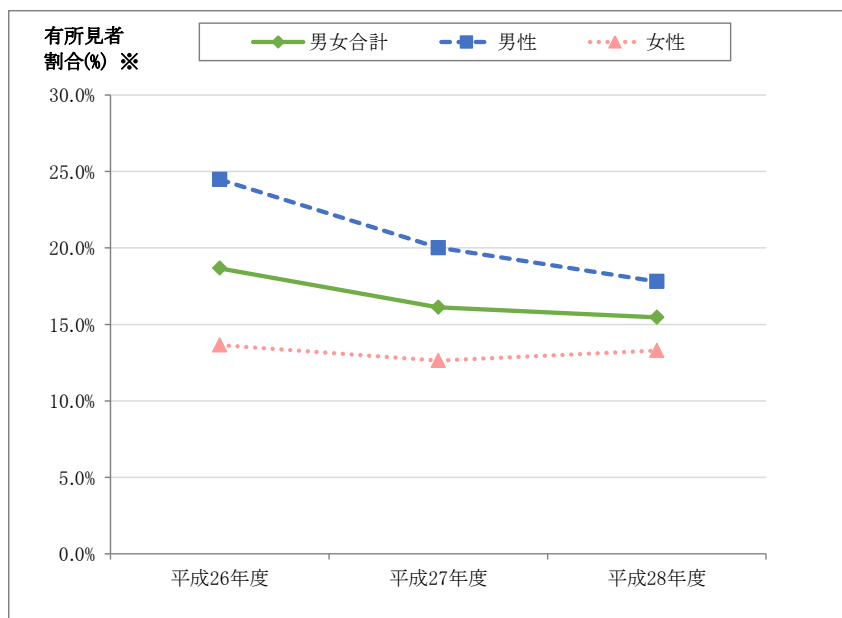
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

## 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,593	2,383	2,613
	有所見者数(人) ※	484	384	404
	有所見者割合(%) ※	18.7%	16.1%	15.5%
男性	対象者数(人) ※	1,201	1,124	1,258
	有所見者数(人) ※	294	225	224
	有所見者割合(%) ※	24.5%	20.0%	17.8%
女性	対象者数(人) ※	1,392	1,259	1,355
	有所見者数(人) ※	190	159	180
	有所見者割合(%) ※	13.6%	12.6%	13.3%

## 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

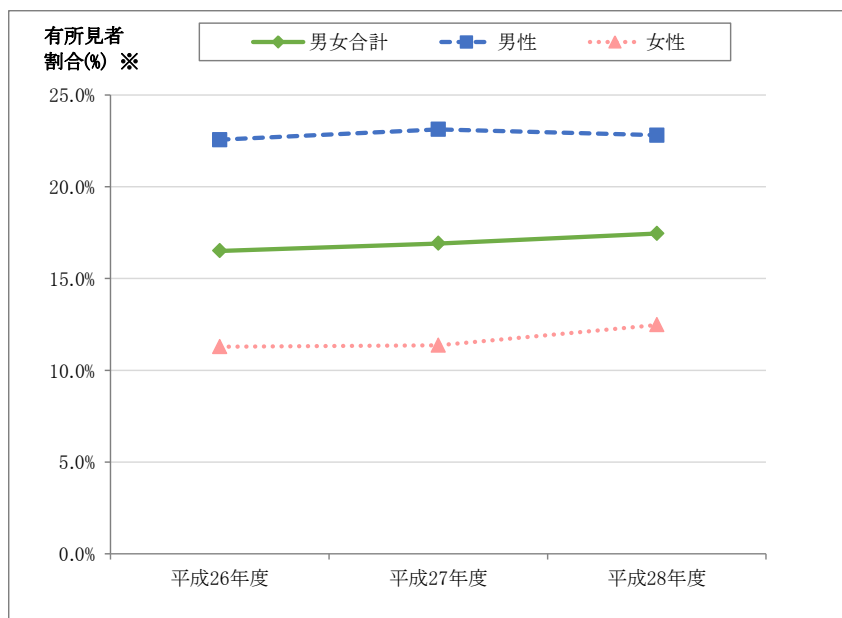
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

## 年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,593	2,383	2,613
	有所見者数(人) ※	428	403	456
	有所見者割合(%) ※	16.5%	16.9%	17.5%
男性	対象者数(人) ※	1,201	1,124	1,258
	有所見者数(人) ※	271	260	287
	有所見者割合(%) ※	22.6%	23.1%	22.8%
女性	対象者数(人) ※	1,392	1,259	1,355
	有所見者数(人) ※	157	143	169
	有所見者割合(%) ※	11.3%	11.4%	12.5%

## 年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

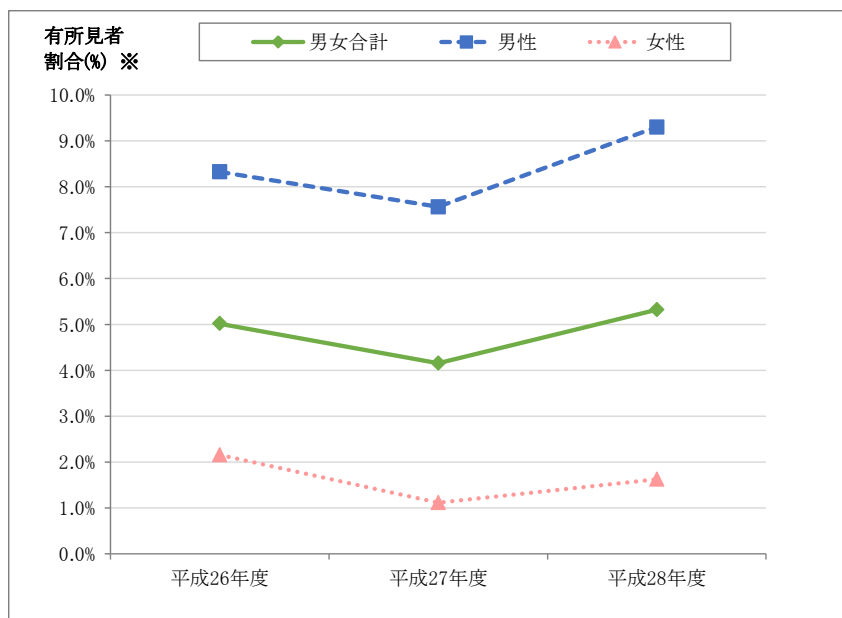
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,593	2,383	2,613
	有所見者数(人) ※	130	99	139
	有所見者割合(%) ※	5.0%	4.2%	5.3%
男性	対象者数(人) ※	1,201	1,124	1,258
	有所見者数(人) ※	100	85	117
	有所見者割合(%) ※	8.3%	7.6%	9.3%
女性	対象者数(人) ※	1,392	1,259	1,355
	有所見者数(人) ※	30	14	22
	有所見者割合(%) ※	2.2%	1.1%	1.6%

## 年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

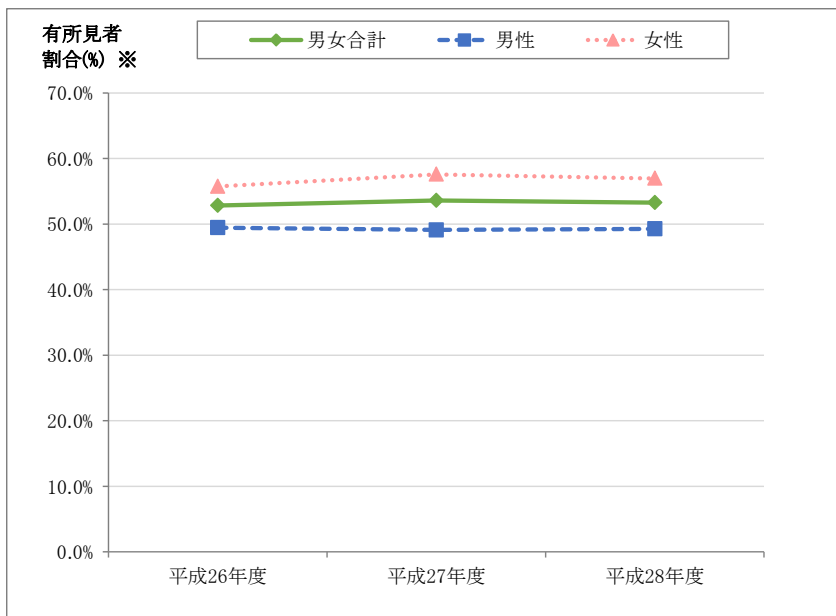
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

## 年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,593	2,383	2,613
	有所見者数(人) ※	1,370	1,277	1,392
	有所見者割合(%) ※	52.8%	53.6%	53.3%
男性	対象者数(人) ※	1,201	1,124	1,258
	有所見者数(人) ※	594	552	620
	有所見者割合(%) ※	49.5%	49.1%	49.3%
女性	対象者数(人) ※	1,392	1,259	1,355
	有所見者数(人) ※	776	725	772
	有所見者割合(%) ※	55.7%	57.6%	57.0%

## 年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

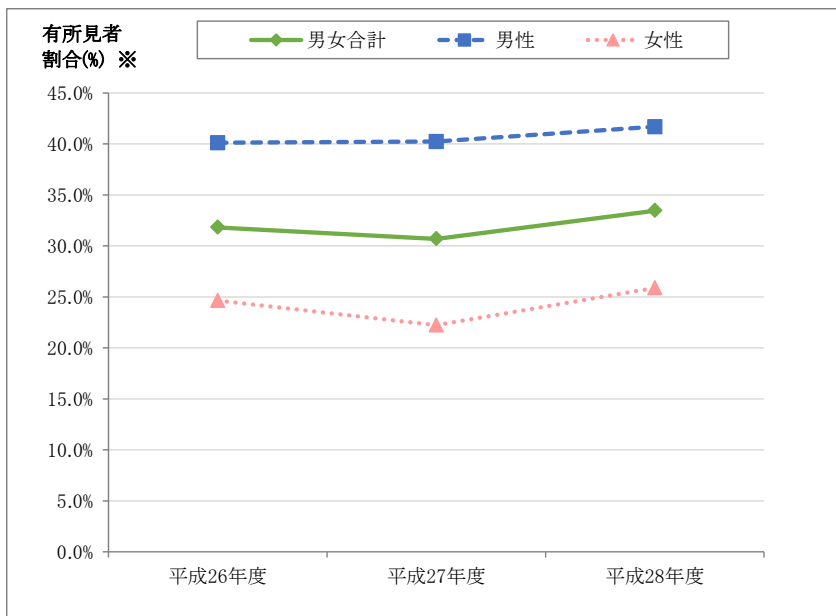
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,480	2,277	2,499
	有所見者数(人) ※	789	699	836
	有所見者割合(%) ※	31.8%	30.7%	33.5%
男性	対象者数(人) ※	1,149	1,071	1,197
	有所見者数(人) ※	461	431	499
	有所見者割合(%) ※	40.1%	40.2%	41.7%
女性	対象者数(人) ※	1,331	1,206	1,302
	有所見者数(人) ※	328	268	337
	有所見者割合(%) ※	24.6%	22.2%	25.9%

## 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

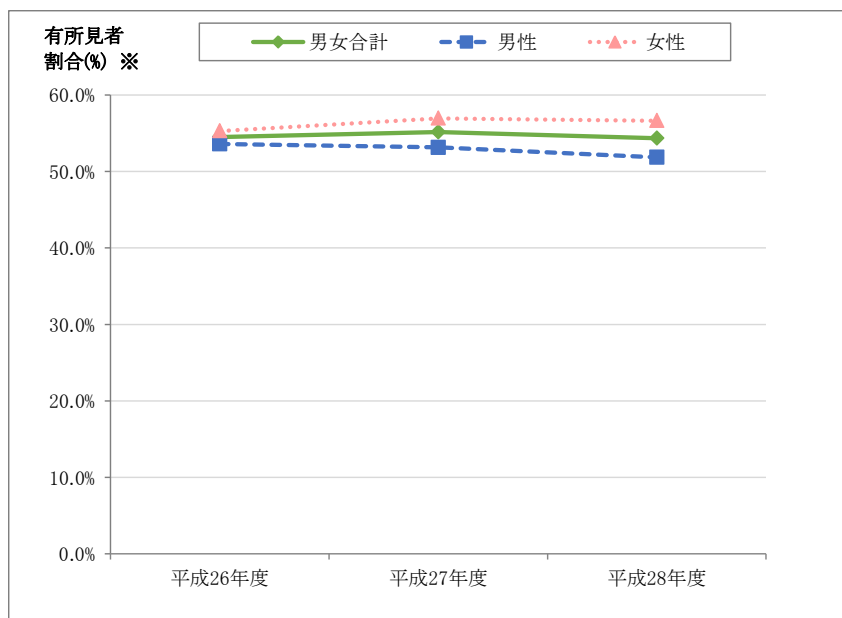
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合(HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,469	2,288	2,455
	有所見者数(人) ※	1,346	1,262	1,334
	有所見者割合(%) ※	54.5%	55.2%	54.3%
男性	対象者数(人) ※	1,136	1,078	1,182
	有所見者数(人) ※	609	573	613
	有所見者割合(%) ※	53.6%	53.2%	51.9%
女性	対象者数(人) ※	1,333	1,210	1,273
	有所見者数(人) ※	737	689	721
	有所見者割合(%) ※	55.3%	56.9%	56.6%

## 年度別 有所見者割合(HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上



## 2. 質問別回答状況

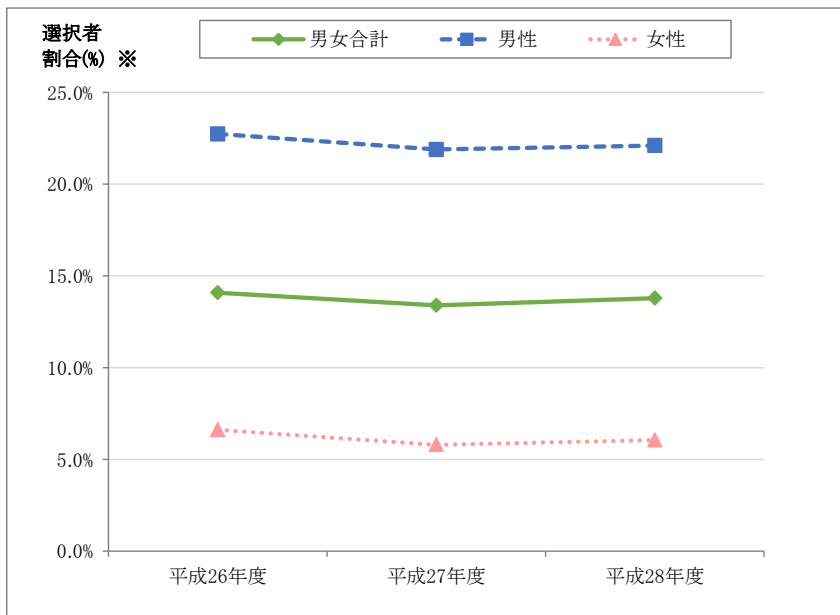
平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

### ①喫煙習慣

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,593	2,383	2,613
	選択者数(人) ※	365	319	360
	選択者割合(%) ※	14.1%	13.4%	13.8%
男性	質問回答者数(人) ※	1,201	1,124	1,258
	選択者数(人) ※	273	246	278
	選択者割合(%) ※	22.7%	21.9%	22.1%
女性	質問回答者数(人) ※	1,392	1,259	1,355
	選択者数(人) ※	92	73	82
	選択者割合(%) ※	6.6%	5.8%	6.1%

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

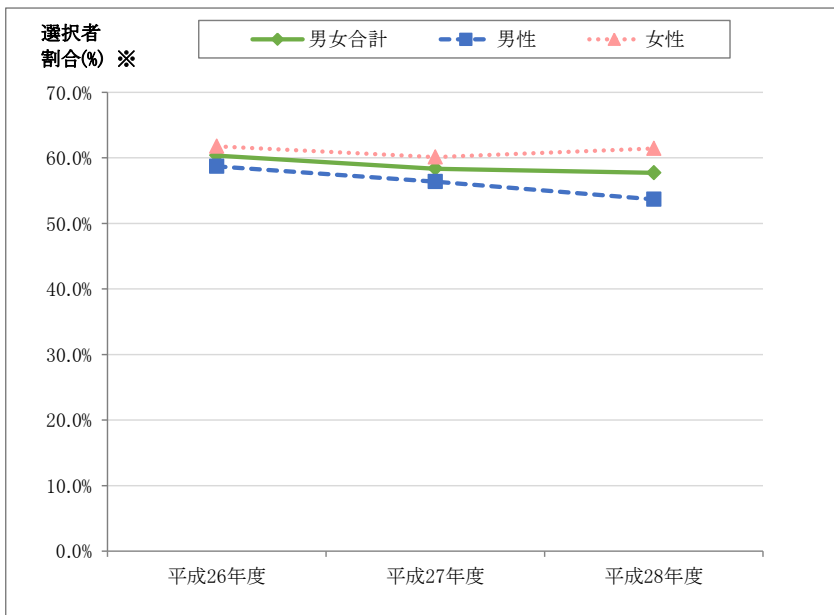
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

## ②運動習慣

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,570	2,358	2,568
	選択者数(人) ※	1,551	1,376	1,482
	選択者割合(%) ※	60.4%	58.4%	57.7%
男性	質問回答者数(人) ※	1,187	1,112	1,233
	選択者数(人) ※	697	627	662
	選択者割合(%) ※	58.7%	56.4%	53.7%
女性	質問回答者数(人) ※	1,383	1,246	1,335
	選択者数(人) ※	854	749	820
	選択者割合(%) ※	61.7%	60.1%	61.4%

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

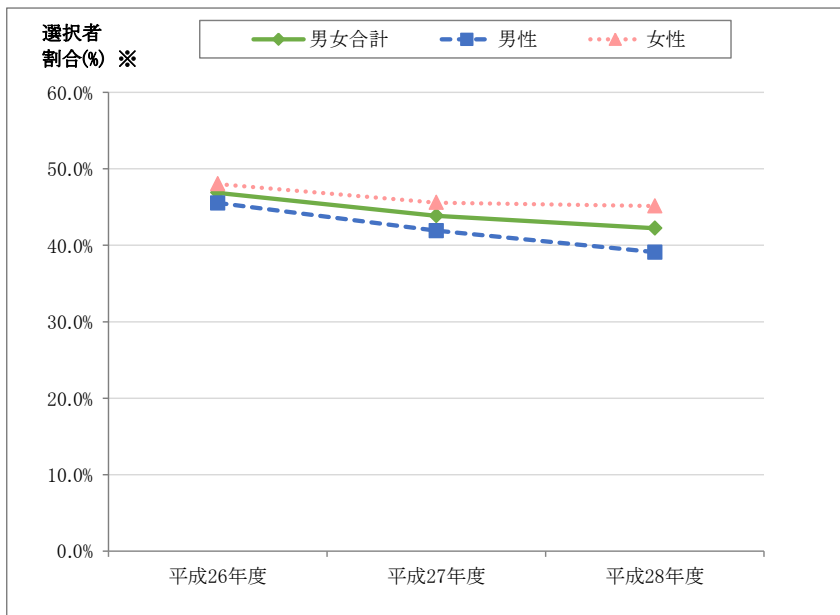
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

## 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,569	2,358	2,567
	選択者数(人) ※	1,204	1,034	1,084
	選択者割合(%) ※	46.9%	43.9%	42.2%
男性	質問回答者数(人) ※	1,186	1,112	1,233
	選択者数(人) ※	540	466	482
	選択者割合(%) ※	45.5%	41.9%	39.1%
女性	質問回答者数(人) ※	1,383	1,246	1,334
	選択者数(人) ※	664	568	602
	選択者割合(%) ※	48.0%	45.6%	45.1%

## 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

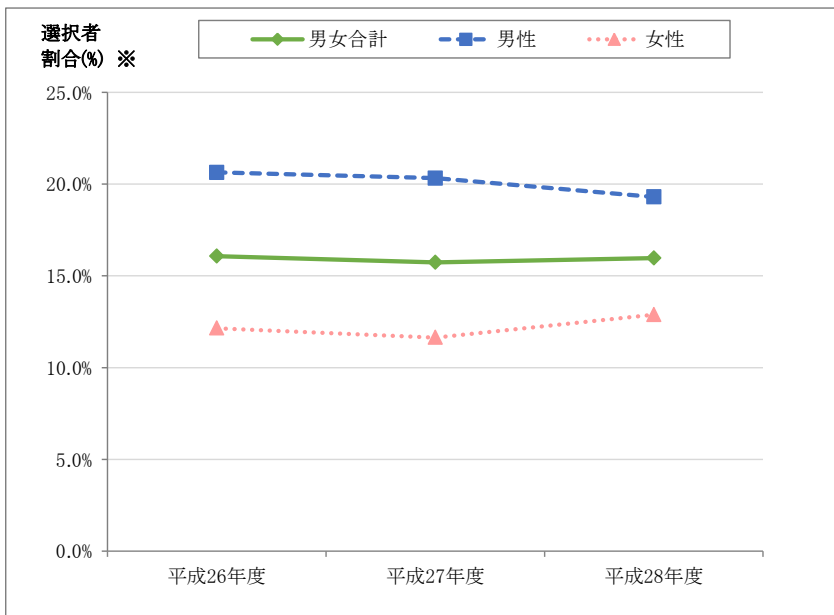
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

### ③食習慣

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,570	2,358	2,568
	選択者数(人) ※	413	371	410
	選択者割合(%) ※	16.1%	15.7%	16.0%
男性	質問回答者数(人) ※	1,187	1,112	1,233
	選択者数(人) ※	245	226	238
	選択者割合(%) ※	20.6%	20.3%	19.3%
女性	質問回答者数(人) ※	1,383	1,246	1,335
	選択者数(人) ※	168	145	172
	選択者割合(%) ※	12.1%	11.6%	12.9%

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

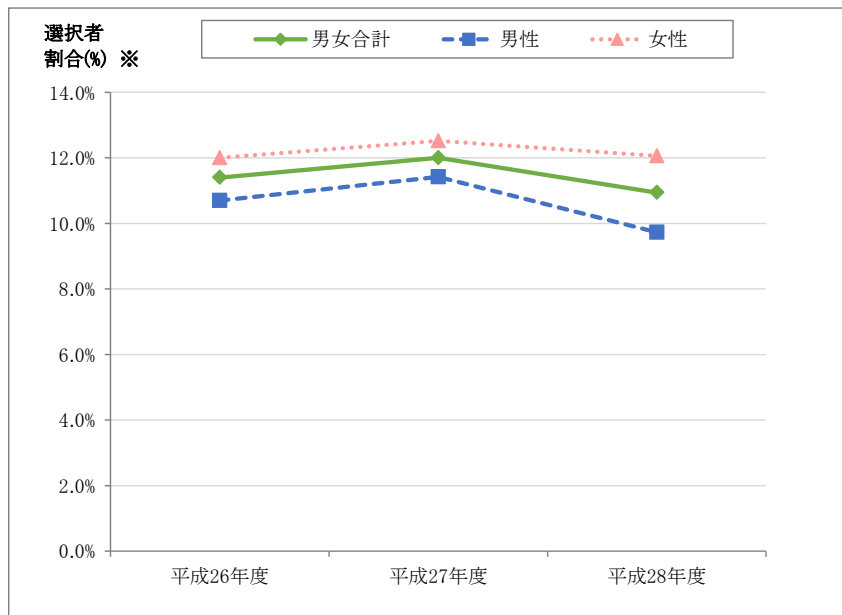
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

## 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,570	2,358	2,568
	選択者数(人) ※	293	283	281
	選択者割合(%) ※	11.4%	12.0%	10.9%
男性	質問回答者数(人) ※	1,187	1,112	1,233
	選択者数(人) ※	127	127	120
	選択者割合(%) ※	10.7%	11.4%	9.7%
女性	質問回答者数(人) ※	1,383	1,246	1,335
	選択者数(人) ※	166	156	161
	選択者割合(%) ※	12.0%	12.5%	12.1%

## 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

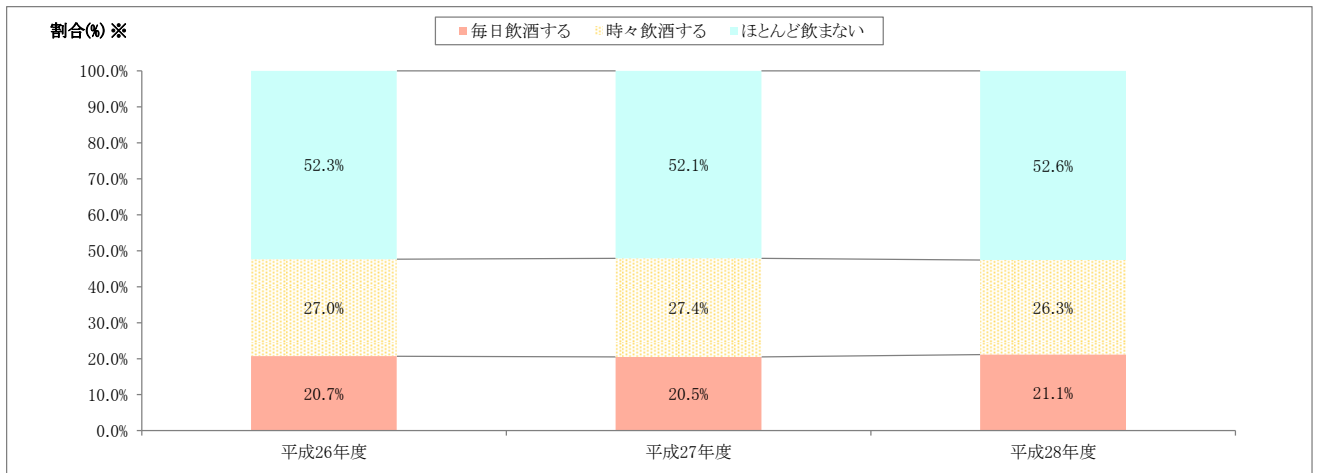
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

#### ④ 飲酒習慣

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,570	532	20.7%	693	27.0%	1,345	52.3%
平成27年度	2,358	483	20.5%	646	27.4%	1,229	52.1%
平成28年度	2,568	543	21.1%	675	26.3%	1,350	52.6%

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

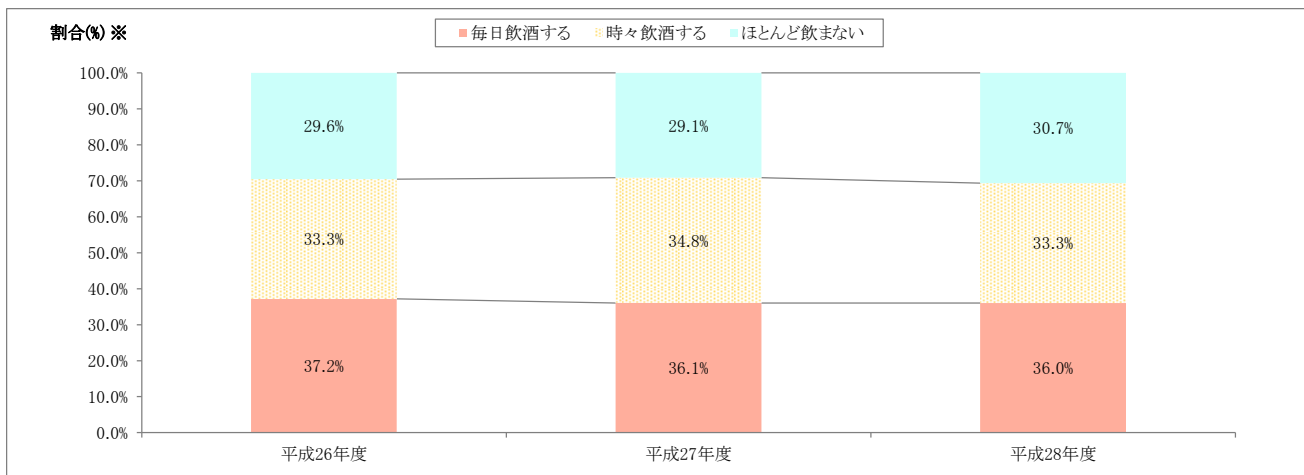
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,187	441	37.2%	395	33.3%	351	29.6%
平成27年度	1,112	401	36.1%	387	34.8%	324	29.1%
平成28年度	1,233	444	36.0%	411	33.3%	378	30.7%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

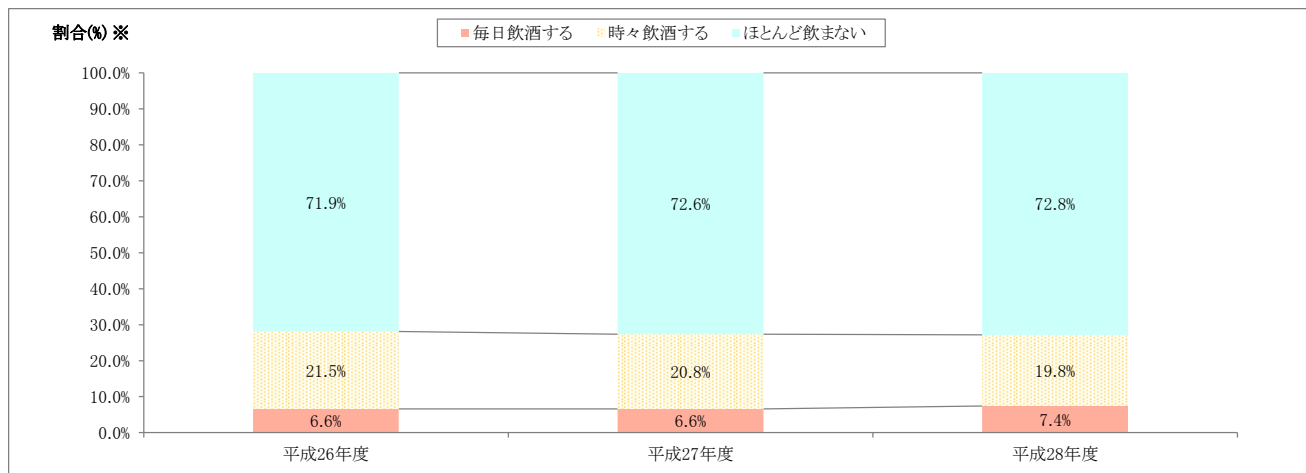
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,383	91	6.6%	298	21.5%	994	71.9%
平成27年度	1,246	82	6.6%	259	20.8%	905	72.6%
平成28年度	1,335	99	7.4%	264	19.8%	972	72.8%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。



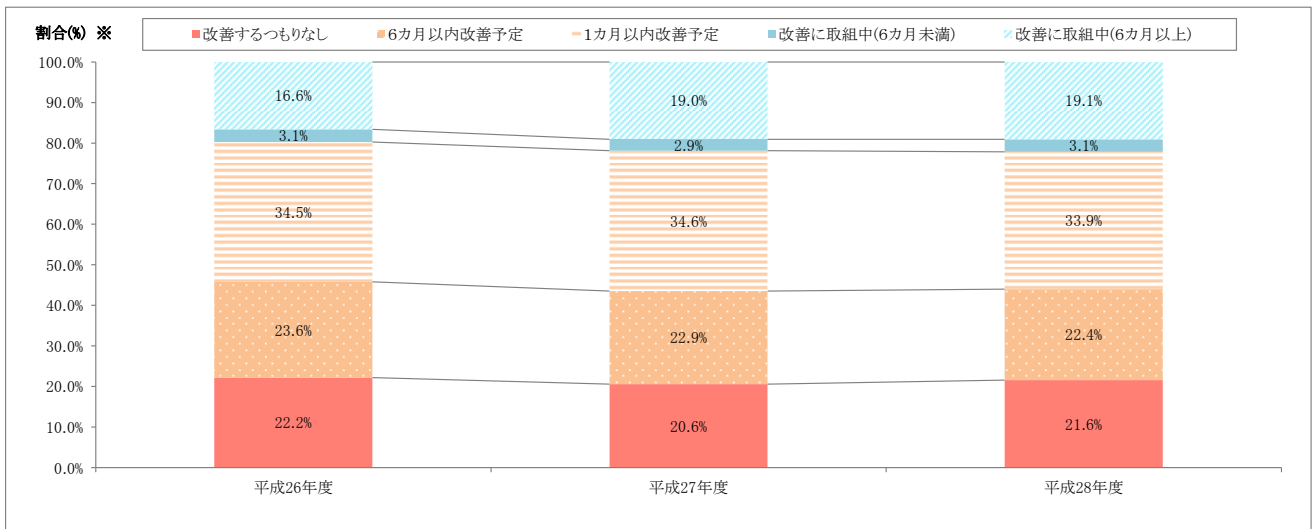
## ⑤生活習慣

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,565	569	22.2%	606	23.6%	884	34.5%
平成27年度	2,356	485	20.6%	540	22.9%	816	34.6%
平成28年度	2,566	554	21.6%	575	22.4%	869	33.9%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,565	80	3.1%	426	16.6%
平成27年度	2,356	68	2.9%	447	19.0%
平成28年度	2,566	79	3.1%	489	19.1%

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

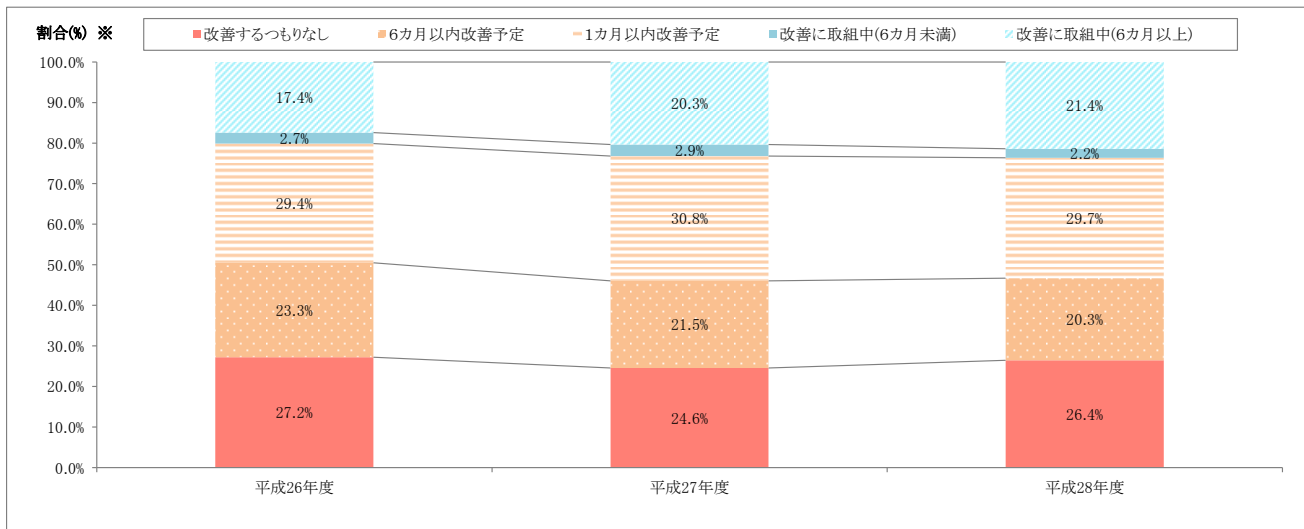
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,184	322	27.2%	276	23.3%	348	29.4%
平成27年度	1,112	273	24.6%	239	21.5%	342	30.8%
平成28年度	1,233	326	26.4%	250	20.3%	366	29.7%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,184	32	2.7%	206	17.4%
平成27年度	1,112	32	2.9%	226	20.3%
平成28年度	1,233	27	2.2%	264	21.4%

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

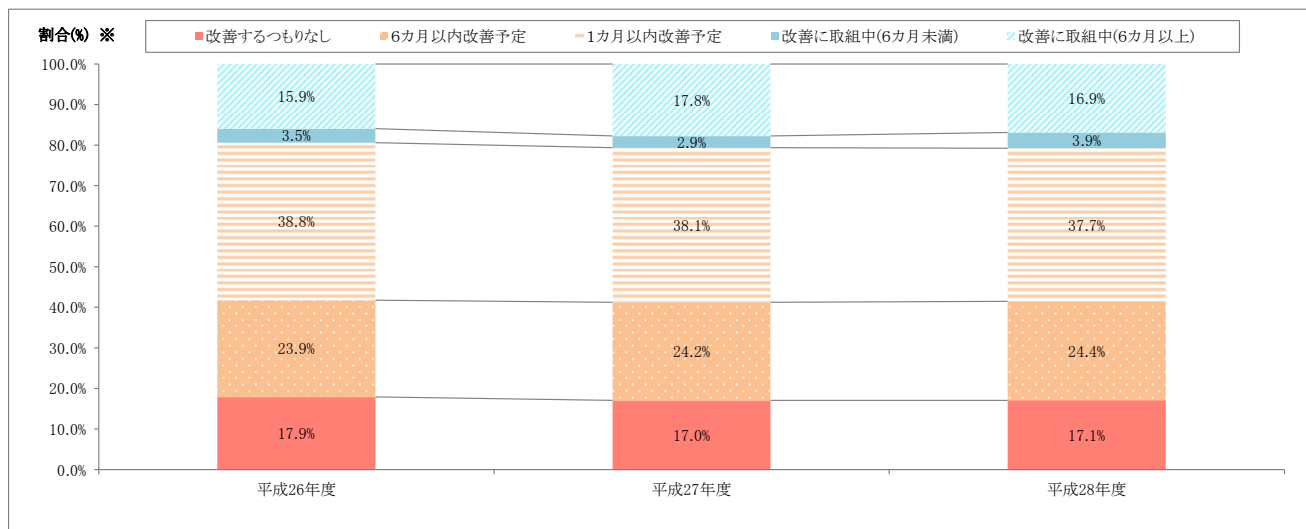
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,381	247	17.9%	330	23.9%	536	38.8%
平成27年度	1,244	212	17.0%	301	24.2%	474	38.1%
平成28年度	1,333	228	17.1%	325	24.4%	503	37.7%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,381	48	3.5%	220	15.9%
平成27年度	1,244	36	2.9%	221	17.8%
平成28年度	1,333	52	3.9%	225	16.9%

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

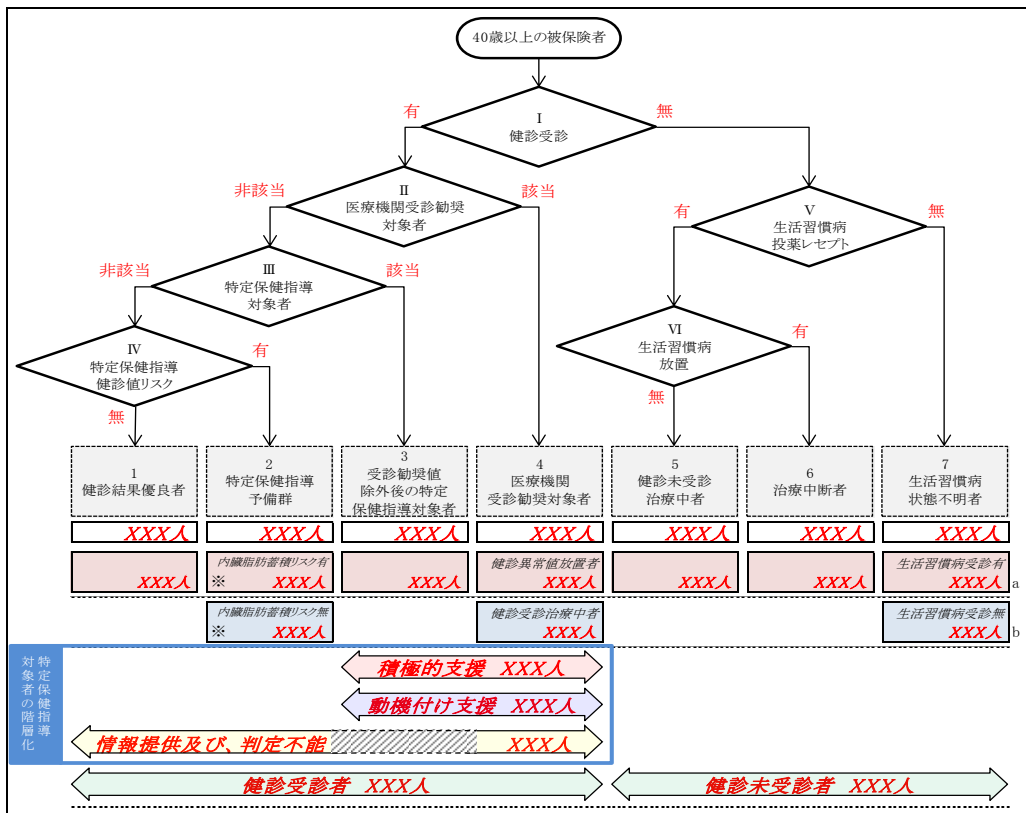
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

### 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



#### 【フロー説明】

- I 健診受診 ……健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 ……健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 ……厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク ……厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト ……生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 ……生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

#### 【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 ……保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
  - 2. 特定保健指導予備群 ……保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。  
 内臓脂肪蓄積リスク有 ……「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。  
 内臓脂肪蓄積リスク無 ……「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
  - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 ……受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
  - 4. 医療機関受診勧奨対象者 ……受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。  
 健診異常値放置者 ……「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。  
 健診受診治療中者 ……「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 ……生活習慣病治療中の者。
  - 6. 治療中断者 ……過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
  - 7. 生活習慣病投薬レセプト ……生活習慣病の投薬治療をしていない者。  
 生活習慣病受診有 ……「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。  
 生活習慣病受診無 ……「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

## 2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

### 3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の續発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻疹後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他 <sup>の</sup> 新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の痙攣性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び靭様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎〔アルコール性のものを除く〕	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変〔アルコール性のものを除く〕	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全



コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		